

**平成28年度
相模湖駅周辺地区及び小原宿地区
まちづくりワークショップ企画運営業務
報告書**

**平成29年3月
相 模 原 市**

目次

序章

- | | |
|----------------------|---|
| 1. 業務の目的と対象 | 1 |
| 2. まちづくりのアイデア | 2 |
| 3. まちづくりのアイデアの検討プロセス | 3 |

第1章 参加者の募集方法の検討

- | | |
|--------------------------|---|
| 1. 参加者の募集方法 | 5 |
| 2. 第1回及び第2回ワークショップの参加者募集 | 5 |
| 3. 第3回以降のワークショップの参加者募集 | 6 |

第2章 ワークショップの実施

- | | |
|-----------------|----|
| 1. ワークショップの開催概要 | 7 |
| 2. ワークショップの進め方 | 9 |
| 3. ワークショップの成果 | 35 |

第3章 ワークショップニュースの作成

- | | |
|------------------------|----|
| 1. まちづくりワークショップニュースの作成 | 69 |
|------------------------|----|

第4章 まちづくりのアイデア集

- | | |
|---------------------|----|
| 1. まちづくりのアイデア集 | 70 |
| 2. アイディアの実現方法と課題の整理 | 91 |

資料編

- | | |
|----------------------|--|
| 1. ワークショップ説明資料及び配布資料 | |
| 2. まちづくりワークショップニュース | |

序章

1. 業務の目的と対象

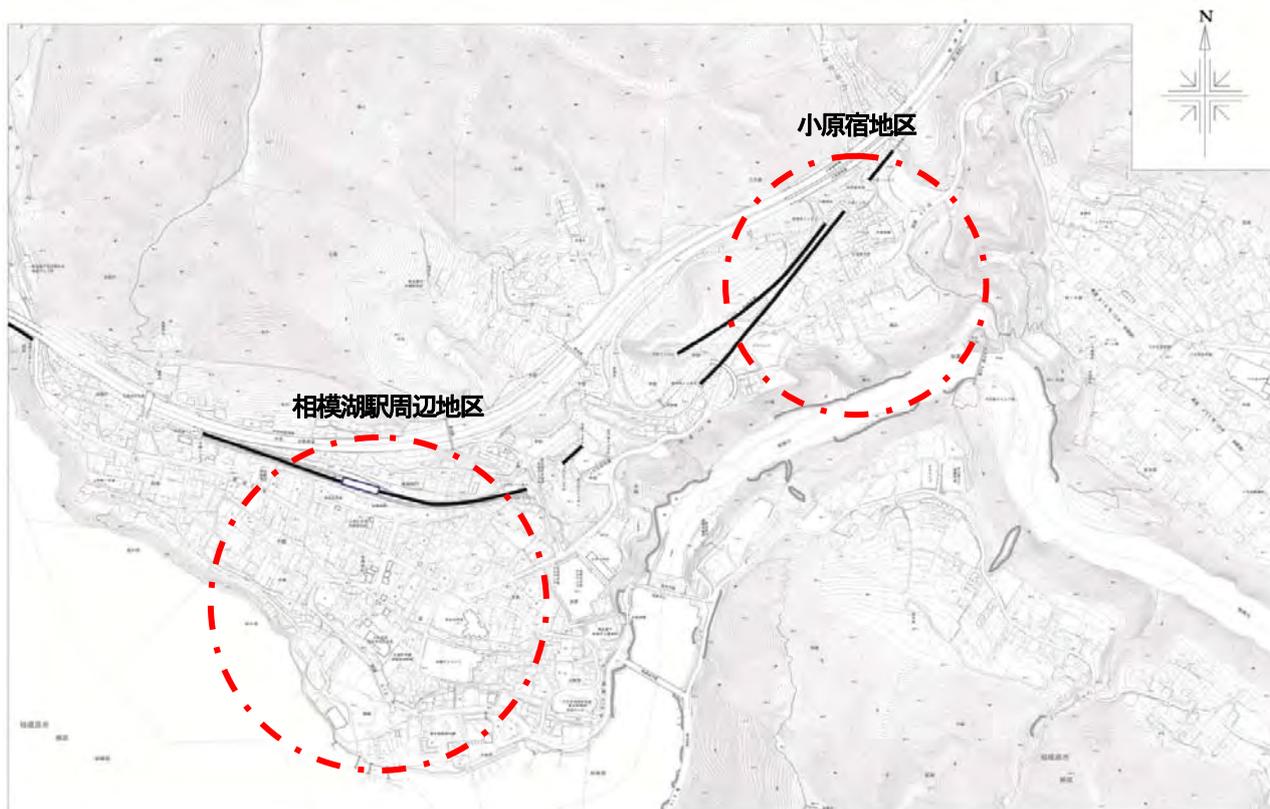
(1)目的

- ・相模湖駅周辺地区及び小原宿地区において、商店街の活性化や歴史的なまちなみの保全など、地域が抱えているまちづくりの課題について、地域住民が主体となって解決策を考え、地域活動のプロジェクト案である「まちづくりのアイデア」を作成するとともに、まちづくりに対する地域住民の意識の醸成を目的としたワークショップの企画及び運営を行う。

(2)対象地域

- ・本業務の対象地域は、相模湖駅周辺地区及び小原宿地区を含めた周辺地域とする。

図 相模湖駅周辺地区及び小原宿地区位置図



2. まちづくりのアイデア

(1) まちづくりのアイデアとは

- ・ワークショップでは、相模湖駅周辺地区および小原宿地区で、商店街の活性化や歴史的なまちなみの保全など、地域が抱えているまちづくりの課題について、元気が出るようなまちづくりのきっかけとなるアイデアを検討する。
- ・本業務におけるまちづくりのアイデアとは、「**地域みなさんが、中心となって考えながら進める、地域が元気になるような取組み**」とした。
- ・ただし、新しく建物を建てたり道路を広げるなど大掛かりな取組みや調査研究のみを目的とした取組みは対象外とし、無理をせず自分たちが関心を持ち、出来ることを出来るところから始め、地域のまちづくりに役立ち、具体的な活動に結び付く取組みであることを条件としている。
- ・まちづくりのアイデアの取組み内容がまとまった段階で、「**まちづくりプロジェクト**」として位置付け、活動を始めるものとする。

(2) まちづくりのアイデアの性格、役割

- ・まちづくりのアイデアは、必ずしも短期間で実現可能なものだけではなく、小さく始めて大きく育てる取組みや、時間をかけた取組みについても想定している。
- ・また、複数のアイデアの組み合わせについても可能性を検討した。

(3) 検討にあたっての留意事項

- ・まちづくりのアイデアは、現在すでに行われている取組み、例えば、観光協会や小原宿活性化推進会議の活動をそのまま位置付けるのではなく、適切な役割分担の設定や異なる内容とする必要がある。
- ・また、他の団体などの協力が必要な取組みや、場合によっては市が支援することが適切ではない取組みの場合には、検討の途中段階で状況に応じて実施可能かどうか検討する必要がある。

参考)小原宿活性化推進会議の概要

- ・地域資源・地域特性を生かした活性化・観光振興を推進するため、小原宿活性化推進会議は、平成20年度から活動している。
- ・現在は、「古道復元・孫山周辺会議(10名)」、「古民家食材・小原の郷活用会議(17名)」、「本陣・街並み保存会議(12名)」の3つの会議体(計39名)で活動を行っている。
- ・古道復元・孫山周辺会議(分科会)では、「古道ハイキング(年2回)」、「古道道標盤面の改修及び設置」、「孫山整備」などの活動を行っている。
- ・古民家食材・小原の郷活用会議(分科会)では、「古民藝展並びに説明会(年2回)」、「お茶書会」、「きな粉づくり」、「ライトアップ」、「郷の植栽整備」、「をばら本陣焼支援」などの活動を行っている。
- ・本陣・街並み保存会議(分科会)では、「小原宿本陣ガイド増刷」、「地域探検ツアーの開催」、「本陣歴史講演会」、「襖下張剥離作業」、「古文書解説作業」などの活動を行っている。

3. まちづくりのアイデアの検討プロセス

- ・自然的資源、歴史的資源、文化的資源、建物や眺望の場、人的資源など、まちづくりのアイデアの基礎となる地域にある資源と課題を整理し、地域の将来像や重点的に取り組むべきテーマについて話し合いながら共有化したうえで、まちづくりのアイデアの発掘や具体化の検討を行う必要がある。
- ・まちづくりのアイデアは、次年度以降の実現化を見据えると、ワークショップの最終回までに内容をできる限り具体化（いつ、どこで、だれが、何を、どのようにする）しておく必要がある。そこで、検討にあたって必要な視点を次ページに整理した。

図 地域の資源・課題及び地域の将来像とまちづくりのアイデアの検討の流れ

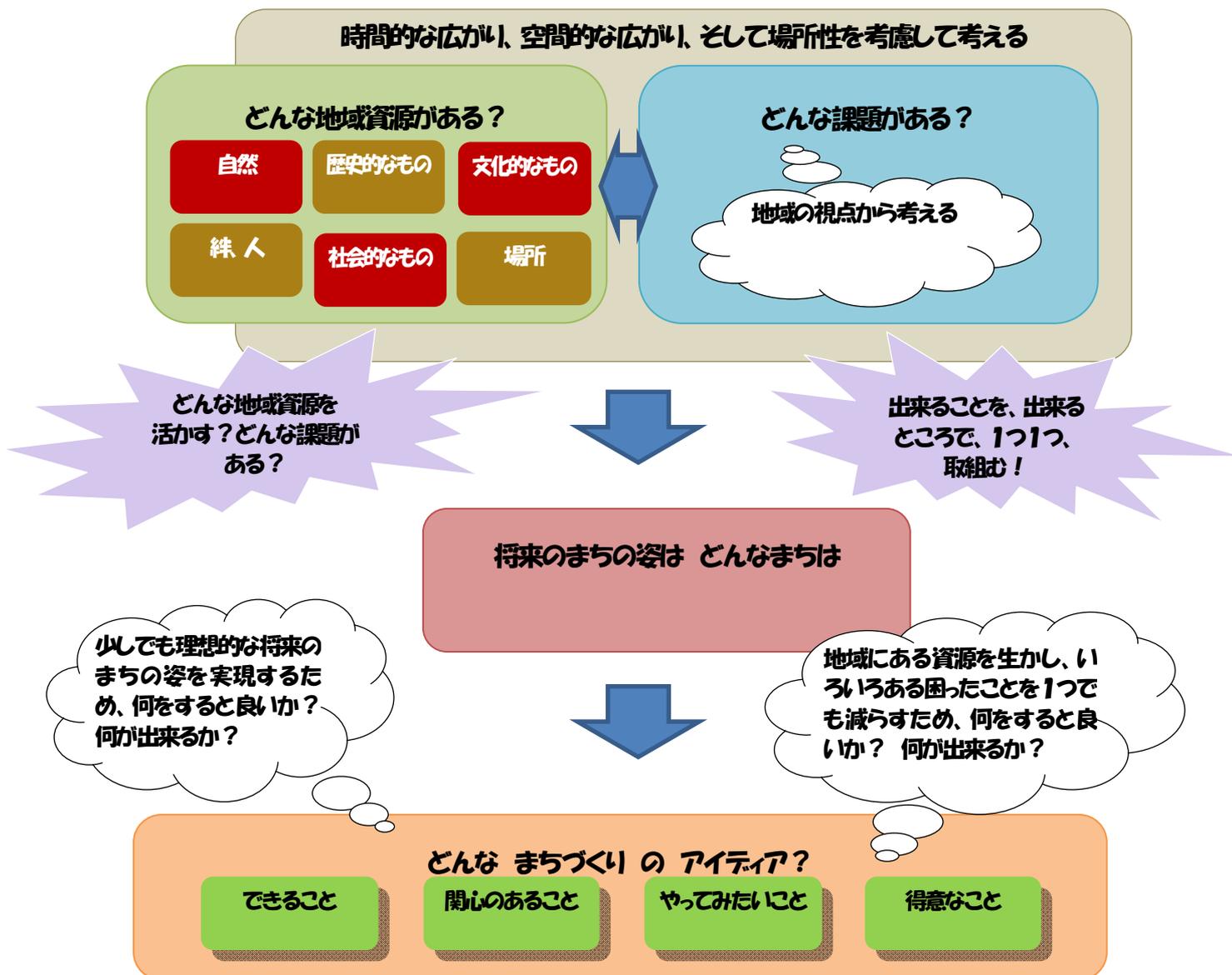


図 まちづくりのアイデアの具体化にあたっての視点



第1章 参加者の募集方法の検討

1. 参加者の募集方法

- 参加者については、資源や課題、将来像を共有するために、第1回及び第2回のワークショップでは地域住民のみを対象とした。一方、多様な視点によりアイデアの視野を広げ活動メンバーを増やすため、第3回以降のワークショップでは地区外からの参加者を追加で募集することとなった。

2. 第1回及び第2回まちづくりワークショップの参加者募集

- 第1回及び第2回の参加者は地域住民に限定したことから、まちづくりのアイデアを検討するためのワークショップの開催について周知期間を設けたうえで、第1回ワークショップの開催にあわせて参加者の募集を行った。
- 募集の結果、計33名からの応募があった。

- 募集対象 地域住民
- 募集方法 対象となる自治会に参加者募集チラシを戸別配布、関係者に案内
- 募集期間 平成28年7月26日(火)～8月19日(金)
- 応募方法 相模原市街づくり支援課(メール、電話、FAX、持参)
相模湖まちづくりセンター(メール、電話、FAX、持参)

図 事前の周知用チラシ

相模湖駅周辺と小原宿を盛り上げるためにまちづくりのアイデアを一緒に考えてみませんか？

相模原市では、相模湖駅周辺地区及び小原地区を対象として、地域住民のみなさんが主体となって実現するまちづくりのアイデアを全5回のワークショップを開催して検討することとなりました。

「地域の課題解決のために、こんなことをやってみよう！」「地域のために、何かしたい！」

そんな考えをお持ちの方は、ぜひご参加ください。地域住民のみなさんのアイデアを発展して、実現化を目指してみませんか？

第1回ワークショップの詳細日時や開催場所が決まりましたら、改めてご案内差し上げますので、それまでに、まちづくりのアイデアを温めておいてください！

※ワークショップ：課題などにより一方的に知恵を伝達するのではなく、参加者が主体的に参加し、体験や話し合いを共有する中で、互いに何かを気づいたり学びあったり創り出したりする様

	開催時期	検討テーマ
前半	第1回 平成28年8月下旬	地域資源と課題の共有
	第2回 平成28年9月下旬	地域の目標や重点テーマのとりまとめ
後半	第3回 平成28年12月上旬	取組みのアイデアづくり
	第4回 平成29年1月中旬	アイデアの具体化①
	第5回 平成29年2月中旬	アイデアの具体化②

対象区域の住民のみなさんが中心に活動

周辺地域のみなさんにも参加者を拡大

お問い合わせ
相模原市 都市建設局 まちづくり計画部 街づくり支援課
Tel:042-769-9252 (直通) E-mail: machidukuri@city.sagamihara.kanagawa.jp
相模原市 緑区役所 相模湖まちづくりセンター 総務・地域振興課
Tel:042-684-3240 (直通) E-mail: sagamiko-cen@city.sagamihara.kanagawa.jp

図 参加者募集チラシ(相模湖駅周辺地区・小原宿地区)

相模湖駅周辺を盛り上げるためのワークショップが始まります！

小原宿を盛り上げるためのまちづくりのアイデアを考えるワークショップが始まります！

先日お知らせしました、地域住民のみなさんが主体となって実現するまちづくりのアイデアを考えるための第1回ワークショップの開催(全5回)が決まりました！

「地域の課題解決のために、こんなことをやってみよう！」「地域のために、何かしたい！」

そんな考えをお持ちの方は、ぜひご参加ください。地域住民のみなさんのアイデアを発展して、実現化を目指してみませんか？

小原宿まちづくりワークショップ
第1回「地域の資源と課題を共有しよう！」

日時 平成28年8月27日(土) 19:00～21:00
会場 相模湖総合事務所 3階 A会議室

※資料用意のため、メール、電話、FAX、持参による申込申込に協力ください。【申込締切:8月19日(金)】

※当日は同じ会場内で、相模湖駅周辺地区のワークショップも開催されます。

開催スケジュール(予定)	申込先・お問い合わせ
第1回 平成28年8月27日(土)	相模原市 街づくり支援課
第2回 平成28年10月1日(土)	Tel:042-769-9252(直通) Fax:042-754-8490
第3回 平成28年12月上旬	E-mail: machidukuri@city.sagamihara.kanagawa.jp
第4回 平成29年1月中旬	相模原市 相模湖まちづくりセンター 総務・地域振興課
第5回 平成29年2月中旬	Tel:042-684-3240(直通)

お問い合わせ
〒250-0292 相模原市緑区相模湖1-1-1 相模湖まちづくりセンター
FAX番号
E-mail

3. 第3回以降のワークショップの参加者募集

- ・第3回ワークショップの開催前に新規参加者募集チラシを作成して市内各所で配布するとともに、広報さがみはらや市ホームページ、SNS（フェイスブック、ツイッター）を通じて新規参加者の募集を行った。
- ・新規参加者については、相模原市内だけでなく市外在住者も応募可能とした。
- ・当初は応募者多数の場合には抽選としていたが、結果的に応募が4名であったため全員が参加した。第4回以降の希望者についても、随時、ワークショップに参加していただいた。

- 募集対象 相模湖駅周辺地区や小原宿地区のまちづくりに興味のある方。
地域の方々と一緒にまちづくりに取り組んでみたいと考えている方。
- 募集方法 市内各所での新規参加者募集チラシの配布
広報さがみはら（11月1日号）
市ホームページ
フェイスブック（ミウル）
ツイッター（ミウル）
- 募集期間 平成28年11月1日（火）～11月15日（火）
- 応募方法 相模原市街づくり支援課（持参、FAX、はがき、Eメール）、

図 新規参加者募集チラシ

相模湖地区を共に盛り上げるため、まちづくりワークショップに参加しませんか？

相模原市緑区（旧相模湖町）に位置する相模湖駅周辺地区と小原宿地区を対象に、地域住民のみなさんが主体となって実現する「**まちづくりのアイデア**」を検討するため、全5回のワークショップを開催しています。

これまで、主に地域住民のみなさんに参加いただき、第1回と第2回の計2回のワークショップが終了しました。いずれも30人ほどの方に参加いただき、大盛況でした。

第3回以降はアイデアの実現化に向けて活動メンバーを増やすために、相模湖の駅周辺や小原で、地元の人と一緒に地域のまちづくりを考えてくれる仲間を募集します！

まちづくりのアイデアとは？
市役所が行う、いわゆる公共工事のような大掛かりな取組みではなく、**地域のみなさんが中心となって考えながら進める、地域が元気になるような取組みです！**

ワークショップとは？
講義などのように一方的に知識を伝達するのではなく、参加者が主体的に参加し、体験や話し合いを共有する中で、互いに何かを**気づいたり学びあったり**創り出したりする場。

「地域の課題解決のために、こんなことをやってみたい！」
「地域のために、何かしたい！」
そんな考えをお持ちの方は、ぜひご参加ください。地域住民のみなさんのアイデアを発見し、実現化を一緒に目指してみませんか？

対 象 ● 人を集めるきっかけづくりや、地域資源を活かしたまちづくりに興味のある人、相模湖地区が好きな人

開催スケジュール（予定）

	日にち	時間	会場
第1回	平成28年8月27日(土)		終了
第2回	平成28年10月1日(土)		終了
まちあるき	平成28年12月3日(土)	午後2時～4時	相模湖地区 集合 相模湖総合事務所2階正面入口
第3回		午後5時～7時	相模湖総合事務所 3階 大会議室
第4回	平成29年1月28日(土)	午後7時～9時	相模湖総合事務所 3階 大会議室
第5回	平成29年2月18日(土)	午後7時～9時	相模湖総合事務所 3階 大会議室

次回はワークショップの前に相模湖駅周辺と小原宿のまちあるきを行い、地域を歩いたうえでワークショップに参加していただきます。歩きやすい服装・靴、飲み物を持参してください。

第3回ワークショップでは、新しい参加者の方々も一緒に第2回で出された「まちづくりのアイデアの種」をもとに、さらなる新しいアイデアの種の発掘を行います。

第3回のテーマ『まちづくりのアイデアを寄せよう！』

定 員 約10名（抽選）

申込方法 11月1日～15日（必着）に、直接か、ファクス、はがき、Eメールに氏名（ふりがな）、住所、年齢、性別、電話番号、出欠の希望を書いて、街づくり支援課へ

申込先・お問い合わせ
相模原市 まちづくり計画部 街づくり支援課
〒252-5277 神奈川県相模原市中央区中央2-11-15
Tel:042-769-9252（直通） Fax:042-754-5450
Eメール:machizukuri@city.sagamihara.kanagawa.jp

参加申込書

ふりがな			
お名前			
ご住所			
年齢		性別	
電話番号	FAX番号		
E-mail			
出欠の希望	まちあるきとワークショップの両方に参加	ワークショップのみ参加	
□をつけてください			

第2章 ワークショップの実施

1. ワークショップの開催概要

(1) まちづくりワークショップの開催

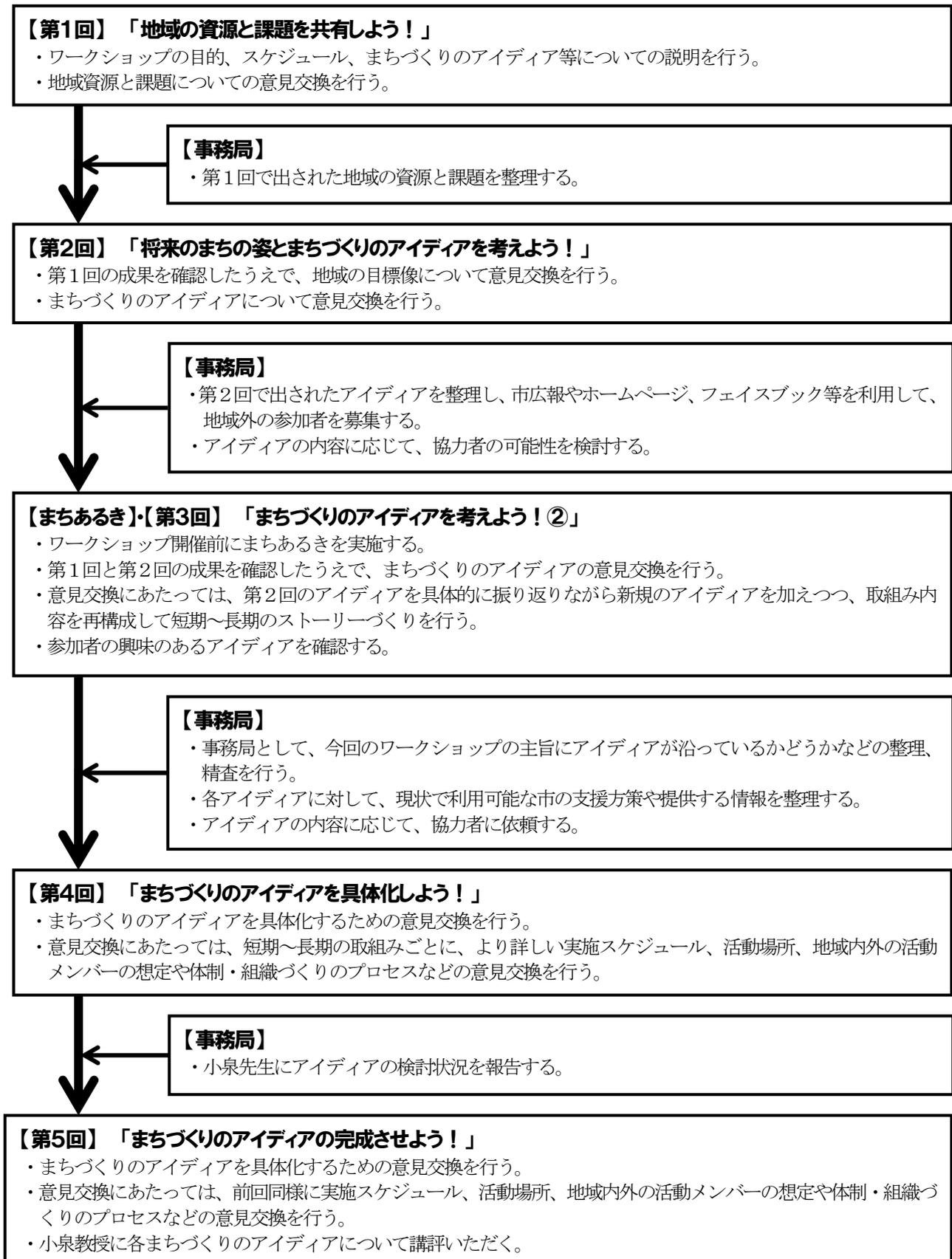
- ・まちづくりのアイデアの検討にあたっては、相模湖駅周辺地区および小原宿地区の2地区合同で、全5回のワークショップ及びまちあるきを実施した。
- ・最終回となる第5回ではコミュニティデザインが専門である東京大学の小泉 秀樹 教授をアドバイザーとして招き、意見交換を通じて具体化したまちづくりのアイデアの内容に対して来年度以降の活動に向けたアドバイスをいただいた。
- ・開催概要は次の通りである。

表 開催概要

	開催日時	開催場所	テーマ	参加者
第1回	平成28年8月27日(土) 19:00~21:00	相模湖総合事務所 A会議室	地域の資源と課題を共有しよう!	26名
第2回	平成28年10月1日(土) 19:00~21:00	相模湖総合事務所 大会議室	将来のまちの姿と まちづくりのアイデアを考えよう!	25名
まちあるき	平成28年12月3日(土) 14:00~16:00	相模湖駅周辺と 小原宿の周辺	—	8名
第3回	平成28年12月3日(土) 17:00~19:00	相模湖総合事務所 大会議室	まちづくりのアイデアを 考えよう!②	19名
第4回	平成28年1月28日(土) 19:00~21:00	相模湖総合事務所 大会議室	まちづくりのアイデアを 具体化しよう!	17名
第5回	平成28年2月18日(土) 19:00~21:00	相模湖総合事務所 大会議室	まちづくりのアイデアを 完成させよう!	18名

(2)ワークショップの全体の流れ

・以下のような流れで、ワークショップの企画・開催・運営を行った。



2. ワークショップの進め方

(1)第1回まちづくりワークショップ 「地域の資源と課題を共有しよう！」

- ・第1回のワークショップでは、最初にワークショップの目的、スケジュール、まちづくりのアイデアとはどのようなものか説明した。その後、引き続き地域の資源と課題を共有するための意見交換を行った。
- ・最後に、第2回ワークショップでの意見交換を円滑に進めるために「将来のまちの姿」と「まちづくりのアイデア」について参加者に宿題を依頼した。
- ・地域の資源と課題を検討するにあたっての視点、ワークショップの進め方等については、次の通りである。

①地域の資源及び課題を検討するにあたっての視点とワークショップの進め方

【地域の資源—どのような地域資源を見出すか—】

- ・ここでいう資源とは、土地・水・埋蔵鉱物・森林・水産生物などの自然から得る原材料で、産業のもととなる有用物(天然資源)や、広く、産業上利用しうる物資や人材のことである。また、地域活動に利用可能な有形、無形のあらゆる要素ということもできる。
- ・資源の中には、使えば無くなるものもあるが、使えば使うほど価値が高まるものもある。例えば、「人材」という資源は活用するほどに成長し、価値が高まり、さらには人的ネットワーク資源も活用され、相互の信頼関係が高まる場合もある。
- ・可能な限り網羅的に地域資源を把握・整理できるよう、例えば、以下のような例示を考慮して地域資源を検討する。
 - 気候、地勢———地形・地質、気候
 - 自然的なもの———山林、里山、農地、草地、自然護岸、動植物、鉱物資源、地下水、河川、湖沼等
 - 歴史的なもの———遺跡、歴史的文化財、歴史的建造物、歴史的イベント、郷土出身者 等
 - 文化・社会的なもの—伝統文化、芸能、民話、祭り、イベント、スポーツ 等
 - 絆、人———【集団】人脈、ネットワーク、地域や社会の結束力、 等
【個人】労働力、技能、技術、知的資源
 - 知的な、目に見えないもの—知恵、ノウハウ、ブランド、評判、制度、ルール、愛着、誇り 等
 - 都市的資源———構造物、家屋、市街地、街路、公園 等
 - その他———【環境総体】風景、景観 等
【特産品】農作物、加工品、組み立て製品 等
【中間生産物】間伐材、下草

【課題—どのような課題を見出すか—】

- ・普段、生活をしている中で感じていることを参加者に書き出してもらう。
- ・また、すでに書き出した地域資源についても、現状を考えて、その機能や価値を損ねている場合や、新たな機能や価値を生み出す場合に課題となることがないか書き出してもらう。

- ・地域の資源及び課題を検討するにあたっては、各地区の地図を用意して即地的な議論を行うことができるようにした。

図 相模湖駅周辺地区の地図

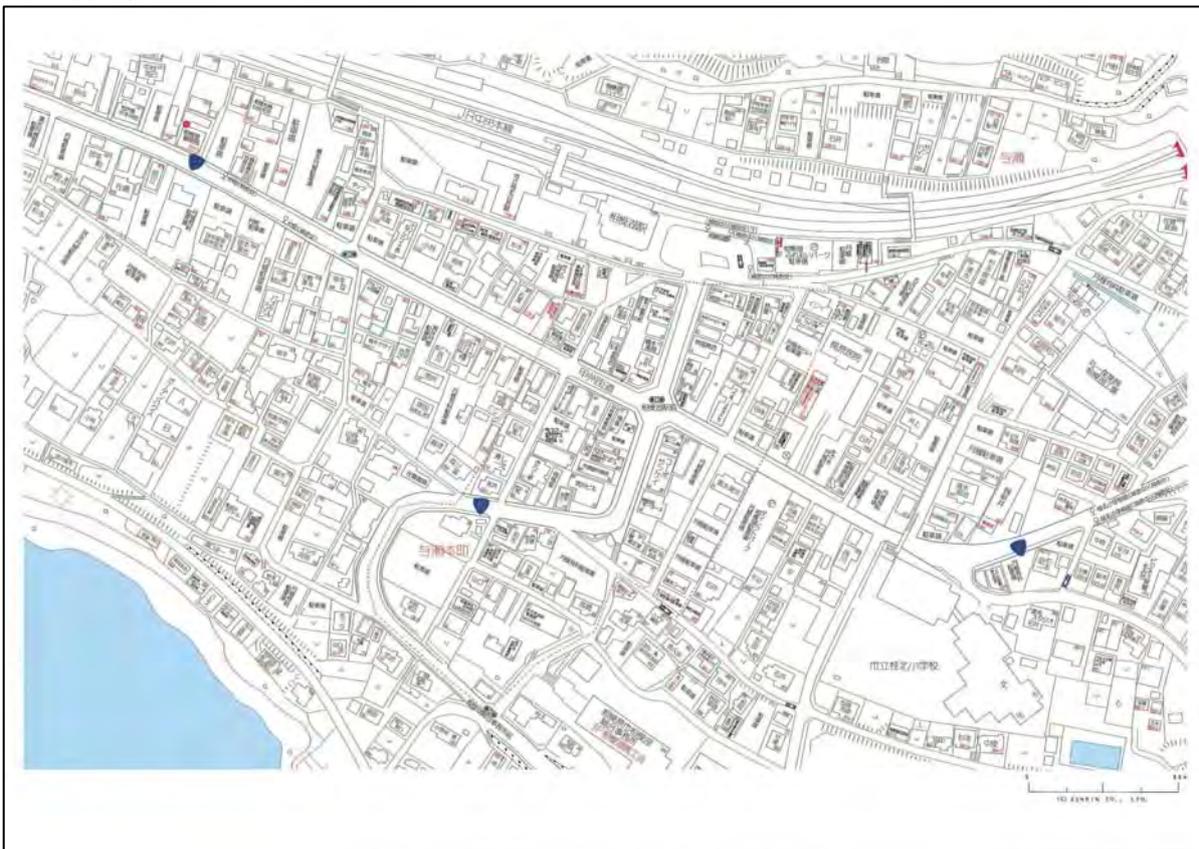


図 小原宿地区の地図



表 第1回まちづくりワークショップのタイムスケジュール (120分)

時間		内容	担当	備考
19:00	5分	開会あいさつ	市	※市としての趣旨説明も簡単に実施
趣旨説明				
19:05	15分	まちづくりWSについて <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップの目的 ・全体スケジュール まちづくりのアイデアについて <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりのアイデアとは ・アイデアの検討方法 ・住民と市の役割 本日の進め方 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源とは ・課題とは 	都市環境	
ワークショップ				
19:20	10分	アイスブレイク <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・地区の居住歴あるいは関わり ・最近の地域の良いニュース ・検討結果は最後に住民の代表が発表することを説明 	ファシリテーター	※一人、1分
19:30	60分	地域資源の共有 (30分) <ul style="list-style-type: none"> ・趣旨・方法の説明 (5分) ・地域の資源を理由とともに、各自付箋紙に記入 (5分) ・発表しながら類似意見を確認しつつ全員発表 (15分) ・意見のとりまとめ (5分) 	ファシリテーター	※ソフト・ハードの両方 ※現況の情報を載せた白図を用意
		課題の共有 (30分) <ul style="list-style-type: none"> ・趣旨・方法の説明 (5分) ・地域の課題を各自付箋紙に記入 (5分) ・発表しながら類似意見を確認しつつ全員発表 (15分) ・意見のとりまとめ (5分) 	ファシリテーター	
20:30	15分	検討結果の発表	地域住民代表	※一グループ、4分
20:45	10分	次回までのお願い・宿題 <ul style="list-style-type: none"> ・将来のまちの姿 ・まちづくりのアイデア 		※説明しながら、資料を各テーブルに配布
20:55	5分	閉会あいさつ 今後のスケジュール	市	
21:00	—	閉会		

②第1回まちづくりワークショップの班構成

- ・ワークショップは相模湖駅周辺地区と小原宿地区で大きく2班に分けて実施し、相模湖駅周辺地区及び小原宿地区で各2つずつ、計4グループを用意した。
- ・グループごとに、ファシリテーターは都市環境研究所（3名）及び市職員（1名）から1人ずつ、記録係は市職員（4名）から1人ずつ担当した。
- ・全体のタイムキーパーもあわせて配置した。

図 班構成

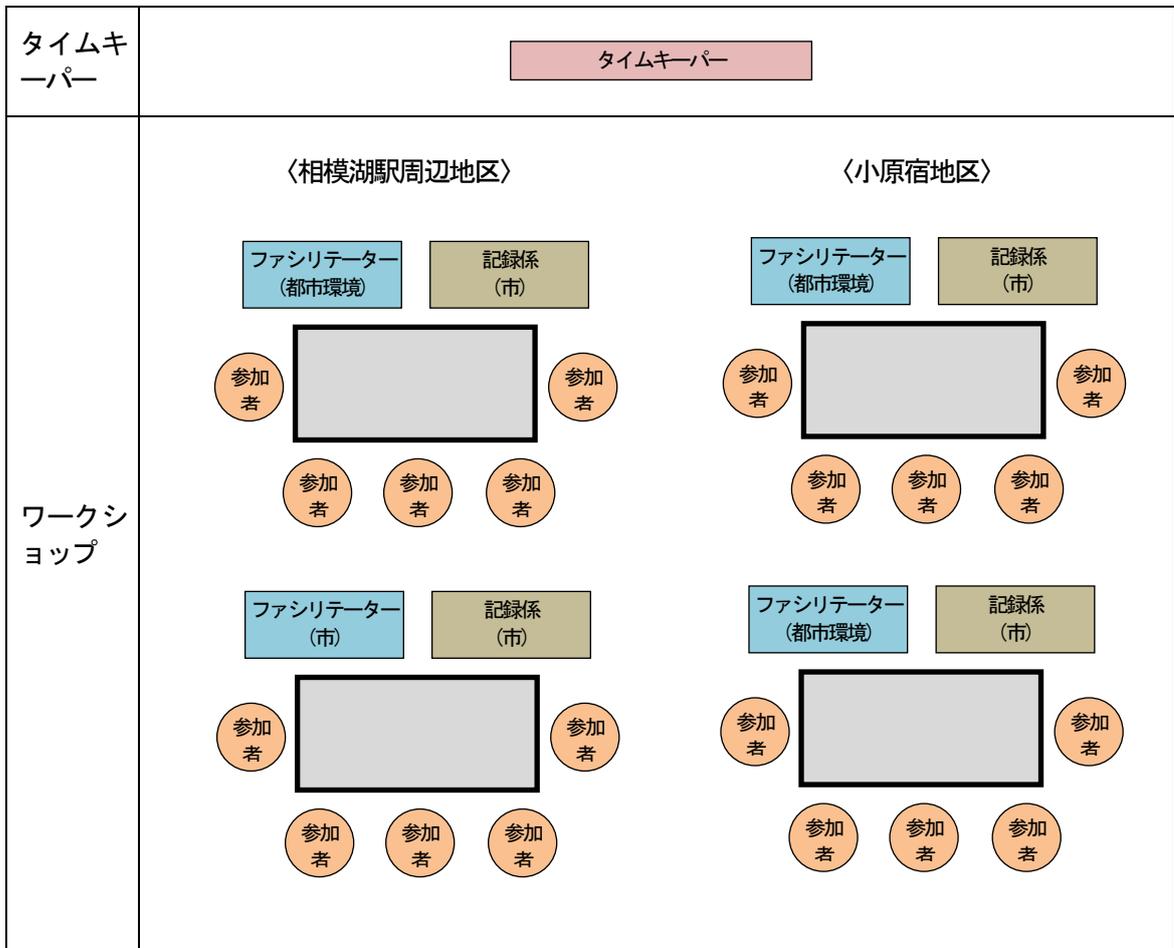


写真 第1回まちづくりワークショップの様子



③第1回ワークショップのファシリテーターの進め方

- ・第1回のワークショップは初回となることからファシリテーターの進め方を整理し、事務局で手順を共有化した。

内容	担当	備考
<p>アイスブレイク (10分)</p> <p>●自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初にファシリテーターの所属と名前を伝える。 「■■■の■■■です。ひと言(例:大変だとは思いますが、1年がんばっておつきあいください)。よろしくお願いします。」 ・ファシリテーターの右隣りの人から名前、<u>地区の居住歴</u>、<u>最近の地域</u>で起こったちょっと良いニュースを発表。 「みなさんは顔なじみかもしれませんが、私はお会いするのは初めての方がほとんどなので、お名前と小原に住み始めて何年経つか、あと、この地区のことを知りたいので、できれば最近の小原のちょっと良いニュースなどありましたら教えてください。」 「では、右の方から時計回りでお願いします。」 「小原の■■■です。■■■」 「隣の方どうぞ」 ～以上を繰り返す～ 「(みなさんの発表に自分の感想を述べる)」 	<p>ファシリテーター (市・都市環)</p>	<p>※アイスブレイク：初対面の人同士が出会う時、その緊張をときほぐすための手法 ※一人、1分を目安に ※みんな知り合いだからという声も出るかもしれないが、ファシリテーターは分からないので自己紹介をお願いする。 ※場の雰囲気や和らげて、発言に慣れることが目的なので、名前以外のことも話してもらうようにする。</p>
<p>地域資源の共有 (30分)</p> <p>●主旨・方法の説明 (5分)</p> <p>●地域の資源を理由とともに、各自付箋紙に記入 (5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「先ほど、今日の進め方をご説明したように、最初に小原の地域にある資源をみなさんと共有したいと思います。」 「みなさんが小原で大切だと思う場所や物、人などを青い付箋に、お手元の黒いサインペンで書いてください。」 「後で整理しやすいように、一つの内容を1枚の付箋にお書きください。」 「これから5分、時間をとるので、お書きください。」 ●発表しながら類似意見を確認しつつ全員発表 (15分) 「5分経ちましたが、みなさんどうでしょうか？」 「だいたい書き終わったようなので、発表していただいでよろしいでしょうか。思うように書けなかったという方は、他の方が発表している間に書いても結構ですし、こちらで付箋紙に書きますので、口頭で言っていたいただいで結構です。」 「では、自己紹介の時とは反対側のこちらの方からお願いできますか？」 「■■■■■」 「その場所はどちらですか？(付箋を地図に貼る)」 「ありがとうございます。同じようなことをお書き頂いた方はいらっしゃいますか？」 「■■■■■」 ～以上を繰り返す～ 「まだ、発表されていないこちらの方はいかがでしょうか？皆さんの意見を聞いて思い浮かんだことを口頭でおっしゃっていただいても構いません。」 「だいたい出揃ったようですね。全体的に見てみなさんそうかなと思えるようなものですか？それとも新しい視点で面白いと思ったものがありますか？議論して新しく思いついたことはありますか？」 ～意見を促す～ 	<p>ファシリテーター (市・都市環)</p>	<p>※現況の情報を載せた白図を用意 ※各席の前に、付箋と黒いサインペンを用意 ※青色の付箋が資源用理由があれば黄色の付箋に書く ※色を間違えた場合には、ファシリテーターが記入しても ※関連するものが集まってくればくって、プロッキーで見出しをつけていく。 ※範囲があるものであれば、地図にプロッキーで書き込む。 ※可能な限り、地図に書き込んでいく。 ※類似の意見を先に発表してもらう。 ※何も発言していない人がいれば、こちらから発言の機会を振る。</p>

内容	担当	備考
<p>●意見のとりまとめ (5分)</p> <p>・ファシリテーターが簡単に総括を行う。</p> <p>「全体的に■■■は、ほとんどのみなさんが地域で大切だと思っていることが分かりました。また、個人的に大切だと思っていた■■■や■■■なども出てきて新しい発見があったと思います。」</p>		<p>※後で地元の人に発表してもらうことを意識して、ファシリテーターがまとめる。</p>
<p>課題の共有 (30分)</p> <p>●主旨・方法の説明 (5分)</p> <p>●地域の課題を各自付箋紙に記入 (5分)</p> <p>「続いて、小原の地域にある課題をみなさんと共有したいと思います。」</p> <p>「みなさんが小原で問題だと思う場所や物、人などを今度は赤い付箋に、お手元の黒いサインペンで書いてください。」</p> <p>「後で整理しやすいように、一つの内容を1枚の付箋にお書きください。」</p> <p>「これから5分、時間をとるので、お書きください。」</p> <p>●発表しながら類似意見を確認しつつ全員発表 (15分)</p> <p>「5分経ちましたが、みなさんどうでしょうか？」</p> <p>「だいたい書き終わったようなので、最初の資源と同じように発表していただいでよろしいでしょうか。思うように書けなかったという方は、他の方が発表している間に書いても結構ですし、こちらで付箋紙に書きますので、口頭で言っていたいただいで結構です。」</p> <p>「では、今度は書けた方からお願いします」</p> <p>「■■■■」</p> <p>「その場所はどこですか？(付箋を地図に貼る)」</p> <p>「ありがとうございます。同じようなことをお書き頂いた方はいらっしゃいますか？」</p> <p>「■■■■」</p> <p>～以上を繰り返す～</p> <p>「まだ、発表されていないこちらの方はいかがでしょうか？皆さんの意見を聞いて口頭でおっしゃっていただいても構いません。」</p> <p>「だいたい出揃ったようですね。全体的に見てみなさんそうかなと思えるようなものですか？それとも新しい視点で面白いと思ったものがありますか？議論して新しく思いついたことはありますか？」</p> <p>～意見を促す～</p> <p>●意見のとりまとめ (5分)</p> <p>・ファシリテーターが簡単に総括を行い、発表者を決定する。</p> <p>「全体的に■■■は、ほとんどのみなさんが地域で課題だと思っていることが分かりました。他にも■■■や■■■、■■■などがみなさんが共通して課題として捉えているということでしょうか。」</p> <p>「最後の全体の発表を地域の方にやっていただきたいと思っているのですが、どなたかいらっしゃいませんか？自薦、他薦問いませんので、ぜひお願いします。」</p> <p>～発表者決定～</p> <p>「それでは、よろしくお願いします。全て網羅しなくても大丈夫ですので、ご自身なりで、このテーブルの資源と課題を後で簡単に発表してください。私も最後に補足します。」</p>	<p>ファシリテーター (市・都市環)</p>	<p>※赤色の付箋が課題用理由があれば黄色の付箋に書く</p> <p>※色を間違えた場合には、ファシリテーターが記入しても</p> <p>※関連するものが集まってくればくって、プロッキーで見出しをつけていく。</p> <p>※範囲があるものであれば、地図にプロッキーで書き込む。</p> <p>※可能な限り、地図に書き込んでいく。</p> <p>※類似の意見を先に発表してもらう。</p> <p>※何も発言していない人がいれば、こちらから発言の機会を振る。</p> <p>※後で地元の人に発表してもらうことを意識して、ファシリテーターがまとめる。</p>

3) まちづくりのアイデアの記入 (25分)

・まちづくりのアイデアの記入 (5分)

- 第1回ワークショップでお願いした宿題である「まちづくりのアイデア」の記入状況の確認する。
- 宿題を持参しなかった人のためにアイデアの種シートに記入を促す。宿題を持参した人に、追加を書いてもらっても良い。
- 書き終わったら中央に移動し、地区ごとに集合する。

図 まちづくりのアイデアの記入用紙

まちづくりのアイデアの種シート

①アイデア名

②どのようなアイデアですか? [取組みの内容]

③なぜ、やってみようと思いましたか? [理由]

4) まちづくりのアイデアの発表 (45分)

・まちづくりのアイデアについて、シートをもとに発表 (25分：一人2分)

- アイデアの種シートを順番に発表してもらう。
- ファシリテーターは、模造紙の上に類似意見を近くに貼る。

・類似したアイデア、不足している点を補うアイデア、性格の異なるアイデアを、統合整理や組み合わせなどを行い、より具体性を高める (20分)

- 他人のアイデアについて発表を促す。ファシリテーターはその意見を付箋に書いて、アイデアの種シートに貼っていく。
- 場合によっては、ファシリテーターが統合した方が良いプロジェクトなどを促してみる。

写真 第2回まちづくりワークショップの様子



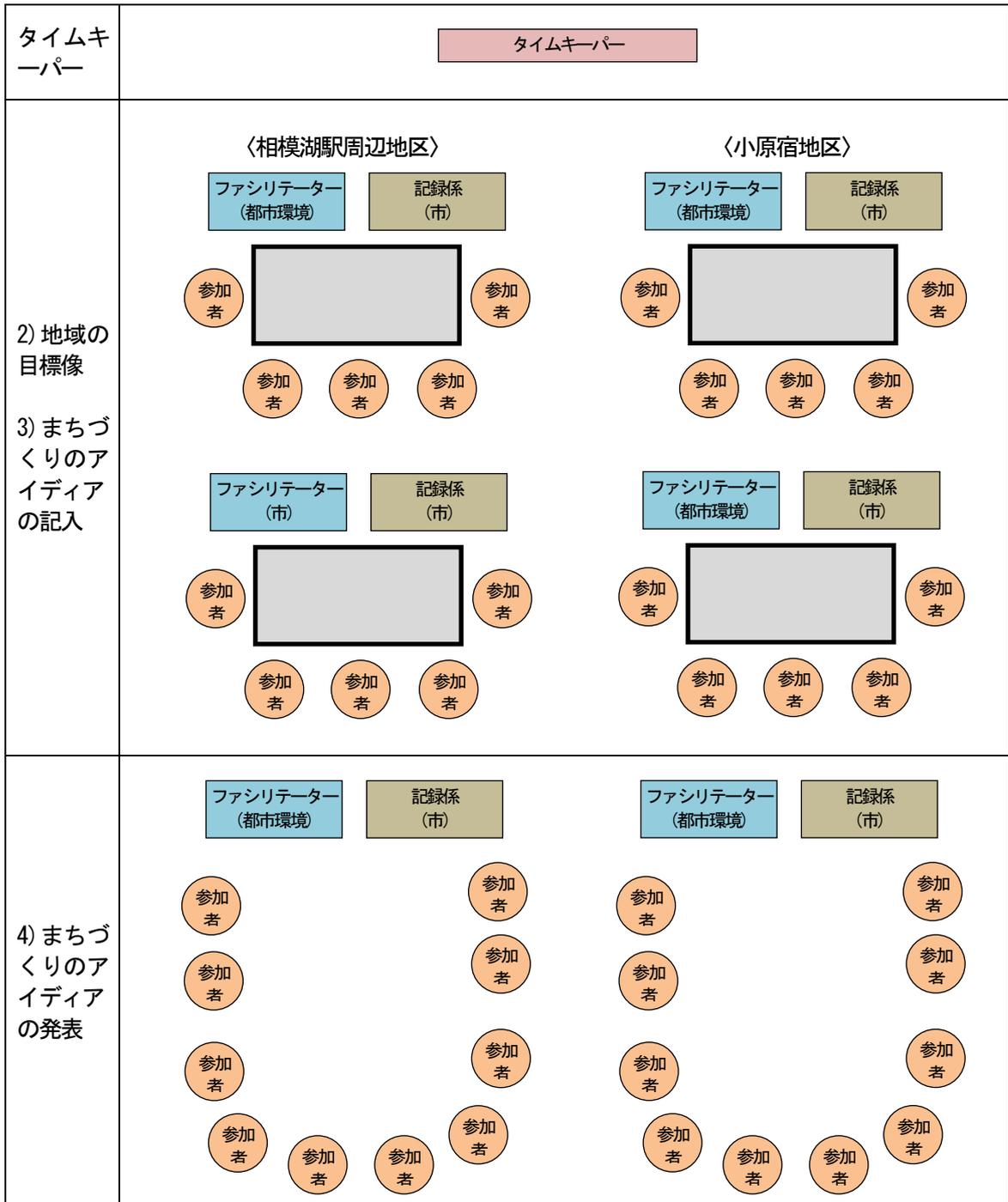
表 第2回まちづくりワークショップのタイムスケジュール (120分)

時間		内容	担当	備考
19:00	5分	開会あいさつ	市	
趣旨説明				
19:05	10分	本日の進め方 ・本日の進め方 第1回のおさらい ・前回出された地域資源と課題について地区ごとに確認	都市環境	
ワークショップ				
19:15	8分	1) アイスブレイク ・自己紹介	ファシリテーター	※一人、1分
19:23	5分	2) 地域の目標像 (25分) ・趣旨・方法の説明 (5分)	ファシリテーター	※理想的な街の姿をイメージしてもらい、どのような季節のどのような時間に、誰が何をしているかを頭に浮かべてもらう
19:28	20分	・将来のまちの姿を全員発表。類似意見を確認しつつ、分類が出来る場合は分類 (20分) ※前回の宿題で書いてこなかった人は、地域の将来の理想的な姿※を各自付箋紙に記入		
19:48	5分	3) まちづくりのアイディアの記入 (5分) ・まちづくりのアイディアの記入 (5分) ※前回の宿題で書いてこなかった人は、地域の将来の理想的な姿を各自付箋紙に記入	ファシリテーター	
19:53	25分	4) まちづくりのアイディアの発表 (45分) ・まちづくりのアイディアについて、シートをもとに発表 (25分)		
20:18	20分	・類似意見などを確認し全員で意見交換 ・類似したアイディア、不足している点を補うアイディア、性格の異なるアイディアを、統合整理や組み合わせなどを行い、より具体性を高める (20分)		
20:38	15分	議論の共有	地域住民代表 (場合によっては都市環境)	※次回以降のWSに勉強会等の開催の意見が上がると良い
20:53	5分	今後の進め方 ・参加者拡大について	都市環境	
20:58	2分	閉会あいさつ・今後のスケジュール	市	
21:00	-	閉会		

②第2回まちづくりワークショップの班構成

- ・ワークショップは、相模湖駅周辺地区と小原宿地区で大きく2班に分けて実施した。
- ・地域の目標像の検討の際には、相模湖駅周辺地区及び小原宿地区で各2つずつ、計4グループを用意した。まちづくりのアイデアの検討では、相模湖駅周辺地区及び小原宿地区の地区全体で検討した。
- ・グループごとに、ファシリテーターは都市環境研究所（3名）及び市職員（1名）から1人ずつ、記録係は市職員（4名）から1人ずつ担当した。
- ・全体のタイムキーパーもあわせて配置した。

図 班構成



(3)まちあるき

- ・第3回のワークショップでは地区外の新規メンバーが加わることから、地域の現況や課題を実際に現地で見ながら共有化を図るため、ワークショップの開催にあわせてまちあるきを行った。

①まちあるきの進め方

- ・相模湖駅周辺や小原のビューポイント、小原の集落を巡り、第1回ワークショップで出された資源や課題を、随時、確認する。
- ・参加者は広報等を通じて応募のあった新規参加者及びこれまでの参加者とし、ワークショップとは別にまちあるきの参加は任意とする。
- ・自家用車を利用する場合も想定されるため、集合場所は相模湖総合事務所とした。
- ・まちあるき終了後は、ワークショップ開始まで約1時間の空き時間が発生するので、希望者が参加する形で休憩しながら30分程度の意見交換（感想）を行う。その際、お茶等を飲むためにお湯を確保する。
- ・まちあるきの出欠については、新規参加者は応募の際に確認する。
- ・保険に加入する。怪我の場合の病院を確認しておく。
- ・雨天は小雨であれば決行する。天気予報で大雨が予想される場合には、前日の17時までに判断し参加者に連絡する。その際の現地の状況を説明するパワーポイント資料を準備する。

表 まちあるきのタイムスケジュール（120分）

時間	内容	担当	備考
14:00	2分 集合・あいさつ・趣旨説明	市	
14:02	3分 コース説明	都市環境	
まちあるき			
14:05	- ①相模湖総合事務所 出発	都市環境 ・市	※トイレ利用可
↓	5分 (移動)		
14:10	- ②JR相模湖駅前		
↓	20分 (移動)		
14:30	- ③相模湖ビューポイント		
	25分 (移動)		
14:55	- ④小原ビューポイント		
↓	5分 (移動)		
15:00	10分 ⑤小原の郷（約10分休憩）		
↓	5分 (移動)		
15:15	10分 ⑥小原宿本陣（約10分見学）	市	
↓	30分 (移動)		
15:55	5分 相模湖総合事務所 到着・あいさつ		
16:00	- 一時解散		
追加まちあるき（オプションコース）			
↓	10分 (移動)	希望者のみ	※小原の酒まんじゅうを用意
16:10	- ⑦神奈川県立相模湖公園		
↓	15分 (移動)		
16:25	- 相模湖総合事務所 到着		
16:30	- ワークショップ会場（大会議室）に移動		
17:00	- ワークショップ開始		

図 まちあるきコースMAP

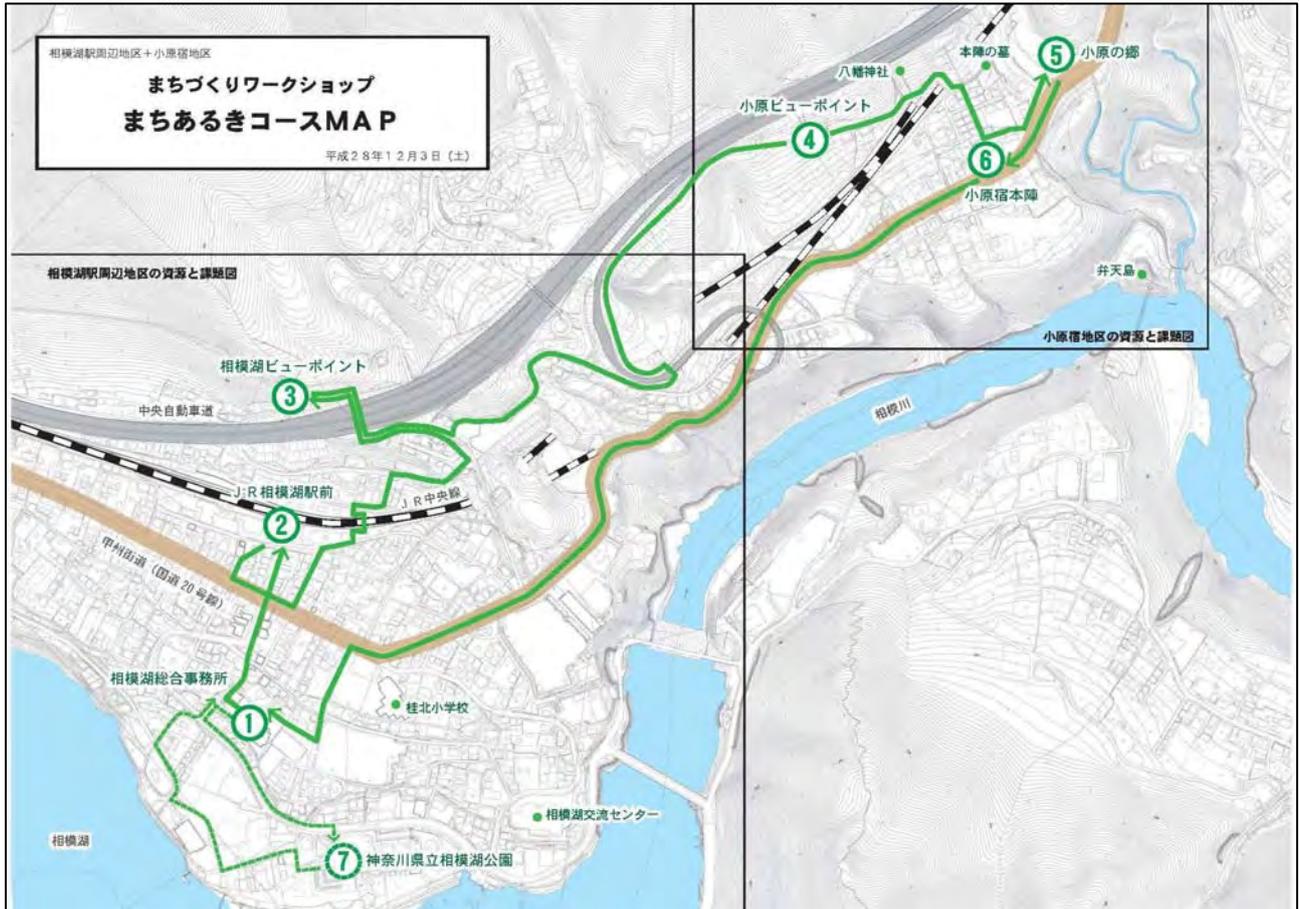


写真 まちあるきの様子



(4)第3回まちづくりワークショップ 「まちづくりのアイデアを考えよう!②」

- ・第3回のワークショップでは、新規の参加者を迎えて、第1回及び第2回ワークショップの成果を確認したうえで、新たなまちづくりのアイデアの発掘とその具体化に向けた意見交換を行った。
- ・まちづくりのアイデアを検討するにあたっての視点、ワークショップの進め方等については、次の通りである。

①ワークショップの進め方

1)本日の流れ

- ・今回から新しい参加者が加わったことを説明する。
- ・当日の簡単な流れを説明する。
- ・写真撮影と録音について参加者から許可を取る。

2)第1回と第2回のおさらい

- ・第1回で出された地域資源と課題について第2回と同様に簡単に紹介する。
- ・第2回で出されたまちの将来像についていくつかピックアップして紹介する。
- ・第2回で出されたまちづくりのアイデアについて、近い内容の大まかにまとめたアイデアについて紹介する。

3)本日の進め方/まちづくりのアイデアの検討の進め方について

- ・各地区の代表的なアイデア(2地区4アイデア)を対象に、事務局が考えた“例えば”として、検討の視点や今後の取組み方のスケジュール例を示す。
- ・相模湖の場合は、「音楽と湖のまち」、「自然や坂道を活かして健康づくり」を取り上げる。小原の場合は、「小原BBQ大作戦」と「本陣の活用」を取り上げる。

4)アイスブレイク

- ・名前と一言を添えて自己紹介を行う。初参加の方は参加の理由も発表してもらう。

5)前回のアイデアの確認と新アイデアの発表

- ・アイデアのまとめりごとに、まちづくりのアイデアとアイデア番号、アイデアの概要を記載したカードを前に張り出しておき、前回のアイデアを確認する。
- ・発案者を覚えていた場合には、その内容について再度紹介してもらっても良い。
- ・新規参加者を優先的に、新しいアイデアを持ってきた人がいるかどうか確認し、内容を説明してもらう。シートに書いてこなかった人も、時間があればシートに記入してもらう。
- ・空欄のカードを用意しておくので、その意見を聞いて次の作業に使うために記録係が書き写す。

6)アイデアの整理とアイデアの具体化

- ・上記のアイデアの時間軸(すぐできること・短期・中期・長期)やストーリーを意識したうえで、付け加えた方が良い活動、分けた方が良い活動、既存の活動との関係について議論し、いくつかのアイデアのまとめりを模造紙を活用しながら再整理する。
- ・整理されなかったアイデアは、そのまましておく。

図 時間軸を記入できるようにした模造紙

アイデア名	スケジュール			
	すぐに行えること (今年度中)	短期 (来年)	中期 (2～3年後ぐらい)	長期 (4～5年後以上)

7) 興味のあるアイデアへのシール投票

- ・参加者がそれぞれのアイデアに興味があるか、シールに記名のうえ投票を行う。
- ・シールを貼るハードルを下げるために、複数のシールを用意する。

8) 各アイデアのすぐできる取組みの実施時期を検討

- ・すぐできる取組みのうち、シールを貼られたものを対象にいつ行うか大まかのスケジュールを確認する。

表 第3回まちづくりワークショップのタイムスケジュール (120分)

時間		内容	担当	備考
17:00	5分	開会あいさつ	市	
趣旨説明				
17:05	15分	1) 本日の流れ ・ 本日の進め方 2) 第1回と第2回のおさらい ・ 第1回の地域資源と課題、第2回のまちづくりのアイデアについて確認 3) 本日の進め方/ アイディアの検討の進め方 ・ 具体のアイデアを事例とし、検討の視点や取り組み方のスケジュール例を示す	都市環境	
ワークショップ				
17:20	4分	4) アイスブレイク ・ 自己紹介	ファシリテーター	※一人、15秒
17:24	15分	5) 前回のアイデアの確認と新アイデアの発表 (20分) ・ 前回のアイデアの紹介	ファシリテーター	
17:39	5分	・ 新しいアイデアの確認		
17:44	5分	6) アイディアの整理と具体化 (40分) ・ 進め方について説明	ファシリテーター	
17:49	35分	・ アイディアの整理と具体化するため、類似したアイデア、不足している点を補うアイデア、性格の異なるアイデアを、統合整理や組み合わせなどを行い、より具体性を高める		
18:24	5分	7) アイディアへのシール投票 ・ シールに名前を書いてもらって、各アイデアに興味のあるものにシールで投票する ・ 記録係が集計する	ファシリテーター	
18:29	7分	8) すぐできる取り組みの実施時期の検討 ・ すぐできる取り組みのうち、シールを貼られたものを対象にいつ行うか大まかのスケジュールを確認する。	ファシリテーター	
18:36	20分	議論の共有	地域住民代表	※各地区、10分
18:56	2分	今後の進め方 ・ 簡単に第4回の進め方について説明する	都市環境	
18:58	2分	閉会あいさつ・今後のスケジュール	市	
19:00	-	閉会		

③第3回まちづくりワークショップの班構成

- ・ワークショップは、相模湖駅周辺地区と小原宿地区で大きく2班に分けて実施した。
- ・地区全体でまちづくりのアイデアを共有しながら意見交換を行うため、相模湖駅周辺地区及び小原宿地区でそれぞれ1つのグループで検討した。
- ・グループごとに、ファシリテーターは都市環境研究所（2名）から1人ずつ、記録係は市職員（3名）、都市環境研究所（1名）から2人ずつ担当した。
- ・全体のタイムキーパーもあわせて配置した。

図 班構成

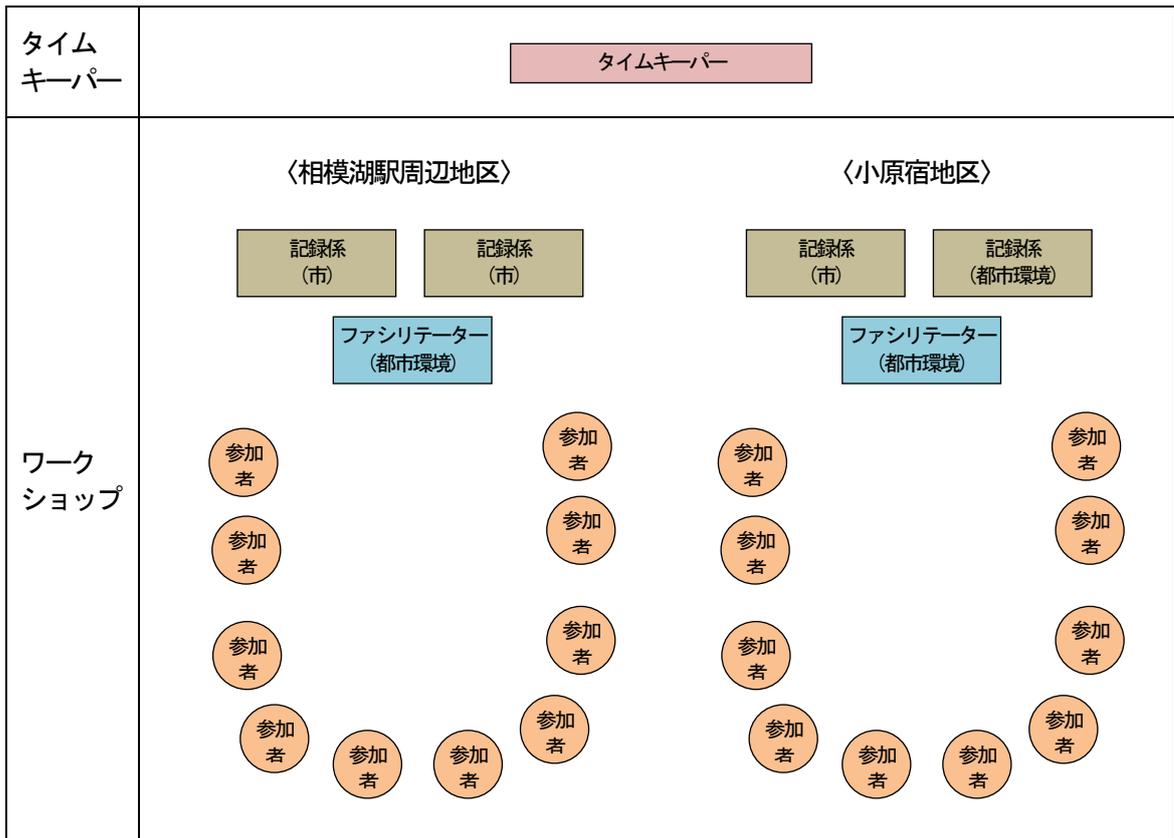


写真 第3回まちづくりワークショップの様子



(5)第4回まちづくりワークショップ 「まちづくりのアイデアを具体化しよう！」

- ・第4回のワークショップでは、これまで検討してきたまちづくりのアイデアの具体化に向けた意見交換を前回に引き続き行った。
- ・まちづくりのアイデアを検討するにあたっての視点、ワークショップの進め方等については、次の通りである。

①ワークショップの進め方

1)本日の流れ

- ・当日の簡単な流れを説明する。
- ・写真撮影と録音について参加者から許可を取る。

2)第3回のおさらい・本日の進め方/まちづくりのアイデアの検討の進め方について

- ・第3回で出されたまちづくりのアイデアについて、確認する。
- ・各アイデアに対する既存の取組みや市の支援方策等を紹介する。
- ・その際、アイデアの内容によって、小原宿活性化推進会議と一緒に活動したり、市としては検討までは支援できるが実施までは支援できないものがあるということを伝える。
- ・今回の検討の視点を説明する。

3)アイスブレイク

- ・(新しい人がいれば)名前と一言を添えて自己紹介を行う。

4)アイデアごとのグループ分け及び短期の取組みの報告

〈相模湖駅周辺地区〉

- ・前回整理したアイデアと当日整理したアイデアをあわせて、検討するためのグループ分けを改めて行う。

〈小原宿地区〉

- ・どんと焼きの際に行ったBBQの報告をしていただく。

5)まちづくりのアイデアの詳細検討

- ・検討の視点に基づいて、グループごとに検討を行う。
- ・アイデアを整理するために視点ごとに記入できるように作成した模造紙を活用する。

【検討の視点】

- アイデア名の検討
- アイデアごとに取組み内容を改めて確認する
- スケジュールの検討
- 実施場所の検討
- 体制の検討
- 資金の検討

図 検討の視点ごとに記入できるようにした模造紙

まちづくりのアイデア： -A・小原の郷の活用-

まちづくりのアイデアに対する想いや意気込み
 →次回に向けた宿題です！

取組み	取組み内容（何を？どのように？）	スケ	取組み場所
・どうしたら人が集まるかみんなで考える		短	
・気候の良いころ地域の人々が暮れるようにしないと続かない		短	
・もっと話題になり、観光客が立ち寄る場所に（開いてないときは無人スタンド？）		中	
・小原らしい企画に施設を活用する（伝統芸能、古民芸など）		中	
・小原の郷の広場を有効活用する		短	
・広場でイベントを行う		短	
・みんなが楽しく遊べる場所を作る		短	
・小原の郷の芝生広場でキャンプ大会をする		短	
・来年のGW や夏に小原の郷でBBQを行う		短	
・地域の農産物、特産物を販売する		短	
・地域の方の“自慢”を売る場所		中	
・もうひとつ別の朝市を開催する		長	
・相模湖周辺の地区の若い方に広報で周知する		短	
・地域情報誌で広報する		短	

〈スケジュール〉

すぐに行えること（今年度中）	短期（来年）	中期（2～3年後ぐらい）	長期（4～5年後以上）

〈一緒に取組む人たち〉

地元の人	+	地区外の人
------	---	-------

〈必要な予算と確保する方法〉

金額
確保する方法

6) 議論の共有

- ・各地区のまちづくりのアイデアについての意見交換の結果を発表する。その際、第三者の視点として一方の地区からの意見を確認する。意見がない場合には、ファシリテーターが意見する。
- ・次年度以降の進め方についても、地区ごとの意見交換の結果を共有したうえで全体の意見交換を行う。

表 第4回まちづくりワークショップのタイムスケジュール (120分)

時間		内容	担当	備考
19:00	2分	開会あいさつ	市	
趣旨説明				
19:02	2分	1) 本日の流れ ・本日の進め方	都市環境	
19:04	15分	2) 第3回のおさらい・本日の進め方 ・前回出されたまちづくりのアイデアを確認する ・今回の検討の視点を説明する	都市環境	
19:19	2分	・市の支援方策等を紹介する	市	
19:21	2分	・クラウドファンディングの結果報告	都市環境	
ワークショップ				
19:23	4分	3) アイスブレイク ・(新しい人がいれば) 自己紹介	ファシリテーター	※一人、30秒
19:27	5分	4) アイデアごとのグループ分け 及び短期の取組みの報告 〈相模湖駅周辺地区〉 ・前回のアイデアを基本として、検討メンバーを振り分ける 〈小原宿地区〉 ・どんと焼きの際のBBQの報告	ファシリテーター	
19:32	5分	5) まちづくりのアイデアの詳細検討 (60分) ・進め方、検討の視点の確認	ファシリテーター	※小原宿地区ではアイデアごとに記入用紙を大判で用意
19:37	25分	・アイデア名の検討 ・アイデアごとに取組み内容を改めて確認する ・スケジュールの検討		
20:02	30分	・実施場所の検討 ・体制の検討 ・資金の検討		
20:32	20分	6) 議論の共有 ・発表 ・他地区のまちづくりのアイデアについての意見交換	地域住民代表 (場合によっては都市環境)	※地区ごとに時間を区切る
20:52	7分	今後の進め方 ・宿題について ・小泉先生について	都市環境	
20:59	1分	閉会あいさつ・今後のスケジュール	市	
21:00	-	閉会		

③第4回まちづくりワークショップの班構成

- ・ワークショップは、相模湖駅周辺地区と小原宿地区で大きく2班に分けて実施した。
- ・地区全体でまちづくりのアイデアを共有しながら意見交換を行うため、相模湖駅周辺地区及び小原宿地区でそれぞれ1つのグループで検討した。
- ・グループごとに、ファシリテーターは都市環境研究所（2名）から1人ずつ、記録係は市職員（3名）、都市環境研究所（1名）から2人ずつ担当した。
- ・全体のタイムキーパーもあわせて配置した。

図 班構成

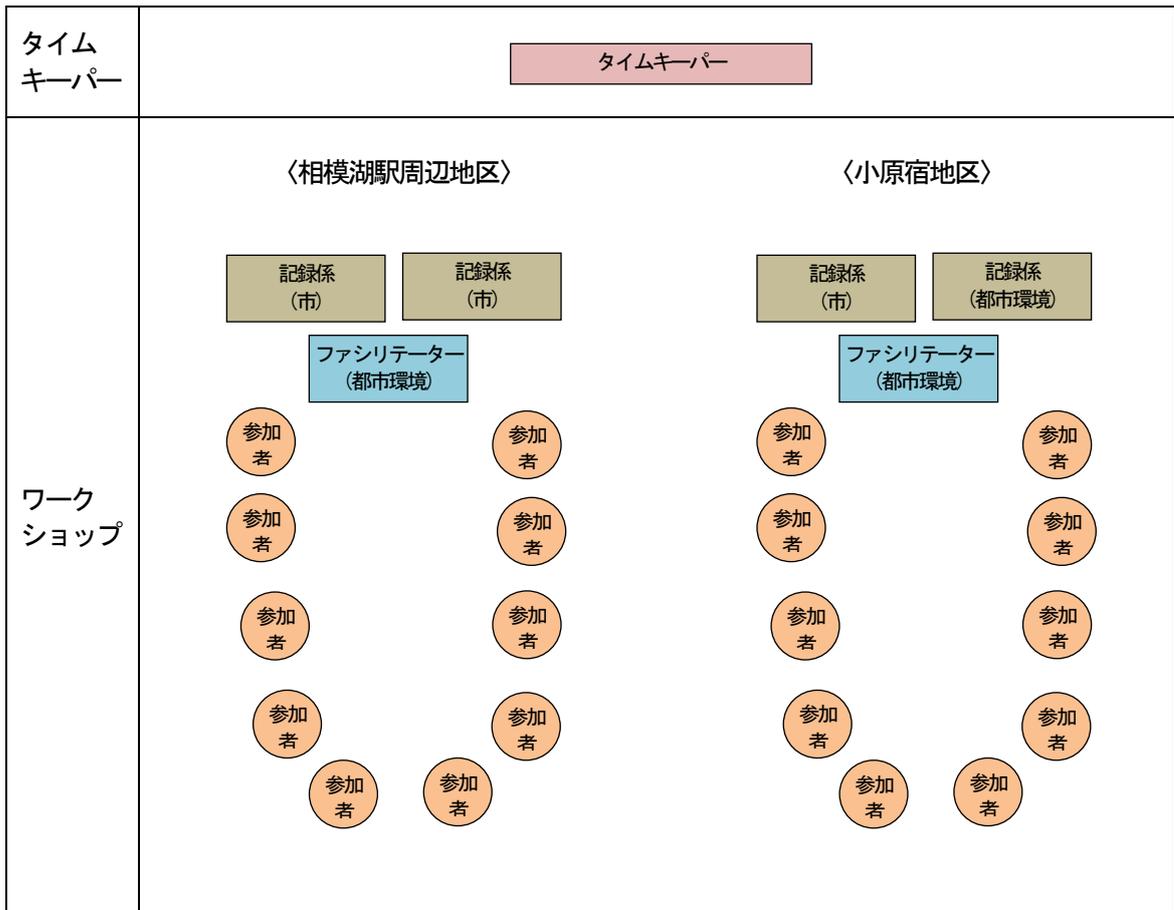


写真 第4回まちづくりワークショップの様子



(6)第5回まちづくりワークショップ 「まちづくりのアイデアの完成させよう！」

- ・第5回のワークショップでは、これまで検討してきたまちづくりのアイデアの具体化に向けた話し合いを前回に引き続き行った。
- ・第4号まちづくりワークショップニュースを送付する際に、これまでのまちづくりのアイデアを整理した資料とまちづくりのアイデアの宿題を同封し、意見交換にあたっては宿題を活用した。
- ・最後に、東京大学 小泉秀樹教授より各まちづくりのアイデアへ講評をしていただいた。
- ・まちづくりのアイデアを検討するにあたっての視点、ワークショップの進め方等については、次の通りである。

①ワークショップの進め方

1) 本日の流れ

- ・当日の簡単な流れを説明する。
- ・写真撮影と録音について参加者から許可を取る。
- ・小泉先生を紹介する。
- ・最後の共有の際に小泉先生から各アイデアについてアドバイスをいただくことを伝える。

2) これまでのアイデアのおさらい

- ・第4回で意見交換されたまちづくりのアイデアについて、簡単に振り返る。
- ・振り返る際は、まちづくりワークショップニュースに同封した「これまで出されたまちづくりのアイデア」を参照しながら説明する。

図 これまで出されたまちづくりのアイデア（相模湖駅周辺地区）



相模湖駅周辺地区 これまで出されたまちづくりのアイデア

—人口を増やすという方向性は、将来的な目標とする！—

ここに書いたヒントは、あくまでも事務局が考えた「例示」です。市役所へのお願いはなく、自分たちが主体となって取組めることを具体的に考えてください。

駅A・地域コミュニティを活性化する

テーマ	取組み	アイデアをふくらませるヒント
目標	・集まって方向性を検討する	・(一輪に行う仲間や応援団を導く) どのような取組みをするか良いか検討を進める
	・事業イベントの広報を充実・強化する	・SNSによる情報発信など自分たちでもできることを行う
その他	・交流センターを活用する	・交流センターのイベントに合わせて、駅前広場などでミニライブを開催する
	・広場など、広い年齢層で語り合える場所や機会を提供する	・(一輪に行う仲間や応援団を導く) どのような取組みをするか良いか検討を進める

テーマ	取組み	アイデアをふくらませるヒント
相模湖	・市で開催しているレガッタ大会に市民がチームを作って参加する	・ワークショップメンバーでチームを作って、レガッタ大会に参加する
	・「子どもの足湯がポート大会」「トレイルラン大会(湖畔・石老山)」を開催する	
	・相模湖のPR方法を検討する	・(一輪に行う仲間や応援団を導く) 検討組織立ち上げる
	・駅前の市有地(相模湖ふれあい広場屋上、(旧)観光案内所跡地、相模湖公民館前広場)や民間の空き家を利用して、情報発信地・休憩所として利用する	・その組織で、利用者アンケート、ニーズ把握を行い、PR方法を検討する
		・PRにあたり、市施設への掲示、展示等を働きかける

駅B・健康づくり・体づくりを推進する

テーマ	取組み	アイデアをふくらませるヒント
ウォーキング・ランニング	・外からの参加者を増やすため、ウォーキングイベントのPR方法を検討する	・(一輪に行う仲間や応援団を導く) 検討組織立ち上げる
	・広報紙を地元企業、在勤者にも配布する	・その組織で、利用者アンケートを行い、ニーズを把握する
登山・ハイキング	・休日やウォーキングやマラソンをする方々に優先的に使えるようなコースをつくる	・SNSによる情報発信など自分たちでもできることを行う
	・登山好き著名人と一緒に高尾登山をするイベントを企画する	・健康普及員となり、活動を活性化する普及活動に参加する。
その他	・相模湖駅から高尾山をめざしてもらおうようにする	・登山の愛好会やサークルをつくり、SNSなどでの情報発信や、清掃活動等を行う。
	・湖畔からポートを利用して石老山までのハイキングコースを新設する【湖畔→(旧)ふるさと森船着場→石老山】	

駅C・人口を増やす

テーマ	取組み	アイデアをふくらませるヒント
居住者への支援	・駅前観光案内所に掲示板を設置し、相模湖に住んでみたい人に戸建の賃貸物件などを紹介する	・街づくり協議会をつくり、移住者支援方面の勉強会開催、各団体への働きかけを行う
	・不動産のホームページより細かい生活情報を載せる	
	・情報の安心感を高めるため、相模原市まち・みどり公社のホームページに情報を載せる	
駅前の活性化	・空地、空き家、空き店舗を活用する	・街づくり協議会をつくり、空き店舗の活用等の勉強会開催、所有者などのニーズ把握、各団体への働きかけを行う
教育	・まちづくり会議では東京都、山梨県に高校入学の要望を出している。	・要望書の提出にあわせて住民も意思表示を強く出す

29

図 これまで出されたまちづくりのアイデア（小原宿地区）

小原宿地区 これまで出されたまちづくりのアイデア

ここに書いたヒントは、あくまでも事務局が考えた「例示」です。市役所へのお願いではなく、自分たちが主体となって取組めることを具体的に考えてください。

小A・小原の舞の活用

テーマ	取組み	アイデアをふくらませるヒント
イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・来年のGWや夏にBBQを行う ・芝生広場でキャンプ大会をする ・芝生広場でフリーマーケットを定期的に開催する ・伝統芸能、古民芸など、小原らしい企画を開催する 	<ul style="list-style-type: none"> ・本陣で開催するものも含めて、イベントと連携しながら開催する ・年間計画を整理して、イベントカレンダーをつくる ・相模原市内で活動する郷土芸能の団体のイベントを行う
お店やレストラン	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客が立ち寄りやすくするために、閉館時に利用できる無人スタンドを設置する ・朝市などで地域の“自慢”となる農産物、特産物を販売する ・飲食や物販を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の野菜を販売する無人の販売所を設置する ・朝市に参加する若い世代の販売者を増やす
PR活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイキングの拠点として整備し、案内看板などを設置する ・甲州街道の情報を知ることができる場所にする ・相模湖周辺の地区の若い人に広報や地域情報誌を周知する ・駐車場の利用者を活用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・出店する組織や何を売るかを検討する ・看板に掲載するための情報を整理し、デザインを考える ・本陣や甲州街道の歴史の資料を収集する ・歴史を伝えるための分かりやすい資料や展示パネルを作成する ・(SNSによる情報発信など)自分たちでもできることを行う ・駐車場案内のホームページを作成し、小原の情報も発信する ・駐車場にPRパネルを設置する ・本陣や地域の歴史の勉強会を行う

小B・本陣の活用

テーマ	取組み	アイデアをふくらませるヒント
制度	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の条例、制度を確認する ・募金が可能な確認する ・現在の「展示物」から、指定管理者制度を目指す ・本陣を民有化する 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域が主体となった組織の設立に向けて、勉強会を開催する ・(一緒に行う仲間や応援団を増やして)どのような取組みをすると良いか検討を進める
運営	<ul style="list-style-type: none"> ・入場料を徴収する 	
イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚式を行う 	
情報の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・本陣を周知するための案内を充実する 	<ul style="list-style-type: none"> ・本陣や地域の歴史の勉強会を行う

小C・ふれあい広場の活用

テーマ	取組み	アイデアをふくらませるヒント
イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ドンド焼きの時にBBQを行う 	(1月に実施済み)
環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・花やベンチなど置く ・お年寄りのためにトイレを整備する 	<ul style="list-style-type: none"> ・花壇やベンチを手作りで製作する

小D・コミュニティの拠点づくり

テーマ	取組み	アイデアをふくらませるヒント
場所の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなでお金を出して場所を借りる ・「旅籠」を活用する ・町内の空き家や空店舗を有効利用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・借りることのできる建物を探し、所有者と交渉する
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・試しに集会所で学童をやってみる ・安心して子供が遊べる学童のような場をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に取組んでくれる人を募る
地域の人	<ul style="list-style-type: none"> ・相模湖の全員が楽しめる場所（囲碁、将棋、カラオケ、談話、喫茶）をつくる ・土地の畑で作った食材で作ったおかずを持ち寄る 	<ul style="list-style-type: none"> ・借りることのできる建物を探し、所有者と交渉する ・一緒に行う仲間や応援団を増やす

小E・歴史的資源の発掘・活用

テーマ	取組み	アイデアをふくらませるヒント
地域の歴史の発掘	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史を知っているお年寄りから、普話を聞く会を開催する ・子どもたちが聞いた内容を作文で書いて残す ・普話を聞く会で昔の航空写真を活用する ・聞いた普話を紙芝居にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・話をしてくれるお年寄りを探す ・聞いてまとめた歴史をとりまとめて、地域の人を集めて発表会を行う
PR活動	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史を調査して、プラタモリを誘致する 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史や地形の調査・研究活動を行い、まとめた成果を対外的にPRする

小F・景観のレベルアップ

テーマ	取組み	アイデアをふくらませるヒント
ルールづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・小原のおすすめの街並みデザイン集をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・小原らしい建物の特徴を調査する
空間の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・電柱、フェンスの塗装、石畳、外観、生垣、屋根のデザインを統一する 	<ul style="list-style-type: none"> ・空間の整備イメージを検討して、イメージ図をつくる

小G・農地の活用

テーマ	取組み	アイデアをふくらませるヒント
野菜の販売	<ul style="list-style-type: none"> ・石老山の登山客を対象に有料駐車場を設置し、直売所で地元の野菜を売る 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地を借りる土地の所有者を見つける
農業体験	<ul style="list-style-type: none"> ・畑や休耕地を開放して貸し出す ・野菜の植え付けや収穫の体験を行う 	
PR活動	<ul style="list-style-type: none"> ・相模湖駅とタイアップしたり、市役所でPRしてもらう 	
山林	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで山を手入れし、猪を食べる 	<ul style="list-style-type: none"> ・山林の手入れの仕方についての、講習会を行う

3) 小泉先生からの挨拶

- ・小泉先生に自己紹介をしていただく。
- ・具体化の検討にあたって必要な視点やポイントを参加者に投げかけていただく。

4) アイスブレイク

- ・新しい人がいれば、名前と一言を添えて自己紹介を行う。

5) まちづくりのアイデアの詳細検討

- ・地区ごとに前回のワークショップとニュースでお願いした宿題について確認する。
- ・「これまで出されたまちづくりのアイデア」で整理した取組みごとにカードを用意し、取り組んだ方が良いかどうか、挙手で確認する。一人でも手が上がったものはアイデアのカテゴリーごとに作成した模造紙に貼り付ける。挙手されなかったものは保留とし当日は議論しない。
- ・参加者が取り組んだ方が良く考える取組みを中心に具体化の意見交換を行う。取組みは、単独のものもあれば、複合的に取組むものもあるとして検討する。
- ・検討では小泉先生からの視点を参考にし、スケジュールや場所、活動メンバーを掘り下げる。「これまで出されたまちづくりのアイデア」のヒント（事務局案）も活用する。
- ・最後、アイデアごとに中心となって取組むリーダーやメンバーを決定する。

30

図 依頼したまちづくりのアイデアの記入用紙

まちづくりのアイデア

① アイデア名

② 取組み内容

③ 取組む時期・スケジュール

④ 取組む場所

⑤ 一緒に取組む人（地元もしくは地区外）

⑥ 市役所に期待すること

名前

図 アイデアのカテゴリーごとの模造紙

まちづくりのアイデア： 一駅A・地域コミュニティを活性化する

テーマ	アイデア名	想いや 意気込み	取組み	スケジュール	場所	一緒に 取組む人	活動 メンバー	市役所への 期待	備考
同感									
その他									

6) まちづくりの議論の共有と小泉先生の講評

- ・ アイディアごとの中心となって取組む人が、それぞれ発表を行う。場合によっては、他地区から参加者を募ったり、お互いのアイディアについて意見交換を行うことも想定する。
- ・ その都度、小泉先生に改善点や伸ばしていくと良いところをアドバイスしていただく。

7) 今後（来年度以降）の進め方について

- ・ アイディアの実現方法として、相模原市より支援事業の可能性などを伝える。

表 第5回まちづくりワークショップのタイムスケジュール (120分)

時間	内容	担当	備考	
19:00	2分	開会あいさつ	市	
趣旨説明				
19:02	1分	1) 本日の流れ ・本日のタイムスケジュール ・小泉先生の講評があることを伝える	都市環境	
19:03	3分	2) これまでのアイディアのおさらい ・前回までのアイディアについて確認	都市環境	
19:06	3分	3) 小泉先生からの挨拶 ・自己紹介 ・今回の検討に必要な視点やポイントを投げかけていただく	小泉先生	
ワークショップ				
19:09	4分	4) アイスブレイク ・(新しい人がいれば) 自己紹介	ファシリテーター	※一人、30秒
19:13	60分	5) まちづくりのアイディアの詳細検討 ・地区ごとに宿題の確認 ・興味のあるアイディアの確認 ・それぞれのアイディアについて意見交換 ・活動リーダー・メンバーの決定	ファシリテーター	※アイディアごとに記入用紙を大判で用意
20:13	40分	6) まちづくりの議論の共有と小泉先生の講評 ・発表 ・小泉先生のアドバイス	地域住民代表 小泉先生	
20:53	3分	7) 今後(来年度以降)の進め方 ・アイディアの実現化について	市	
20:56	4分	閉会あいさつ	市(安藤課長)	
21:00	-	閉会		

③第5回まちづくりワークショップの班構成

- ・ワークショップは、相模湖駅周辺地区と小原宿地区で大きく2班に分けて実施した。
- ・相模湖周辺地区全体ではまちづくりのアイデア出しを活発にするため2グループ、小原宿地区では共有しながら意見交換を行うため、1つのグループで検討した。
- ・グループごとに、ファシリテーターは都市環境研究所（2名）、市職員（1名）から1人ずつ、記録係は市職員（3名）から担当した。
- ・全体のタイムキーパーもあわせて配置した。

図 班構成

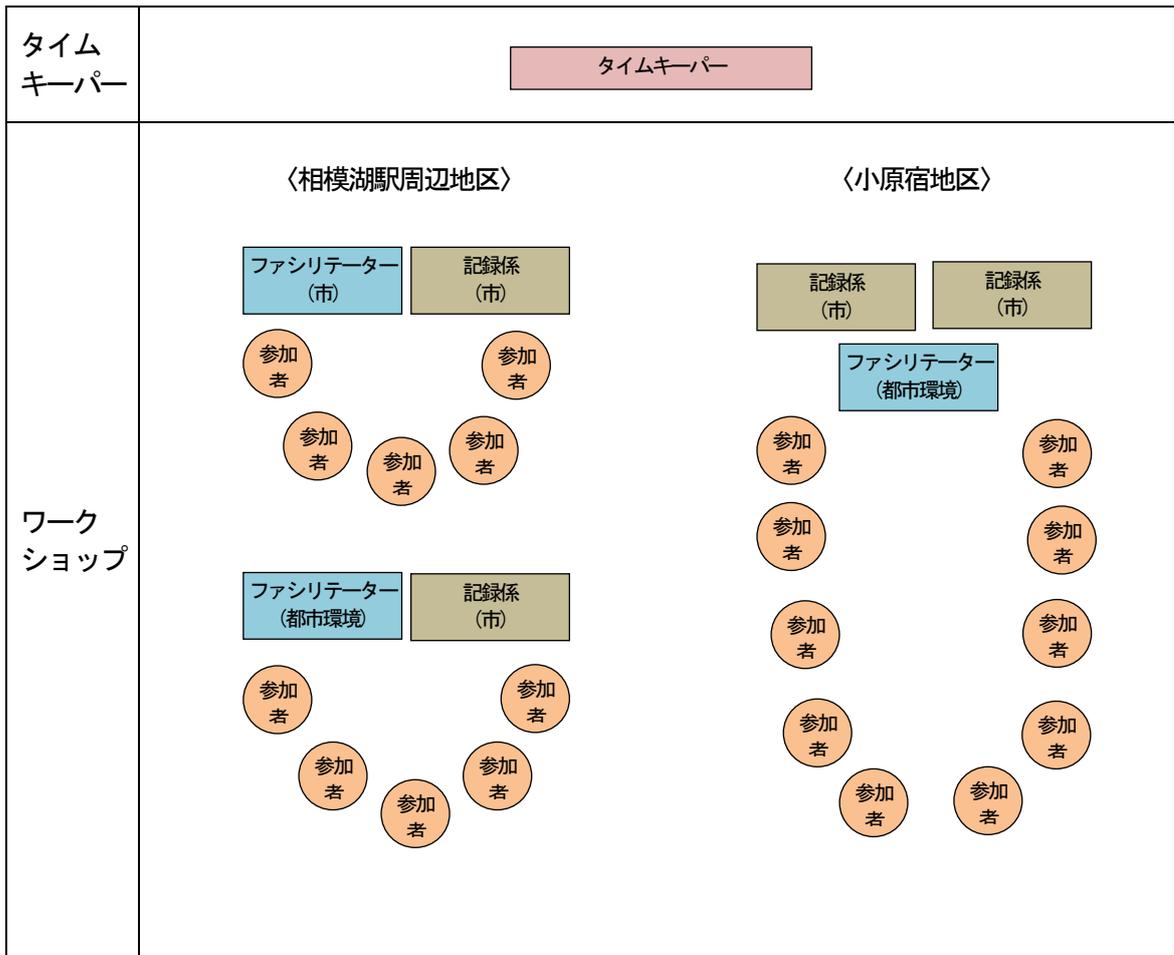


写真 第5回まちづくりワークショップの様子

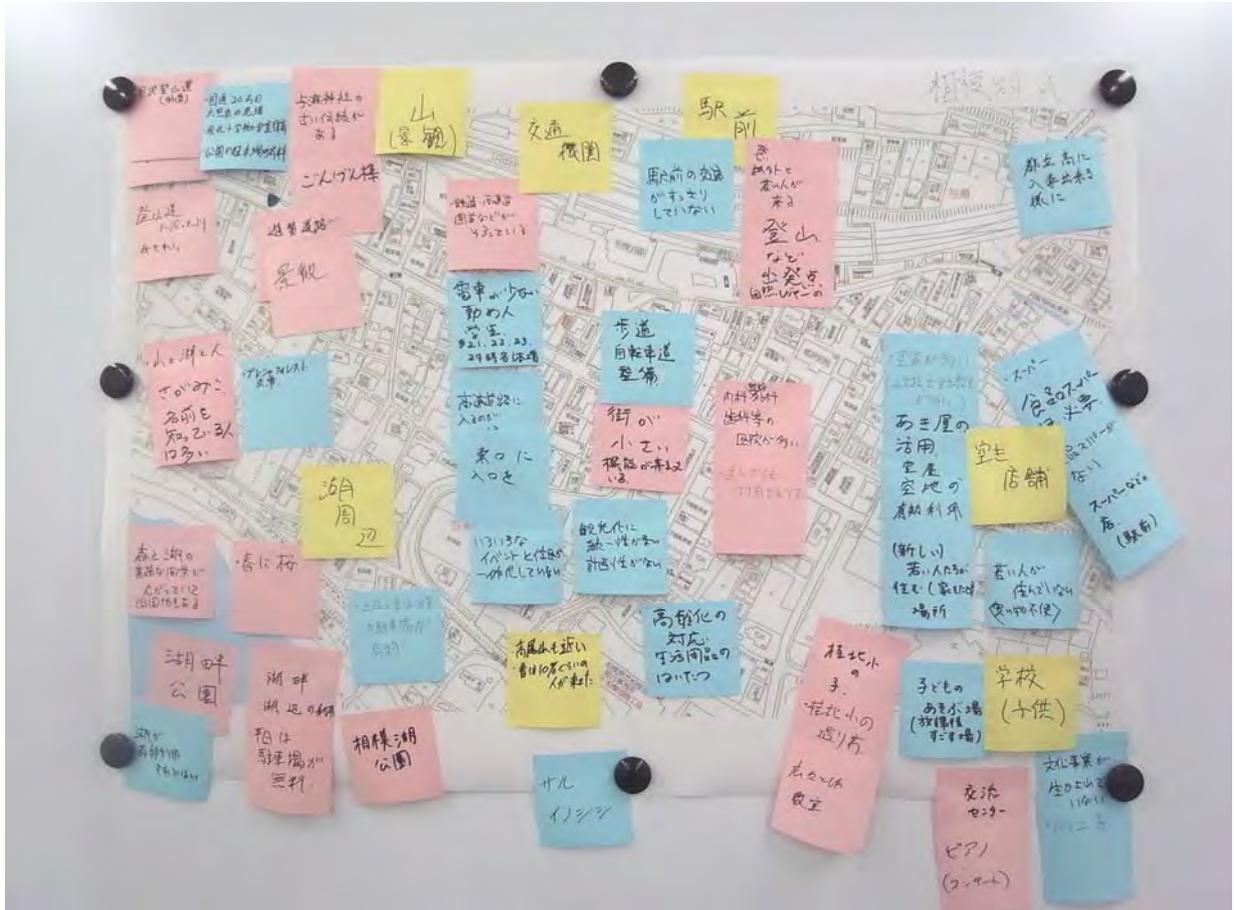


3. ワークショップの成果

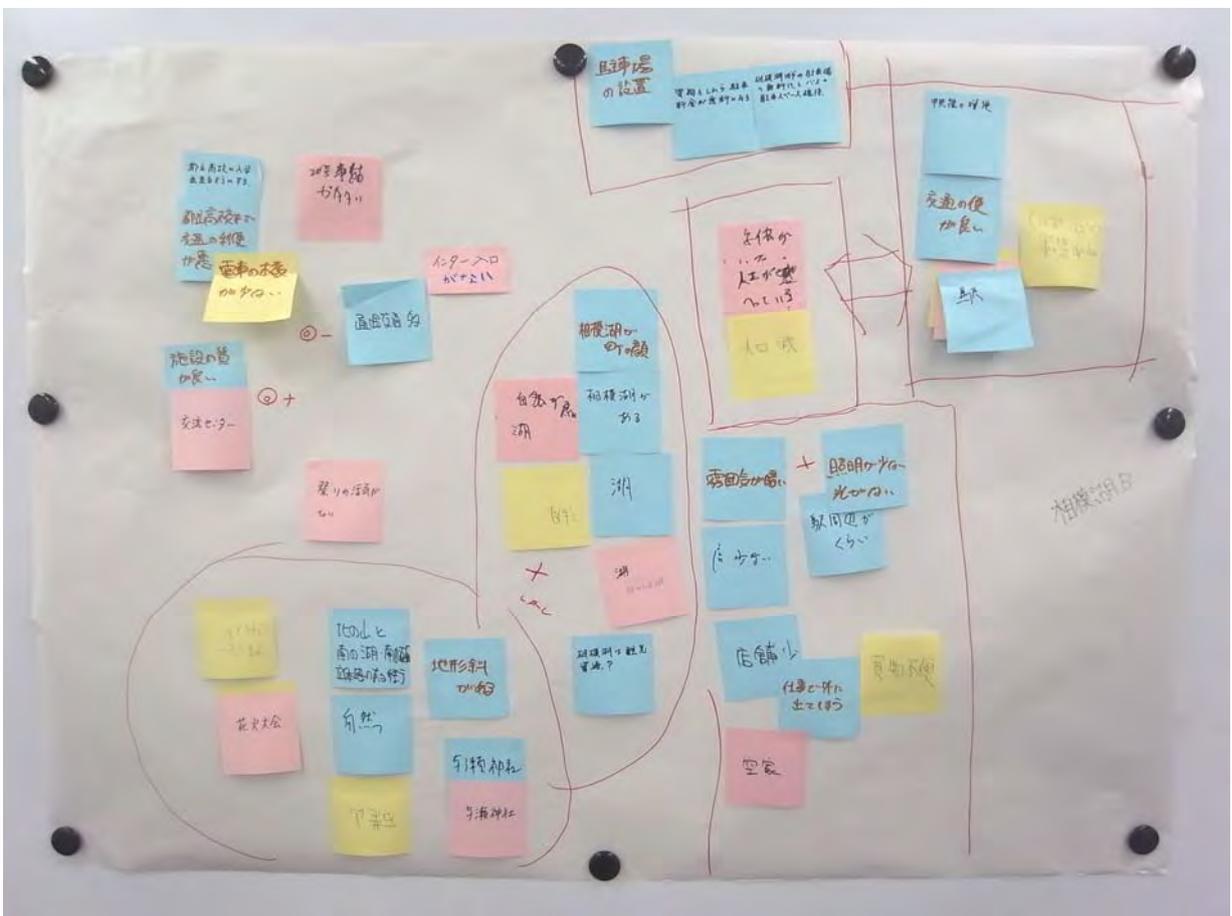
(1) 第1回まちづくりワークショップ

① ワークショップの記録

■ 相模湖駅周辺地区 グループA



■相模湖駅周辺地区 グループB



■小原宿地区 グループA

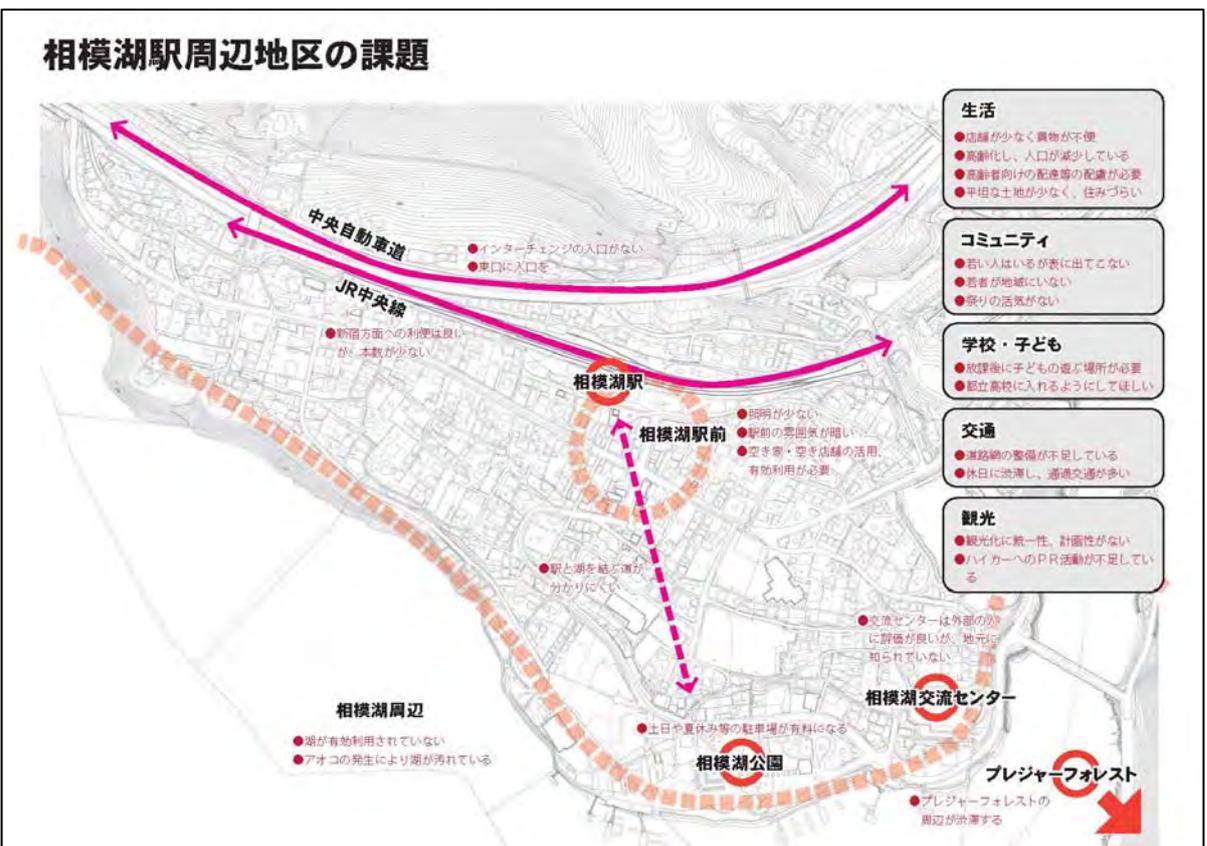
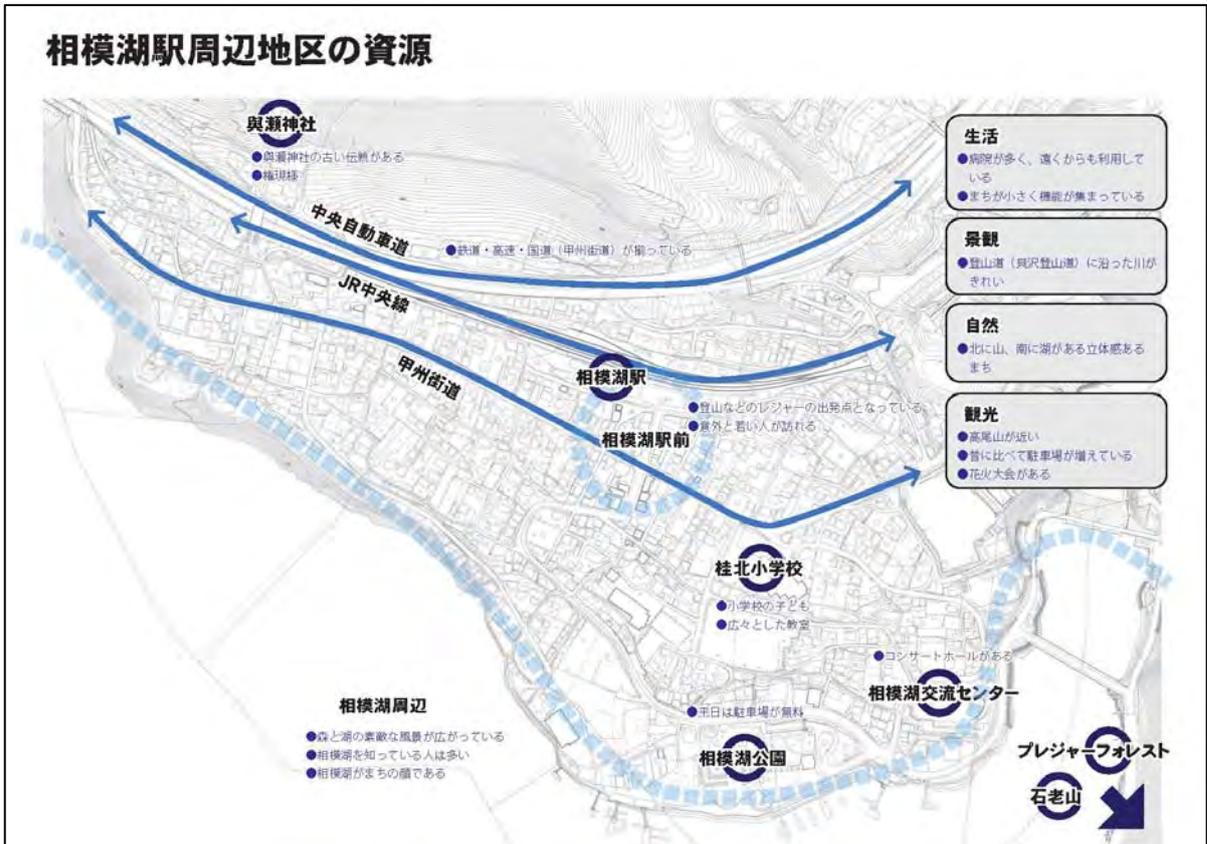


■小原宿地区 グループB

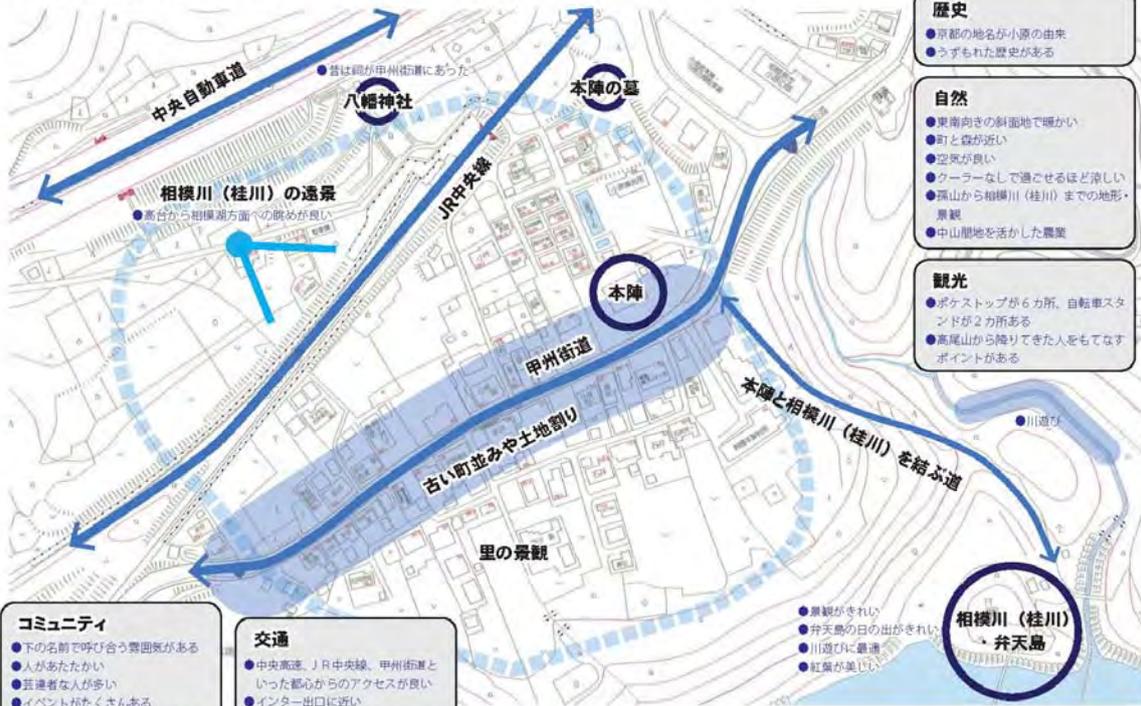


②意見のとりまとめ

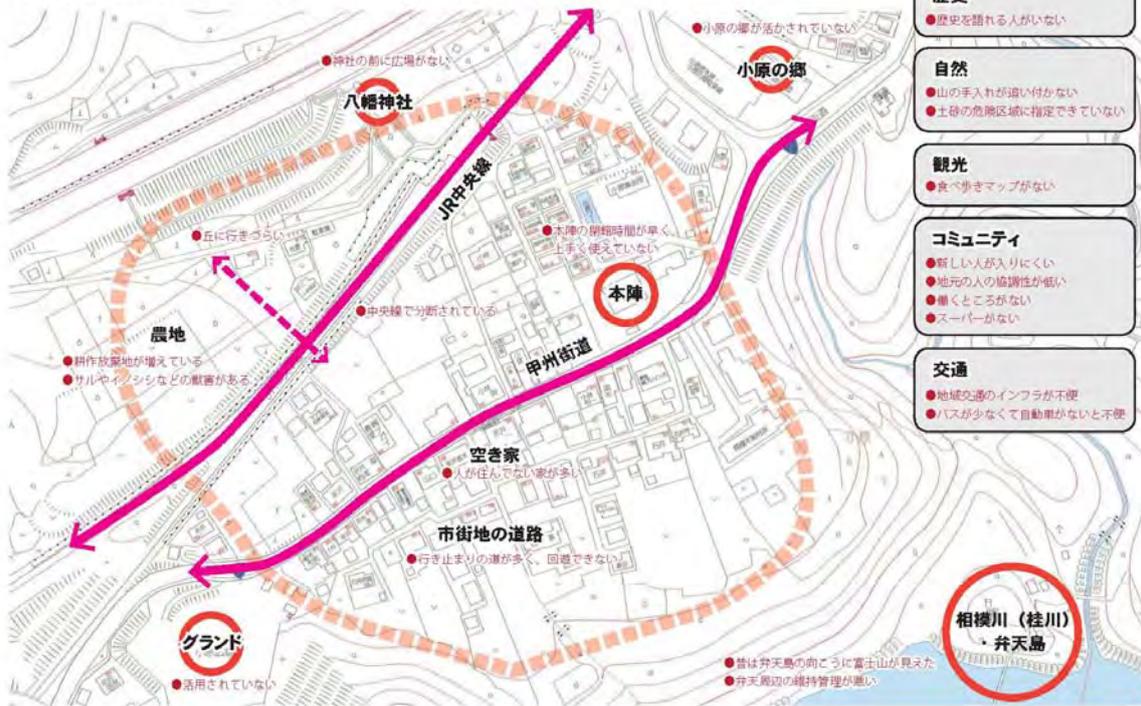
「相模湖駅周辺地区及び小原宿地区の資源と課題」(第2回まちづくりワークショップ配布資料)



小原宿地区の資源



小原宿地区の課題

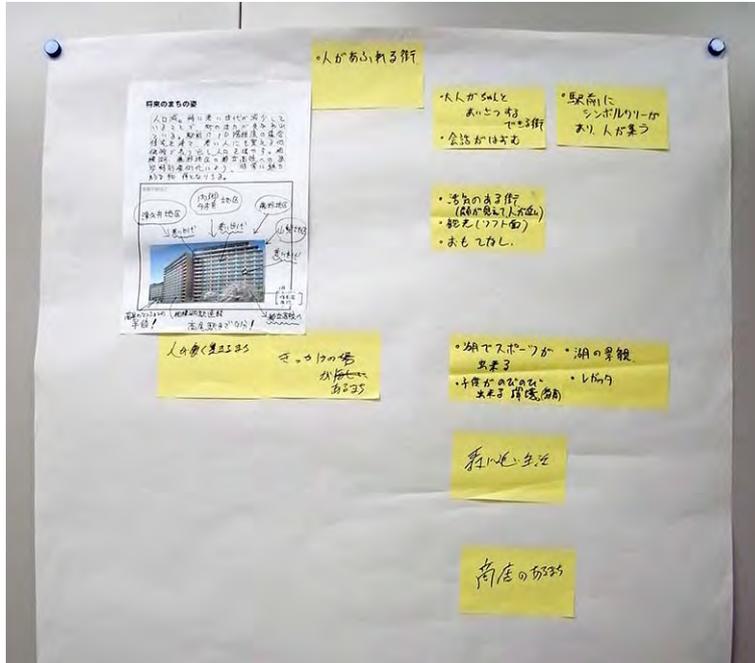


(2)第2回まちづくりワークショップ

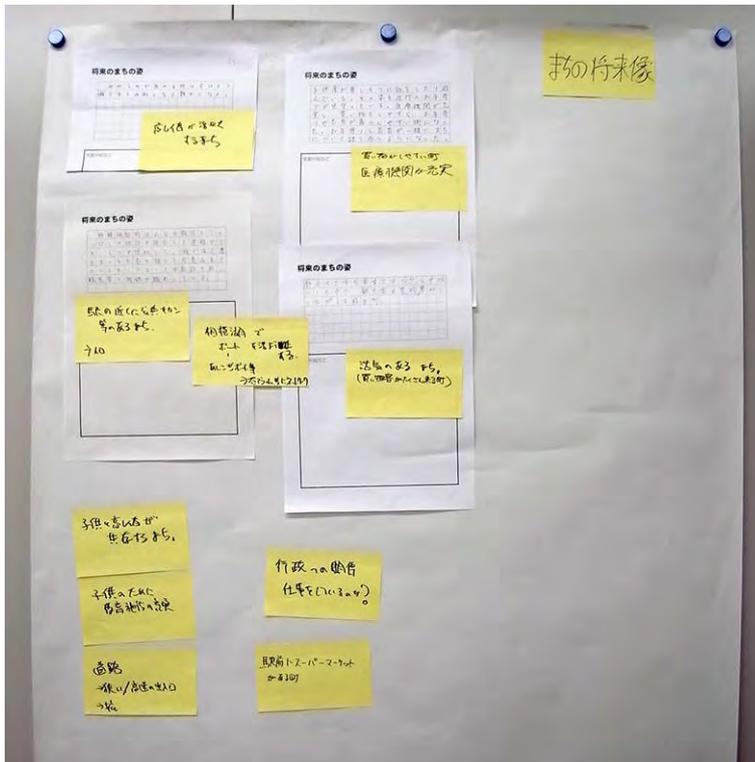
①ワークショップの記録

将来のまちの姿

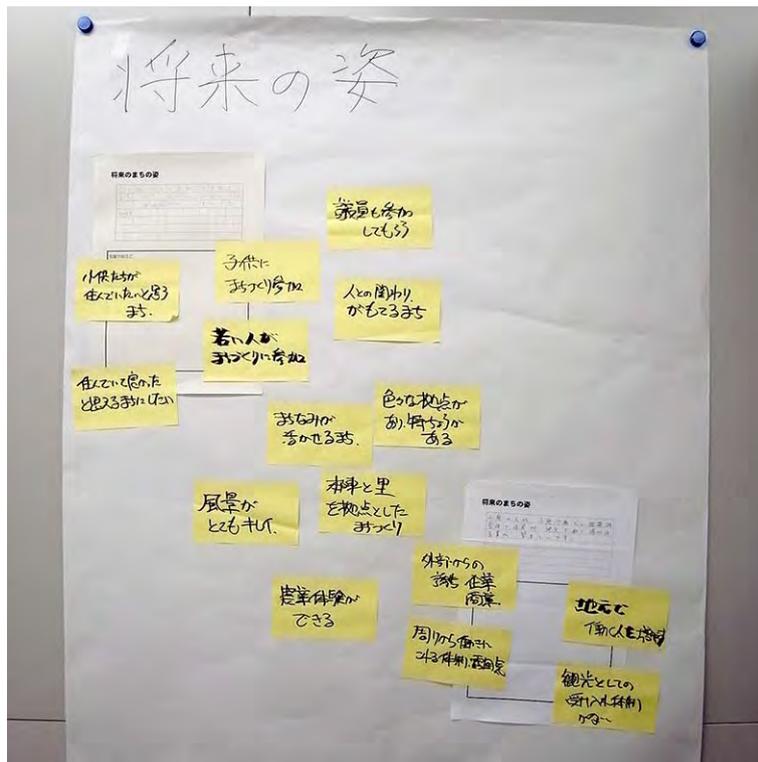
■相模湖駅周辺地区 グループA



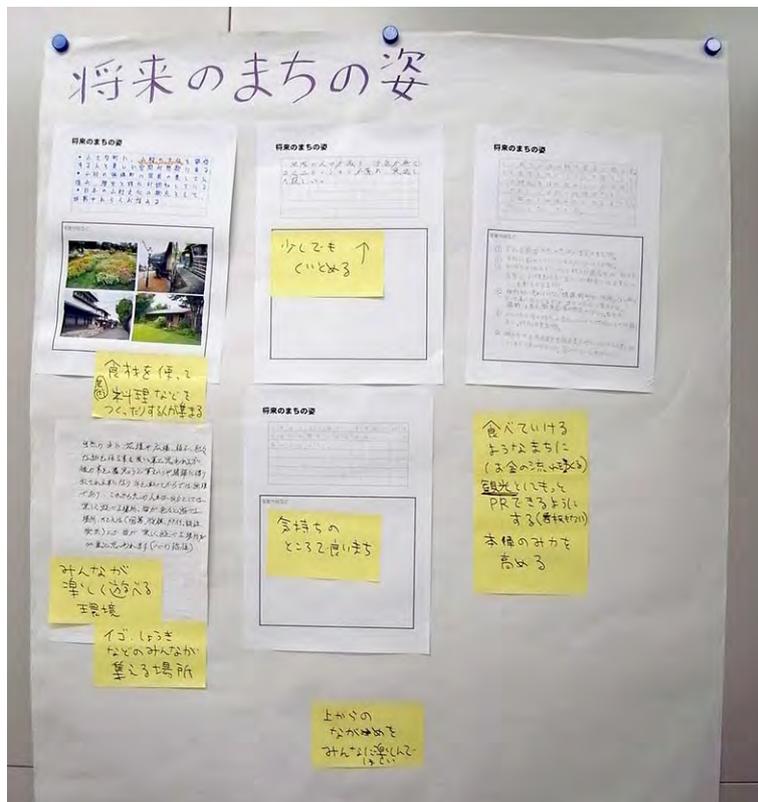
■相模湖駅周辺地区 グループB



■小原宿地区 グループA



■小原宿地区 グループB



テーマ1 将来のまちの姿

〈相模湖駅周辺地区〉

■グループA

文章	ワークショップでの付箋による補足	写真・図
世代交代が進み子供は今以上に減り、大人の町になり静かになる	・高齢者が活躍するまち	なし
相模湖駅周辺に公共施設とショッピング施設が複合した建物ができ、人口が増加した。湖では足漕ぎボート大会や湖から石老山までのハイキングコースが新設され、観光客で湖畔が賑わっている	・駅の近くに公共機関等のあるまち→人口 ・相模湖でボートを活用する。 ・足漕ぎボート等→石老山等にネットワーク	なし
子供達が楽しそうに話をしたり遊んでいる。その姿を近所のお年寄りが見守っている。医療機関が充実し、買い物もしやすく、お年寄りや若者が暮らしやすい街になった。お年寄りや若者が一緒にまちについて語り合うようになった	・買い物がしやすい町 ・医療機関が充実	なし
都会すぎず田舎すぎず自然を大切にしながら、観光客や買い物客がごった返す様な町	・活気のあるまち。 (買い物客がたくさん来る町)	なし
(付箋のみ)	・子供と高齢者が共存するまち。 ・子供のために教育施設の充実 ・道路→狭い/高速の出入口→広げる ・行政への期待 仕事をしているのか? ・駅前にスーパーマーケットがある町	—

■グループB

文章	ワークショップでの付箋による補足	写真・図
人口減。特に若い世代が減少していることで、街の活力が失われている。駅前に10階程度の集合住宅を建て、若い人にも買える価格で売り出し、人口を増やす。相模湖、藤野地区の都立高校への通学特別条例化により、非常に魅力的な物件となりうる	・人が多く集まる ・きっかけの場があるまち	あり
(付箋のみ)	・人があふれる街 ・大人がちゃんとあいさつすることができる街、会話がはずむ ・駅前にシンボルツリーがあり、人が集う ・活気のある街(顔が見えて、人が近い)、観光(ソフト面)、おもてなし ・湖でスポーツが出来る、子どもがのびのび出来る環境(教育)、湖の景観、レガッタ ・森に近い生活 ・商店街のある町	—

〈小原宿地区〉

■グループA

文章	ワークショップでの付箋による補足	写真・図
<ul style="list-style-type: none"> ・小さな町に、山村の文化を発信する人と美しい空間が無数にある ・山村の宿場町に固有の美しさに溢れ、歴史と現代が調和している ・日本の山村文化の拠点として、世界中からひとが訪れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術や食材を使って料理などをつくったりする人が集まる。 	あり
地域の人口が減り、活気が無くコミュニケーションが薄れ、衰退して寂しい	<ul style="list-style-type: none"> ・少しでもくいとめる 	なし
<p>人口減少が進み限界集落が増える。この状況を防ぐ1つの手段として地域をほのぼのとした陽だまりのように、又物の価値が判るいぶし銀の人が住みたくするような街にしたいものだ</p> <ul style="list-style-type: none"> ①家庭菜園等自然の恵みが享受出来る街 ②市外に勤めに行っている人がほっとする街 ③勤務先と地元でいろいろ様子が異なるが、相手を尊重し、子供を教え育てることが都会ではできないことも教育できる街 ④地形的には恵まれていない隣藤野町が消滅しない町として本に出ているように文化の向上に努力する。藤野は商店、飲食店等の閉店が少ない。なぜか ⑤2020年以降の時代の変化について地域の人々が語りあい、対応できる街 ⑥湖上祭や小原本陣祭等観光者を呼び込む手段を考えるがいつまで行事が行えるか。変わるものはあるのか 		なし
子供から大人まで、自分達の地域の自然や歴史を他の人に自慢できるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちのところで良いまち ・上からの眺めをみんなに楽しんでほしい 	なし
自然の中に、花壇や広場、格子、色々な物を作る事も良い事と思われるが、後の事を思うと草むしりや清掃に刈りだされる事になり年をとってからは無理であり、これから先の人生は自分としては楽しく遊べる場所、皆が色々遊べる場所、たとえば(囲碁、将棋、カラオケ、談話、喫茶)とか皆が楽しく遊べる場所が必要と思われます(心の活性)	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが楽しく遊べる環境 ・囲碁・将棋などのみんなが集える場所 	なし
(付箋のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・食べていけるようなまちに(お金の流れをつくる) ・観光としてもっとPRできるようにする(看板もない) ・本陣のみ力を高める 	—

■グループB

文章	ワークショップでの付箋による補足	写真・図
この地に住んで良かったと思えるまち。また、自分の子や孫も住みたい、住み続けたいと思うまち、地域	<ul style="list-style-type: none"> ・子供達が住んでいたいと思うまち。 ・子供にまちづくり参加 ・若い人がまちづくりに参加 ・住んでいて良かったと思えるまちにしたい 	なし
小原の人が、小原で働く。相模湖全体で住民が、地元で働く場があることが、望ましいです	<ul style="list-style-type: none"> ・外部からの誘致、企業、商業 ・周りから働きに来られる体制、雰囲気 ・地元で働く人を増やす ・観光として受け入れ態勢がない 	なし
(付箋のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・議員も参加してもらおう ・人との関わりがもてるまち ・まちなみが活かせるまち ・色々な拠点があり、特徴がある ・農業体験ができる ・風景がとてもきれい ・本陣と郷を拠点としたまちづくり 	—

テーマ2 まちづくりのアイデアの種
 (相模湖駅周辺地区)

地域コミュニティの活性化

NO.	アイデア名	取組み内容	理由	ワークショップでの付箋による補足
駅 ①	音楽と湖のまち	①-1 まち全体で様々な音楽イベント等開催 ①-2 野外コンサートなど開催しやすくする ①-3 交流センターという素晴らしいホールを活用	●観光としての集客、また地域住民の活動活性化につながる ●楽しく行うことができる	・例) まつりの活用 ・街に活気が無い ・街の意識の向上が必要。 ・音楽と湖 ・住民をまきこんだ活動に
駅 ②	祭を盛り上げよう	②-1 地域の祭りを活性化	●地域住民の一体感 ●“わがまち”意識 ●楽しく行える	・祭りの活性化で(地域を)盛り上げる
駅 ③	— (再掲: 湖を活用した街)	③-1 広い年齢層で語り合える場所(機会)の提供 ③-2 公共施設の自由利用 ③-3 広場等の整備	●若い世代の力を借りたい	・人とのつきあいから始めるのが大切 ・老人から子供まですごせる場所 ・お互い面倒をみる ・あいさつ、つきあい ・湖面活用 ・アオコを活用 利益
(付箋のみ)				・地域コミュニティの活性化 ・与瀬は人とのつながりが弱い ・人づくり⇒まちづくり ・若い人、高齢者の接点づくり<<話し合いの場>>昔は集まれる場所があった。 ・空地の活用→高齢者、子どもが集まれる場 ・道路拡幅、道路の拡幅 ・空地に住宅 ・広場でコミュニティ ・中学生と協力して防災訓練をする

健康づくり、体力づくり

NO.	アイデア名	取組み内容	理由	ワークショップでの付箋による補足
駅 ④	自然や坂道活かして健康づくり	④-1 今ウォーキング、ランニングのコースを整備 ④-2 坂道を利用	●健康第一	・自然を活かした健康づくり ・坂を活用した健康まちづくり
駅 ⑤	健康づくりやダイエット、ジョギングのできる公園を作る	⑤-1 相模湖公園の付近で、マラソンやウォーキングなどができる様にする ⑤-2 コースを作り、休日にはウォーキングやマラソンをする方々に優先的に使ってもらおう ⑤-3 皇居の周りをたくさんの人が走ったり歩いているイメージ	●健康づくりやダイエットをしたい人が多く、湖の近くでウォーキングやマラソンをすると気持ちがいいと思った為	・高齢者、健康づくりのできる公園場づくり<<ウォーキング、ジョギング>> ・健康をテーマに相模湖公園づくり(皇居のイメージ)
駅 ⑥	「アッキー」と歩こう!	⑥-1 登山好き著名人と一緒に高尾登山をするイベントを企画 ⑥-2 相模湖駅から高尾山をめざすのがミソ ⑥-3 徐々に相模湖の魅力をアピール	●まずは相模湖の認知度を上げてもらうことが先決だと思う ●登山好きの著名人は割と多く、しかも相模湖～高尾へ来訪している ●相模湖→小仏→高尾山のコースはダイナミックで真の登山好きには魅力的なはずである	・高尾→相模湖から相模湖→高尾に登山ルートを変えたい! [有名人もいる] 利用している ・観光の高尾山の入口高尾山からではなく相模湖から登る

NO.	アイデア名	取組み内容	理由	ワークショップでの付箋による補足
駅 ⑦	5年後10年後地域高齢化がさらに進む ふれあい散歩道の整備	⑦-1 地域の方で散歩に適した道を選定しコースや名称距離、ベンチを設置する ⑦-2 道路の安全(路面・防犯灯・ガード柵)、距離の表示は市が支援 ⑦-3 ベンチは庭先などを貸してくれる方に設置の協力をいただく	●10年たつと60歳の方は70歳 ●介護予防の体力づくりを地域で若いうちからはじめる ●コース上には、駅前や湖畔などを含めたりできる。疲れたらベンチで休憩しふれあいも ●若い人はジョギングコースとして利用もできる	・散歩道の整備椅子を置く ・高齢者の健康づくり →散歩しやすい道づくり

湖を活用した街

NO.	アイデア名	取組み内容	理由	ワークショップでの付箋による補足
駅 ⑧	スポーツとしてのボートカヌーの町として強くイメージづける	⑧-1 もっと水に親しめるような街づくりをする ⑧-2 湖の規制をはずす	●せっかくの資源を活用していない	・湖の活用、水面
駅 ⑨	また行きたくなるような「森と湖のまち」を目指して！！	⑨-1 湖畔からポートを利用して石老山までのハイキングコースの新設 〔湖畔→(旧)ふるさとの森船着場→石老山〕※宿泊コース(プレジャーホレスト、小原前本陣含む) ⑨-2 駅前の市有地〔相模湖ふれあい広場屋上、(旧)観光案内所跡地、相模湖公民館前広場〕や民間の空き家や空き地を利用して、情報発信地・休憩所として利用する ⑨-3 「子ども足漕ぎボート大会」「トレイルラン大会(湖畔・石老山)他」の開催	●観光資源(湖・石老山・プレジャーホレスト・小原宿本陣)に恵まれているので、有効活用することにより、観光地として賑わうと思った	・湖で足漕ぎボート大会等 ・石老山までのコースづくり ・新しい取組みを！ ・足漕ぎボートの活用(プレジャー、石老山、小原前) ・トレイルラン(ボートのラン)
駅 ⑩	welcome よせ(与瀬) (再掲:居住者の人口を増やす)	⑩-1 相相原市緑区のJR中央本線の駅として観光地らしく駅前ロータリー、駅下三角地(オブジェの有る所)に大きく枝葉を広げる樹木を植える。そして休息場所になる様 ⑩-2 (相模湖公園の様な、いかにも人工工作物を感じさせないもの) ⑩-3 大人がどんな人にもちゃんと挨拶できる与瀬の街	●やはり駅周辺を盛り上げるには、登山者や湖畔を無視する事はできないであろう ●駅周辺には大きな樹木がない。駅前オブジェも良いがやはり、下山してきた人や住人が憩える場として大きな樹木が欲しい。(昔は大きな桜の木があった) ●与瀬の大人は割と挨拶が出来ていないように思う(子供ちゃんとできている)	・駅前の小・中学校 →全市から通学のできるように ・シンボルツリーなど、人の集まれる場 ・大人もあいさつのできるまち
駅 ③	— (再掲:地域コミュニティの活性化)	③-1 広い年齢層で語り合える場所(機会)の提供 ③-2 公共施設の自由利用 ③-3 広場等の整備	●若い世代の力を借りたい	・人とのつきあいから始めるのが大切 ・老人から子供まですごせる場所 ・お互い面倒をみる ・あいさつ、つきあい ・湖面活用 ・アオコを活用、利益(商品化する)
(付箋のみ)				・湖の活用 →カヌー教室等の開催

居住者の人口を増やす

NO.	アイデア名	取組み内容	理由	ワークショップでの付箋による補足
駅 ⑩	welcome よせ(与瀬) (再掲:湖を活用した街)	⑩-1 相相原市緑区のJR中央本線の駅として観光地らしく駅前ロータリー、駅下三角地(オブジェの有る所)に大きく枝葉を広げる樹木を植える。そして休息場所になる様 ⑩-2 (相模湖公園の様な、いかにも人工工作物を感じさせないもの) ⑩-3 大人がどんな人にもちゃんと挨拶できる与瀬の街	●やはり駅周辺を盛り上げるには、登山者や湖畔を無視する事はできないであろう ●駅周辺には大きな樹木がない。駅前オブジェも良いがやはり、下山してきた人や住人が憩える場として大きな樹木が欲しい。(昔は大きな桜の木があった) ●与瀬の大人は割と挨拶が出来ていないように思う(子供ちゃんとできている)	・駅前の小・中学校を→全市から通学のできるように ・シンボルツリーなど、人の集まれる場 ・大人もあいさつのできるまち
駅 ⑪	全市から生徒が通える			・小中学校の学区を広げる ・自然、ボート

NO.	アイデア名	取組み内容	理由	ワークショップでの付箋による補足
駅 ⑫	住みたい人掲示板の設置	⑫-1 駅前観光案内所に掲示板を設置し、相模湖に住んでみたい人に戸建ての賃貸物件などを紹介する。不動産のホームページより細かい生活情報を載せて関心をもってもらう ⑫-2 情報の安心感を高めるため、まちみどり公社のホームページに載せてもらう ⑫-3 市の家賃補助を期待する	●空き家を貸してもいい人、借りたい人をつなげる。当然地元の不動産業者に協力してもらう ●特に若い世代の定住につなげたいため、家賃も補助してもらいたい	・住みたい人向け掲示板（観光案内所などに設置） ・子育て世代がしやすいように市に（家賃）補助を！ ・待機児童 小中高 ・電車 小クラス
(付箋のみ)				・人口を増やす ・都立高校、山梨県立高校に行けるまち ・バランスの良い人口

その他の意見

- ・その他、まちづくりのアイデアを考える上での意見として以下のような発言があった。

ワークショップでの意見	
・発想の転換も大切	

〈小原宿地区〉

コミュニティの活性化

NO.	アイデア名	取組み内容	理由	付箋による補足
小 ①	小原 BBQ 大作戦	①-1 様々な課題に対して、楽しさを加えて、逆に強みとする ①-2 歴史を知る人がいない→知っている人を呼んで話す ①-3 山の手入れをみんなでやる 猪を食べる！ ①-4 課題に限定せず様々な「テーマ」をもってやる！	●小原の人、外の人を呼ぶ（集まる）きっかけづくり	・小原でバーベキューイベントを知ってもらう ・集まるきっかけをつくる！
小 ②	相模川の遠景を楽しめる場所を作る（桂橋方面）	②-1 市道沿いに盛土部を作って、多数の人が楽しめる場所を作る		・バーベキューの場の提供 ・世界拠点！ ・日本の食文化、環境など
小 ③	朝市をもっとにぎやかにしたい	③-1 地域の方の“自慢”を売る場所 ③-2 もっと話題になり、観光客が立ち寄る場所に（開いてないときは無人スタンド？） ③-3 どうしたら人が集まるのかみんなで考えられる。（売るという共通の目標）		・地域自慢ができる機会づくり！
小 ④	心の活性	④-1 みんなが楽しく遊べる場所を作る ④-2 相模湖の人全員が楽しめる場所（囲碁、将棋、カラオケ、談話、喫茶）		・自分たちが楽しめることをする ・ボランティアではなく楽しめることを！
小 ⑤	みんなが集まれる場所	⑤-1 甲州街道沿いの古民家を開放して、みんながお茶やお茶菓子をもち寄り集まれる場所を作る	●平野広場や集会所は坂の上下なので、平地沿いが良い ●楽しく話ができる場所（老若男女に関係なく）	・空き家を皆が集まれる場所にする！
小 ⑥	草の広場の有効活用	⑥-1 草野広場を地域の人が利用しやすいスペースとする ⑥-2 花、ベンチなど置き利用しやすくする	●あまり活用されていないのもったいない。	・広場に花とベンチを！ ・集まりやすい広場
小 ⑦	おやきの拠点づくり	⑦-1 町の中におやきやうどんなど、地元食材を生かし、地元人たちが働き、集い楽しめる拠点を作る ⑦-2 土地の畑で作った食材で作ったおかずを持ち寄る		・家で作った総菜を集めて弁当販売
小 ⑧	相模湖地域は宝がいっぱい	⑧-1 地域外の人を呼んで農業体験イベント		・外からの受け入れ ・体制をつくって盛り上げたい ・農業体験！
小 ⑨	花の名所作り、市民農園、体験林	⑨-1 小原の自然の豊かさを生かす		

歴史的資源の活用

NO.	アイデア名	取組み内容	理由	付箋による補足
小 ⑩	おばら聞き書き	⑩-1 永井さん家の小原の話しを聞く会で、子どもたちが聞いたことを作文？で書いて残す（中学生くらい？）	●子供達からその下の子たちへまた話ができるように	・小原の良さを子ども達に伝える機会を！
小 ⑪	NHKの人気番組 プラタモリを行う文化の高い地区する。	⑪-1 プラタモリを行い地域の歴史・変化を把握して地域の理解向上に努める ⑪-2 このためには相当の調査・勉強が必要 ⑪-3 小原本陣についても来館者が話をしたくなるように場所として充実させる ⑪-4 市でもハテナ館より、今日では電気・水道・石油・車のない100年前の生活状況の方が重要と思う	●地域の成立を勉強し、地域のことを考える人を増やす。	・小原の状況を話せるような地域にする。

景観のレベルアップ

NO.	アイデア名	取組み内容	理由	付箋による補足
小 ⑫	日本の山村文化（伝統的環境共生文化）の世界拠点化 （再掲：空地・空家の活用）	⑫-1 空間づくり：近代以前の美しいランドスケープの再生（デザインコード限定、街並み、路地、農景観、溪谷、山）と新しい美しさの創造（ボランティア、クラウドファンディングによる交流施設、ガーデニング、セルフビルド活動、..） ⑫-2 コミュニティづくり：空き家、未利用地を活用し、新しい山村文化の創造に関わる人達の生活と活動の場を提供する（住宅建築家、古代書研究者、料理研究者などの居住と、各種研究会、学会発表などの招聴など）	●日本の山村文化の知恵は、未来の人類が幸せに暮らすヒントがたくさん詰まっている。 ●小原の歴史、ランドスケープ、立地は山村文化を発信する拠点としてふさわしい。	
小 ⑬	里の景観の向上	⑬-1 電柱、フェンスの塗装、石畳、外観、生垣、屋根のデザインの統一 ⑬-2 「小原スタイル」のデザイン集を作り、強制ではなくお勧めする。	●宿場の良い環境の再生	
小 ⑭	NTTに電話線用電柱の色を変えてもらうようお願いする			・NTT電柱の色を変える！ ・本陣で説明が聞けると良い！

小原宿本陣や小原の郷の活用

NO.	アイデア名	取組み内容	理由	付箋による補足
小 ⑮	本陣の民営化（指定管理）	⑮-1 入場料をいただく（法人化） ⑮-2 相模原市の管理だとお客様無視 ⑮-3 中にお店を作る 企業 店舗の誘致		・本陣の民営化 ・入場料により適正な管理を！！
小 ⑯	本陣・小原の郷の活用	⑯-1 小原らしい企画に施設を活用する（伝統芸能、古民芸など）		・伝統芸能の発達
小 ⑰	青空広場	⑰-1 小原の郷の広場を有効利用する ⑰-2 地域の農産物、特産物を販売する ⑰-3 広場でイベントを行う	●地域の人々の交流の場となり。生産物者の活力となる ●本陣や地域への見学者が増加する	・核となる広場を有効利用する
小 ⑱	キャンプしましょう	⑱-1 小原の郷の芝生広場でキャンプ大会をする	●せっかくの広場がもったいない	・小原の郷でキャンプする！

空地・空家の活用

NO.	アイデア名	取組み内容	理由	付箋による補足
小 ⑫	日本の山村文化（伝統的環境共生文化）の世界拠点化 (再掲：景観のレベルアップ)	⑫-1 空間づくり：近代以前の美しいランドスケープの再生（デザインコード限定、街並み、路地、農景観、溪谷、山）と新しい美しさの創造（ボランティア、クラウドファンディングによる交流施設、ガーデニング、セルフビルド活動、..） ⑫-2 コミュニティづくり：空き家、未利用地を活用し、新しい山村文化の創造に関わる人達の生活と活動の場を提供する（住宅建築家、古代書研究者、料理研究家などの居住と、各種研究会、学会発表などの招聴など）	●日本の山村文化の知恵は、未来の人類が幸せに暮らすヒントがたくさん詰まっている ●小原の歴史、ランドスケープ、立地は山村文化を発信する拠点としてふさわしい	
小 ⑬	新しい風	⑬-1 小原の有効利用を公募する？		・空き家をアイデア公募でワクワクする場に！ ・空き家から若い人を呼び込む！
小 ⑭	—	⑭-1 町内の空き家や空き店舗の有効利用 ⑭-2 高齢者たちが買い物しやすい様ひきうりや、買い物ツア一等取り入れる ⑭-3 まちに人が来て見てもらえるように湖畔、駅等、街並みを絵で描く等楽しそうにする ⑭-4 例えば、義務教育の子供がいる家庭へ空いている家を格安で貸す、という事を大きくPR ⑭-5 例えば、空いている店舗を、イベントや、商売をしたい人に貸す	●相模湖町には病院や学校がとても充実していると思う。子どもがいる若い世代の人達に住んでもらう為には、どうしたら良いのかを考えてみました ●前回の会議以降、地域の人と話をしてみました。まず、第一に不便な事は買い物そして要望は楽しみがないということでした	・空き店舗をイベントの場に！

その他の意見

- ・その他、まちづくりのアイデアを考える上での意見として以下のような発言があった。

ワークショップでの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・若い人を呼び込む！ ・若い人にまかせる気持ちも大事！

(3)第3回まちづくりワークショップ

①ワークショップの記録

■相模湖駅周辺地区

アイデア名	スケジュール			
	すぐできること (今年度中)	短期 (来年)	中期 (2~3年後ぐらい)	長期 (4~5年後以上)
駅① 音楽と湖のまち		音楽ハムレット	駅①-1 まち全体で 様々な音楽イベント を開催	
駅② 祭を盛り上げよう	駅②-1 地域の祭り を活性化	駅②-2 野外コンサ ートなど開催しやす くする	駅②-3 交流センタ ーという素晴らしい ホールを活用	
	駅②-1 地域の祭り を活性化	駅②-2 野外コンサ ートなど開催しやす くする	駅②-3 交流センタ ーという素晴らしい ホールを活用	
駅③	駅③-1 地域の祭り を活性化	駅③-2 野外コンサ ートなど開催しやす くする	駅③-3 交流センタ ーという素晴らしい ホールを活用	

アイデア名	スケジュール			
	すぐできること (今年度中)	短期 (来年)	中期 (2~3年後ぐらい)	長期 (4~5年後以上)
駅④ 自然や坂道を活かして健 康づくり	駅④-1 今ウォーキ ング、ランニングのコ ースを整備	駅④-2 坂道を利用	安心、安全	
駅⑤ 健康づくりやダイエツ ト、ジョギングのできる公園	駅⑤-1 相模湖公園 の付近で、マラソンや ウォーキングなどが できる様にする	駅⑤-2 コースを作 り、秩白にはウォーキ ングやマラソンをす る方々に優先的に使 ってもらおう	駅⑤-3 皇居の周り をたくさん人が集 まり歩いていてイ メージ	
駅⑦ 5年後10年後地域高齢 化がさらに進む ふれあい散 歩道の整備	駅⑦-1 地域の方で 散歩に適した道を選 定しコースや歩道 標、ベンチを設置する	駅⑦-2 道路の安全 (路面、防犯灯・方 向標)、設置の表示 が市が支援	駅⑦-3 ベンチは健 常などを意識してくれ る方に設置の能力を いただく	
駅⑥ 「アッキー」と歩こう!	駅⑥-1 登山好き者 を大々的に相模湖 山を歩かせるイベントを 企画	駅⑥-2 相模湖駅か ら黒尾山をめざすの がメイン	駅⑥-3 徐々に相模 湖の魅力アピール	石老山? 高尾山? 宮沢山を歩かせる

期 手 後 以 上	アイデア名	スケジュール			
		すぐに行けること (今年度中)	短期 (来年)	中期 (2~3年後くらい)	長期 (4~5年後以上)
	駅⑧ スポーツとしてのポート カヌーの町として強くイメ ジづける 駅⑧-1 もっと水に 親しめるような空づ くりをする 駅⑧-2 湖の魅力を はすす 駅⑧-3 「子ども交通 まねごっこ大会」「トレ イルラン大会」を開催し 石巻山の魅力を	・キヤシカ月の大会 (年1回開催) ・水カヌー大会を企画 実施	PRの活用を模索		
	駅⑨ また行きたくなるような 「森と湖のまち」を目指し 駅⑨-1 湖の自然を 活用してモ ト車やバイク コースの設 置(湖岸沿いの 遊歩道・石巻山 麓コース「プレジ デントコース」の 開発等) 駅⑨-2 駅舎の自然 地(湖岸沿いの 遊歩道・石巻山 麓コース)や 湖の自然を 活用し、自然 と調和した 駅舎の設計を 目指す				
	駅⑩ welcome よせ (与瀬) 駅⑩-1 自然環境 を活かした 観光地として 観光客が訪 れるよう 整備(湖岸沿 いの遊歩道 の整備等) 駅⑩-2 (印刷 設備の備 置など、いか にも人工 的なものを 減らす) 駅⑩-3 大人がど んなに楽し い場所とな るよう			駅舎の活用 道の整備	街づくり投資
	駅⑪ 全市から生徒が通える 任意のバス 乗り場を 増やす。			・乗車場所 ・利用のしやすさ ・駅舎、駅周辺の整備	
	駅⑫ 住みたい人掲示板の設置 駅⑫-1 駅舎の 利用を促進 し、駅舎を 活用する 駅⑫-2 駅舎の 利用を促進 し、駅舎を 活用する				

■小原宿地区

スケジュール				
アイデア名	すぐできること (今年度中)	短期 (来年)	中期 (2~3年後ぐらい)	長期 (4~5年後以上)
小18 キャンプしましょう 小1 小原 BBQ 大作戦 小16 本陣・小原の郷の活用 小3 朝市をもっとにぎやかに したい 小17 青空広場	1月4日(土) 山の手入れ ドンドコでやります! 何かします! BBQもできそうです!	小原の郷の 活性化! 地域の人が参加 できるように 努力します! 小原の郷 料GW~夏にかけて 周知! 地域情報誌 に広報	小原の郷は 公園ではない 遊具が置けない 小原の郷は 地域の 「自慢」を売る場所 小原の郷 になり、観光客が立ち 寄る場所にしたい 小原の郷 どうしたら 人が集まるのか 考えてみる。(売 るといふ共通の目標)	もう1個 朝市を作る
小5 みんなが集まれる場所 小4 心の活性	言談し集会所 学童の2階!	小原の郷 全員の集まる場所 (朝市、市場、カラ オケ、読書、喫茶) 目と心を出して 場所を共有	小原の郷 家や空き店舗の有効 利用 学童の2階 「はたご」の活用 年間のイベント 企画して実施	
小15 本陣の民営化 (特定管理) と、小原の郷 小20 音楽と湖のまち	条例制定を 検討しています? 民間もやろう 大好評!		小原の郷 音楽と湖のまち 小原の郷 音楽と湖のまち	小原の郷 音楽と湖のまち 音楽と湖のまち 音楽と湖のまち

スケジュール				
アイデア名	すぐできること (今年度中)	短期 (来年)	中期 (2~3年後ぐらい)	長期 (4~5年後以上)
小10 おばら聞き書き	昔話を 語り書き 期間限定 シリーズ	小原の郷 永井さん家 の小原の話を聞く 会で、子どもたちが 聞いたことを作文で 書いて出す(中学生 くらい?) 昔の航空写真 も使える	小11 NHKの人気番組 プラタモ りを行う文化の高い地区 にする 小原の郷 プラタモ りを行う文化の 高い地区にする 小原の郷 プラタモ りを行う文化の 高い地区にする	
小14 NTTに電話線用電柱の 色を変えてもらうように お願いする 小13 里の景観の向上			小原の郷 「小原の郷」の デザイン集を作り、 強制ではなくお勧 めする 小原の郷 電柱、フェ ンのデザイン の統一	景観の向上 →おもしろい 小原の郷 景観の向上 →おもしろい

スケジュール				
アイデア	すぐに見えること (今年度中)	短期 (来年)	中期 (2~3年後ぐらい)	長期 (4~5年後以上)
<p>小⑥ 草の広場の有効活用</p> <p>小⑨ 花の名所作り、市民農園、体験林</p> <p>小⑧ 相模湖地域は空がいっぱい</p>	<p>小⑥-1 草の広場の有効活用</p> <p>小⑥-2 花、ベンチなど置き利用しやすくする</p> <p>小⑨-1 小園の自然の豊かさを生かす</p>	<p>ささ 飼育 (みせしめ)</p> <p>獣害対応</p>	<p>トイレ作り!!</p> <p>まちセンに希望をいじ</p> <p>2500?人口は?</p> <p>畑 休耕地を開放 (貸し出す?)</p>	

②意見のとりまとめ 「まちづくりのアイデアの整理」(第4回まちづくりワークショップ配布資料)

(相模湖駅周辺地区)

・駅Cの人口を増やすという方向性は、将来的な目標とする。

●：第3回に出された取組み内容 ○：第2回に出された取組み内容 ※：補足意見

NO.	アイデア名	スケジュール				投票者 (敬称略)	
		すぐにできること(今年度中)	短期(来年)	中期(2~3年後ぐらい)	長期(4~5年後以上)		
駅A・地域コミュニティを活性化させる	音楽と湖のまち	●集まって方向性等を検討する ※外部との連携を高める ※見方を変える ※まちのコンセプトを明瞭にする	●音楽イベントの広報を充実・強化する ●湖畔のビアガーデンを活用して音楽イベントを開催する ※外部からの交流を充実・強化する ※交流センターで質の高い音楽イベントが開催されている		○まち全体で様々な音楽イベント等開催 ○交流センターという素晴らしいホールを活用 ○野外コンサートなど開催しやすくする	江藤雅文 エレニヤ浩美 佐々木祐司 山本俊雄 石井克佳 大神田健一	
	祭りを盛り上げよう	※各種イベントを盛り上げるのは地域の絆を高めることを達成できるまでの過程 ※色々な年齢層が参加できるようにする	※与瀬神社。小原 ※ふるさと祭り ※各地区の台車	※観光客も見に来るような祭りにする ※各町のふるさと祭を一斉に協同開催する	○地域の祭りを活性化 ※ふるさとまつりをもっと祭りらしくする(現在は文化祭的)		
	—		※他から人を呼び ※地域(住民)が集まって世代を超えた取組を行う		○公共施設の自由利用 ○広場などの整備 ○広い年齢層で語り合える場所(機会)の提供		
駅B・健康づくり・体力づくりを推進する	自然や坂道を活かして健康づくり 健康づくりやダイエット、健康づくりやジョギングのできる公園 5年後10年後地域高齢化がさらに進む ふれあい散歩道の整備	●すでにあるウォーキングイベントのPR方法を検討する	●外からの参加者を増やすためのPR方法等を検討する ●広報誌を地元企業、在勤者にも配布する	※安心、安全 ※毎週水曜日にウォーキングが公民館で開催されている ※健康の街として広く知られるようになるが良い	○今ウォーキング、ランニングのコースの整備 ○坂道を活用 ○コースを作り、休日にはウォーキングやマラソンをする方々に優先的に使ってもらおう ○相模湖公園の付近で、マラソンやウォーキングなどができるようにする ○皇居の周りをたくさんの人が走ったり歩いているイメージ	淵上美紀子 吉良奈美乃 小川喜平 石井敬三	
	「アッキー」と歩こう!		※登山の取組みは、現在市が石老山へのコースを活用する取組みを行っているため、石老山とするか高尾山とするかで、官民で足踏みを揃える必要がある	○登山好き著名人と一緒に高尾登山をするイベントを企画 ○相模湖駅から高尾山をめざすのがミソ ○徐々に相模湖の魅力をアピール ○湖畔からボートを利用して石老山までのバイキングコースを新設[湖畔→(旧)ふるさとの森船着場→石老山] ※宿泊コース(プレジャーフォレスト、小原前本陣含む)			
	スポーツとしてのボードカヌーの町として強くイメージづける		●PR方法を検討する ●市でレガッタの開催(年1回開催)しており市民がチームを作って参加する	※カヌーも健康づくりの一貫であり、健康づくり・体力づくりの1つとする	○もっと水に親しめるような街づくりをする ○湖の規制を外す ○「子どもの足漕ぎボート大会」「トレイルラン大会(湖畔⇄石老山)」の開催		小川喜平 淵上美紀子
	また行きたくなるような「森と湖のまち」を目指し			○駅前の市有地[相模湖ふれあい広場屋上、(旧)観光案内所跡地、相模湖公民館前広場]や民間の空き家を利用して、情報発信地・休憩所として利用する			

NO.	アイデア名	スケジュール				投票者 (敬称略)
		すぐにできること (今年度中)	短期 (来年)	中期 (2~3年後ぐらい)	長期 (4~5年後以上)	
駅 C	住みたい人掲示板の設置				<p>○駅前観光案内所に掲示板を設置し、相模湖に住んでみたい人に戸建の賃貸物件などを紹介する。不動産のホームページより細かい生活情報を載せて関心をもってもらう</p> <p>○情報の安心感を高めるため、まちみどりの公社のホームページに載せてもらう</p> <p>○市の家賃補助を期待する</p>	
	welcome よせ (与瀬)		<p>●街づくり協議会をつくる</p>	<p>●空き家の活用</p> <p>●道の整備</p>	<p>○相模原市緑区の JR 中央本線の駅として観光地らしく駅前ロータリー、駅下三角地 (オブジェの有る所) に大きく枝葉を広げる樹木を植える。そして休憩場になる様</p> <p>○相模湖公園の様な、いかにも人口物を感じさせないもの</p> <p>○大人がどんな人にも挨拶できる与瀬の街</p>	
	全市から生徒が通える	<p>●まちづくり会議では東京都、山梨県に高校入学の要望を出しているのので、要望書の提出にあわせて住民も意思表示を強く出す</p>	<p>●働く場所、開発できる土地がない</p> <p>●空地、空き家、空き店舗の活用</p>			

〈小原宿地区〉

NO.	アイデア名	スケジュール				投票者 (敬称略)
		すぐにできること (今年度中)	短期 (来年)	中期 (2~3年後ぐらい)	長期 (4~5年後以上)	
小A・小原の郷の活用	キャンプしましょう		<ul style="list-style-type: none"> ○みんなが楽しく遊べる場所を作る ○小原の郷の芝生広場でキャンプ大会をする ●来年のGWや夏に小原の郷でBBQを行う 	<ul style="list-style-type: none"> ○小原らしい企画に施設を活用する(伝統芸能、古民芸など) ※小原の郷に遊具が置けるようにしてほしい 		芦澤恵 永井信男
	本陣・小原の郷の活性化 朝市をもっとにぎやかにしたい 青空広場		<ul style="list-style-type: none"> ○どうしたら人が集まるかみんなで考える(売るといふ共通の目標) ○小原の郷の広場を有効活用する ○地域の農産物、特産物を販売する ○広場でイベントを行う ●気候の良いころ地域の人が皆来るようにしないと続かない ●相模湖周辺の地区の若い方に広報で周知する ●地域情報誌で広報する 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の方の“自慢”を売る場所 ○もっと話題になり、観光客が立ち寄る場所に(開いてないときは無人スタンド?) 	<ul style="list-style-type: none"> ●もうひとつ別の朝市を開催する 	
小B・本陣の活用	本陣と小原の郷の民営化 音楽と湖のまち	<ul style="list-style-type: none"> ●現在の条例、制度を確認する ※民謡をやったら大好評 			<ul style="list-style-type: none"> ○入場料をいただく(法人化) ●結婚式をやる ●お金を取る仕組みを作る 	芦澤恵 石山草子 中里和司 永井充
小C・ふれあい広場の活用	小原ふれあい広場・平野広場の有効活用 花の名所作り、市民農園、体験林 小原BBQ大作戦	<ul style="list-style-type: none"> ●ドンド焼きの時にBBQを行う ※BBQもできるかも? ※ゲートボールやサッカーに使われている 	<ul style="list-style-type: none"> ○山の手入れをみんなでやる、猪を食べる ○花、ベンチなど置きやすくする ○草の広場を地域の人が利用しやすいスペースとする ○小原の自然の豊かさを生かす 	<ul style="list-style-type: none"> ●お年寄りのためにトイレの整備 ※まちセンにトイレの整備を要望している 		

NO.	アイデア名	スケジュール				投票者 (敬称略)
		すぐにできること (今年度中)	短期 (来年)	中期 (2~3年後ぐらい)	長期 (4~5年後以上)	
小D・コミュニティの拠点づくり	みんなが集まれる場所 心の活性	●試しに集会所で学童をやってみる	○相模湖の人全員が楽しめる場所 (囲碁、将棋、カラオケ、談話、喫茶) ●安心して子供が遊べる学童のような場をつくる ○土地の畑で作った食材で作ったおかずを持ち寄る ○町内の空き家や空き店舗を有効利用 ●「旅籠」の活用 ●皆でお金を出して場所も借りる			チャドリー綾子
小E・歴史的資源の発掘・活用	おばら聞き書き	●昔話を語ろう会 期間限定シリーズ化	○永井さんの家の小原話を聞く会で、子どもたちが聞いたことを作文?で書いて残す (中学生くらい?) ○歴史を知っている人がいない →知っている人を呼んで話す ●紙芝居 ●昔の航空写真を活用する			チャドリー綾子
	NHK 人気番組プラタモリを行う文化の高い地区にする			○小原本陣についても来館者が話したくなるように場所として充実させる ○このためには相当の調査・勉強が必要	○プラタモリを行い地域の歴史・変化を把握して地域の理解向上に努める ○市でもはてな館より、今日では電気・水道・石油・車のない100年前の生活状況の方が重要と思う	榎本和男
小F・景観のレベルアップ	NTT に電話線用電柱の色を変えてもらうようにお願いします 里の景観向上			○「小原スタイル」のデザイン集を作り、強制ではなくお勧めする ○電柱、フェンスの塗装、石畳、外観、生垣、屋根のデザインの統一 ●「小原宿らしい」街並みデザイン集	●景観のルールを守る→助成金が出る ●小原だけでなく皆を巻き込む	
小G・農地の活用	相模湖地域は宝がいっぱい		○地域外の人を呼んで農業体験イベント ※農業する人を呼び込む	●畑、休耕地を開放して貸し出す ※獣害対応、猿の捕獲		小林秀文

(4)第4回まちづくりワークショップ

①ワークショップの記録

■相模湖駅周辺地区

まちづくりのアイデア:

取組み	取組み内容 (何を?どのように?)	スケ	取組む場所
音楽イベント	地域ごとのイベントを 一斉にする		
駅伝を開催する	健康運動で 60年代		
「相模湖市民」を テーマにイベント を開催する	「相模湖」を キーワード (「相模湖」の魅力を)		
子育て世代を 町全体で支援する			

〈スケジュール〉

すぐに行えること (今年度中)	短期 (来年度)	中期 (2~3年後ぐらい)	長期 (4~5年後以上)
・電話+問合せ (受付けメール)		コンサートの 開催に地元者加	音楽イベント 開催
広報の仕方 を考える			

〈一緒に取組む人たち〉

地元の人 + 地区外の人

ふりさと豊
すみれ会
コーラスグループ

ふりさと豊
すみれ会
コーラスグループ

にどかてき
4-2を7-3

商工会、観光協会
等のイベントを融合
して行う

ふりさと豊
商工会青年部
(竹原のまちづくり)

〈必要な予算と確保する方法〉

金額
確保する方法

まちづくりのアイデア:

健康
体力

取組み	取組み内容 (何を?どのように?)	スケ	取組む場所
	1.3と望の には相模湖代 はなすたい		
	子育て世代の 意見交換の場 を作る		
	コミュニティ 活性化 の場を作る		
	世代間交流 の場を作る		
	全てのイベントを 「相模湖」をキーワード に開催する		
	子育て世代の 支援		

〈スケジュール〉

すぐに行えること (今年度中)	短期 (来年度)	中期 (2~3年後ぐらい)	長期 (4~5年後以上)

〈一緒に取組む人たち〉

地元の人 + 地区外の人

商工会、観光協会、
相模湖青年部の
連携が大切

音楽協議会
しかりしあ

ふりさと豊
すみれ会
コーラスグループ

ふりさと豊
商工会青年部
(竹原のまちづくり)

〈必要な予算と確保する方法〉

金額
確保する方法

■小原宿地区

まちづくりのアイデア: -A・小原の郷の活用-

〈スケジュール〉

すぐできること (今年度中)	短期 (来年)	中期 (2~3年後くらい)	長期 (4~5年後以上)
2/26 フリーマーケット 定期的開催! 月に1回			
3月 サイトアップ イベント			

〈一緒に取組む人たち〉

地元の人	+	地区外の人
		フリーマーケット せきさな人

〈必要な予算と確保する方法〉

金額	
確保する方法	

小原の里の昔まつり
一山里の昔の手仕事に触れよう
& 第3回フリーマーケット開催
平成29年2月26日(日)9時~16時
場所: 物産館2F 小原の里 物産館2F(物産館2F) 物産館2F(物産館2F)
物産館2F(物産館2F) 物産館2F(物産館2F) 物産館2F(物産館2F)

甲州街道の
情報がほしい

自由の
促進したい

雇用が
生きやすくなる

まちづくりのアイデア: -B・本陣の活用-

〈スケジュール〉

すぐできること (今年度中)	短期 (来年)	中期 (2~3年後くらい)	長期 (4~5年後以上)

〈一緒に取組む人たち〉

地元の人	+	地区外の人

〈必要な予算と確保する方法〉

金額	
確保する方法	

ポスターが
確認!

入館料 募金箱
徴収 設置
→ 任意自由

本陣の周知
案内充実!

展示物の
公開? 本陣
氏有化?

展示物の
公開? 指定
管理

郷のスタッフが
本陣PR!

まちづくりのアイデア: **-D・コミュニティの拠点づくり-**

(スケジュール)

すぐにあること (今年度中)	短期 (来年)	中期 (2~3年後くらい)	長期 (4~5年後以上)

取組み	取組み内容 (何を?どのように?)	スケ	取組む場所
・皆でお金を出して場所借りる	集会所の坂が キャン...	短	
・「旅籠」の活用		短	
・市内の空き家や空き店舗を有効利用		短	
・試しに集会所で学童をやってみる		すぐ	
・安心して子供が遊べる学童のような場をつくる		短	
・相模湖の人全員が楽しめる場所(囲碁、将棋、カラオケ、談話、喫茶)		短	
・土地の畑で作った食材で作ったおかずを持ち寄る		短	

(一緒に取組む人たち)

地元の人	+	地区外の人

(必要な予算と確保する方法)

金額
確保する方法

まちづくりのアイデア: **-E・歴史的資源の発掘・活用-**

(スケジュール)

すぐにあること (今年度中)	短期 (来年)	中期 (2~3年後くらい)	長期 (4~5年後以上)
3月 21日			

取組み	取組み内容 (何を?どのように?)	スケ	取組む場所
・昔話を語る会 期間限定シリーズ化		すぐ	
・歴史を知っている人がいない→知っている人を呼んで話す		短	
・永井さんの家の小原話しを聞く会で、子どもたちが聞いたことを作文?で書いて残す(中学生くらい?)		短	
・昔の航空写真を活用する		短	
・紙芝居		短	
・小原本陣についても来歴者が話をしたくなるように場所として発表させる		中	
・このためには相当の調査・勉強が必要		中	
・プラタモリを行い地域の歴史・変化を把握して地域の理解向上に努める		長	
・電線・水道・石油・車のない100年前の生活状況の方が重要と思う		長	

(一緒に取組む人たち)

地元の人	+	地区外の人
中里さん 石山さん		20人(おしゃい)子ども

(必要な予算と確保する方法)

金額
確保する方法

まちづくりのアイデア: -G・農地の活用-

Yes We CAN!

計画進行中

取組み	取組み内容 (何を?どのように?)	スケ	取組み場所
・地域外の人を呼んで農業体験イベント		短	
・風、休憩施設を開放して貸し出す		中	
150台 駐車場 40台 直売所	植え付け もぐら) 体験		
	せんの 里亭		
	石老山の 登山客		
	有料駐車場 設置		

〈スケジュール〉

すぐできること (今年度中)	短期 (来年)	中期 (2~3年後ぐらい)	長期 (4~5年後以上)
	春から		

〈一緒に取組む人たち〉

地元の人
地主と等々
組合並外

4又カワに
若いくつ呼ぶ
仲間

市に(町知
いもらう)

馬にそ
同知

〈必要な予算と確保する方法〉

金額
確保する方法

JR 増収!
BIGALIC
増収UP

湖川の未来
— 駅 C・人口を増やす —

テーマ	取組み	スケジュール	場所	一緒に取組む人	活動メンバー	市民への期待	備考
移住者への支援 駅前活性化	〇グッズやモノ (限定) 〇空き店舗活用 〇馬場の活用 (ウレシイ) ミニマップ 〇外注加工 〇靴の展示 〇アトリエ 銅屋 美術展 〇石見先生の展示	〇状況調査 (駐店舗) 〇野菜市 〇野外マーケット	〇高工舎 〇湖田 〇E17012層や 〇アトリエ 〇ショップ	〇高工舎 〇湖田 〇E17012層や 〇アトリエ 〇ショップ	〇高工舎 〇湖田 〇E17012層や 〇アトリエ 〇ショップ	〇高工舎 〇湖田 〇E17012層や 〇アトリエ 〇ショップ	〇高工舎 〇湖田 〇E17012層や 〇アトリエ 〇ショップ
教育	〇若小・子育て世代 〇社会 〇シニア			〇保育所 〇社協 〇自治会 〇PTA			〇若小・子育て世代 〇社会 〇シニア

■小原宿地区

まちづくりのアイデア： -A・小原の郷の活用-

テーマ	アイデア名	想いや 意気込み	取組み	スケジュール	場所	一緒に 取組む人	活動 メンバー	市役所への 期待	備考
イベントの開催	相模湖観光クラブ	思いやり	・芝生広場でフリーマーケットを定期的に開催する ・飲食や物販を兼ねたもの ・観光客が立ち寄りするために、閉館時に利用できる無人スタンドを設置する	年中行事として 10月10日 11月10日 12月10日	相模湖 小原(郷)	活性化会議 市民会	市役所 市民会	市役所への期待	フリーマーケット おもしろい おもしろい
環境の整備	相模湖観光クラブ	思いやり	・相模湖周辺の地区の若い人に広報や地域情報誌で周知する ・ハイキングの拠点として整備し、案内看板などを設置する	10月10日 11月10日 12月10日	相模湖 小原(郷)	活性化会議 市民会	市役所 市民会	市役所への期待	フリーマーケット おもしろい おもしろい

・石老山の登山客を対象に有料駐車場を設置し、直売所で地元の野菜を売る

・甲州街道の情報を知ることが出来る場所にする

・小原の郷のスタッフが本陣をPRする

・駐車場の利用者を活用する

まちづくりのアイデア： 畑や休耕地を開放して貸し出す

テーマ	アイデア名	想いや 意気込み	取組み	スケジュール	場所	一緒に 取組む人	活動 メンバー	市役所への 期待	備考
環境の整備	おもしろい(作り)しよう。	思いやり	・野菜の植え付けや収穫の体験を行う ・試しに集会所で学童をやってみる ・安心して学童のような場をつくる	2017年4月～ 平日 週1～2回 15:00～17:00	相模湖 小原(郷)	活性化会議 市民会	市役所 市民会	市役所への期待	フリーマーケット おもしろい おもしろい

・相模湖の人全員が楽しめる場所(囲碁、将棋、カラオケ、談話、喫茶)をつくる

・石老山の登山客を対象に有料駐車場を設置し、直売所で地元の野菜を売る

・甲州街道の情報を知ることが出来る場所にする

・小原の郷のスタッフが本陣をPRする

・駐車場の利用者を活用する

まちづくりのアイデア： 一 小 E・歴史的資源の発掘・活用一

テーマ	アイデア名	想いや 意見込み	取組み	スケジュール	場所	一緒に 取組む人	メンバー	市役所への 期待	備考	
歴史の資源の発掘	小原の歴史を 子どもたちに 伝える会		<ul style="list-style-type: none"> 歴史を知っているお年寄りから、昔話を聞く会を開催する 子どもたちが聞いた内容を作文で書いて残す 聞いた昔話を紙芝居にする 	2019年 4月以降 毎月4、6月 （回数は未定） お盆8月 展示10月			小原子ども会 昔を知る年輩の方 源集会所 （お茶会） 小原の郷土館 （展示）	中野さん 中野さん 中野さん	市役所への期待 スロウ・カークの 機器の かいだし	木ノ子ノキの おもちゃ

昔話を聞く会で昔の航空
写真を活用する
P50年代
F71

取組み	スケジュール	場所	一緒に 取組む人	活動 メンバー	市役所への 期待	備考
子ども会 で昔話を 聞く会						



第3章 ワークショップニュースの作成

1. まちづくりワークショップニュース

- ・まちづくりワークショップの結果を参加者に振り返ってもらうとともに、検討状況を地域に広く周知するため、各ワークショップ終了後にまちづくりワークショップニュースを発行した。
- ・配布方法については、参加者へは個別に送付し、地域住民へは自治会の回覧板等で閲覧することで情報を共有できるようにした。

図 第1号～第5号まちづくりワークショップニュース

相模湖駅周辺地区+小原宿地区 平成29年8月
まちづくりワークショップ ニュース 第1号
発行 相模原市 都市建設課 まちづくり推進課 まちづくり支援課

第1回ワークショップを開催しました！

相模原市は、相模湖駅周辺地区と小原宿地区を対象に、地域住民のみならず市民として活躍する「まちづくりのアイデア」を検討するため、全5回のワークショップを開催しています。

第1回は8月27日（土）に相模湖総合事務所にて開催し、相模湖駅周辺地区からは12名、小原宿地区からは11名の計23名が参加いただきました。

まず最初に、今回のワークショップについて、市から説明やアンケートを実施し、「いよいよスタートです」。

今回のテーマは「地域の資源と課題を共有しよう」です。それぞれの地区で3つのテーブルに分かれ、特徴や課題を言いながら、意見を話し合いました。

このテーブルも活発な意見が飛び交い、大盛況でした！

最後に、テーブルごとに参加者の方から議論の経過について発表してもらいました。みなさんの意見を共有しました。

各テーブルで出された主な意見について、次ページでご紹介します。

※ワークショップ 議論などのより一歩前に議論を促進するのではなく、参加者が主体的に参加し、積極的に意見を共有する中で、互いに相手を思いやり尊重しあっていることが重要です。

相模湖駅周辺地区+小原宿地区 平成29年10月
まちづくりワークショップ ニュース 第2号
発行 相模原市 都市建設課 まちづくり推進課 まちづくり支援課

第2回ワークショップで活発な意見交換が行われました！

相模原市は、相模湖駅周辺地区と小原宿地区を対象に、地域住民のみならず市民として活躍する「まちづくりのアイデア」を検討するため、全5回のワークショップを開催しています。

第2回は10月1日（土）に相模湖総合事務所・大宮駅前にて実施しました。今回は相模湖駅周辺地区からは11名、小原宿地区からは14名とたくさんの参加者に参加いただきました。

今回のテーマは「地域のまちの姿とまちづくりのアイデアを考えよう」です。前回（第1回）の発表に「質問」や「声援」が飛び交い、会場が盛り上がりました。多くの声に耳を傾け、お話をいただきました。ご協力いただきまして、本当にありがとうございます。

まずは1つのテーマである「商業のまちの姿」です。みなさんの意見や課題のまちの姿について発表していただきながら、テーブルごとに意見交換を行いました。続いて2つ目のテーマである「まちづくりのアイデア」です。地区ごとに意見交換が盛んに行われ、アイデアもたくさん発表され、活発な意見交換が行われました。

最後に、相模湖駅周辺地区と小原宿地区のまちづくりのアイデアを全員で共有し、大盛況のうちに終了となりました。

各テーブルや地区で出された主な意見について、次ページでご紹介します。

※ワークショップ 議論などのより一歩前に議論を促進するのではなく、参加者が主体的に参加し、積極的に意見を共有する中で、互いに相手を思いやり尊重しあっていることが重要です。

相模湖駅周辺地区+小原宿地区 平成29年11月
まちづくりワークショップ ニュース 第3号
発行 相模原市 都市建設課 まちづくり推進課 まちづくり支援課

第3回ワークショップでまちづくりのアイデアが少しずつ形になってきました！

相模原市は、相模湖駅周辺地区と小原宿地区を対象に、地域住民のみならず市民として活躍する「まちづくりのアイデア」を検討するため、全5回のワークショップを開催しています。

今回は11月1日（土）に相模湖総合事務所にて開催し、相模湖駅周辺地区からは12名、小原宿地区からは11名の計23名が参加いただきました。

まずは1つのテーマである「商業のまちの姿」です。みなさんの意見や課題のまちの姿について発表していただきながら、テーブルごとに意見交換を行いました。続いて2つ目のテーマである「まちづくりのアイデア」です。地区ごとに意見交換が盛んに行われ、アイデアもたくさん発表され、活発な意見交換が行われました。

最後に、相模湖駅周辺地区と小原宿地区のまちづくりのアイデアを全員で共有し、大盛況のうちに終了となりました。

各テーブルや地区で出された主な意見について、次ページでご紹介します。

※ワークショップ 議論などのより一歩前に議論を促進するのではなく、参加者が主体的に参加し、積極的に意見を共有する中で、互いに相手を思いやり尊重しあっていることが重要です。

相模湖駅周辺地区+小原宿地区 平成29年2月
まちづくりワークショップ ニュース 第4号
発行 相模原市 都市建設課 まちづくり推進課 まちづくり支援課

第4回ワークショップでまちづくりのアイデアの具体化を検討しました！

相模原市は、相模湖駅周辺地区と小原宿地区を対象に、地域住民のみならず市民として活躍する「まちづくりのアイデア」を検討するため、全5回のワークショップを開催しています。

今回は2月1日（土）に相模湖総合事務所にて開催し、相模湖駅周辺地区からは11名、小原宿地区からは14名の計25名が参加いただきました。

今回のテーマは「地域のまちの姿とまちづくりのアイデアを考えよう」です。前回（第1回）の発表に「質問」や「声援」が飛び交い、会場が盛り上がりました。多くの声に耳を傾け、お話をいただきました。ご協力いただきまして、本当にありがとうございます。

まずは1つのテーマである「商業のまちの姿」です。みなさんの意見や課題のまちの姿について発表していただきながら、テーブルごとに意見交換を行いました。続いて2つ目のテーマである「まちづくりのアイデア」です。地区ごとに意見交換が盛んに行われ、アイデアもたくさん発表され、活発な意見交換が行われました。

最後に、相模湖駅周辺地区と小原宿地区のまちづくりのアイデアを全員で共有し、大盛況のうちに終了となりました。

各テーブルや地区で出された主な意見について、次ページでご紹介します。

※ワークショップ 議論などのより一歩前に議論を促進するのではなく、参加者が主体的に参加し、積極的に意見を共有する中で、互いに相手を思いやり尊重しあっていることが重要です。

相模湖駅周辺地区+小原宿地区 平成29年3月
まちづくりワークショップ ニュース 第5号
発行 相模原市 都市建設課 まちづくり推進課 まちづくり支援課

全5回のワークショップを終えてまちづくりのアイデアがまとまりました！

相模原市は、相模湖駅周辺地区と小原宿地区を対象に、地域住民のみならず市民として活躍する「まちづくりのアイデア」を検討するため、全5回のワークショップを開催してまいりました。

最終的な全5回のワークショップを2月18日（土）に終了いたしました。今回は相模湖駅周辺地区からは12名、小原宿地区からは14名の計26名が参加いただきました。

今回のテーマは「地域のまちの姿とまちづくりのアイデアを考えよう」です。前回（第1回）の発表に「質問」や「声援」が飛び交い、会場が盛り上がりました。多くの声に耳を傾け、お話をいただきました。ご協力いただきまして、本当にありがとうございます。

まずは1つのテーマである「商業のまちの姿」です。みなさんの意見や課題のまちの姿について発表していただきながら、テーブルごとに意見交換を行いました。続いて2つ目のテーマである「まちづくりのアイデア」です。地区ごとに意見交換が盛んに行われ、アイデアもたくさん発表され、活発な意見交換が行われました。

最後に、相模湖駅周辺地区と小原宿地区のまちづくりのアイデアを全員で共有し、大盛況のうちに終了いたしました。

各テーブルや地区で出された主な意見について、次ページでご紹介します。

※ワークショップ 議論などのより一歩前に議論を促進するのではなく、参加者が主体的に参加し、積極的に意見を共有する中で、互いに相手を思いやり尊重しあっていることが重要です。

第4章 まちづくりのアイデア集

1. まちづくりのアイデア集

- ・まちづくりワークショップを通じて、地域が主体となって取り組む「まちづくりのアイデア」を「まちづくりのアイデア集」として、次の通りとりまとめた。



相模湖駅周辺地区
+
小原宿地区

まちづくりの アイデア集



平成29年3月

発案：まちづくりワークショップ参加者のみなさん

編集：相模原市 都市建設局 まちづくり計画部 街づくり支援課



1. はじめに

相模湖駅周辺地区と小原宿地区は、神奈川県の中でも山梨県との県境近い相模原市緑区（平成18年に相模原市と合併するまでは旧相模湖町）に位置しています。

相模湖駅周辺地区では、少子高齢化といった社会的な問題とともに、近年、観光地としての賑わいが減りつつあり、駅前の賑わいづくりが必要になってきました。また、小原宿地区でも本陣が残されているにも関わらず宿場町としての歴史的資源が活かされているとは言えません。

そこで、相模原市では相模湖駅周辺地区及び小原宿地区において、地域が抱えているまちの課題を地域のみなさんが主体となって解決する活動である「まちづくりのアイデア」を検討するための「まちづくりワークショップ」を開催しました。延べ113人もの方に参加していただきました。

本冊子では、これまでのワークショップの集大成として地域のみなさんが考えたアイデアをまとめています。

検討のスケジュール

	日時	場所	テーマ・内容	参加者
第1回	平成28年8月27日(土) 19:00~21:00	相模湖総合事務所 A会議室	地域の資源と課題を共有しよう！	26名
第2回	平成28年10月1日(土) 19:00~21:00	相模湖総合事務所 大会議室	将来のまちの姿とまちづくりの アイデアを考えよう！	25名
まち あるき	平成28年12月3日(土) 14:00~16:00	相模湖駅周辺と 小原宿の周辺	相模湖駅周辺と小原宿の周辺を みんなで散策	8名
第3回	平成28年12月3日(土) 17:00~19:00	相模湖総合事務所 大会議室	まちづくりのアイデアを 考えよう！②	19名
第4回	平成29年1月28日(土) 19:00~21:00	相模湖総合事務所 大会議室	まちづくりのアイデアを具体化 しよう！	17名
第5回	平成29年2月18日(土) 19:00~21:00	相模湖総合事務所 大会議室	まちづくりのアイデアを完成 させよう！	18名

ワークショップとは？

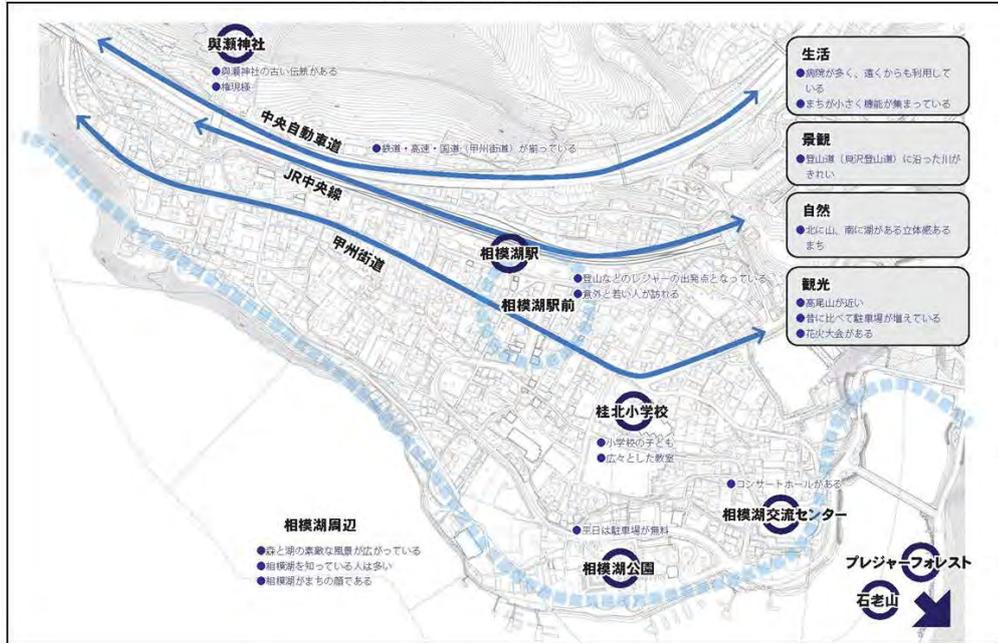
講義などのように一方的に知識を伝達するのではなく、参加者が主体的に参加し、体験や話し合いを共有する中で、互いに何かを気づいたり学びあったり創り出したりする場



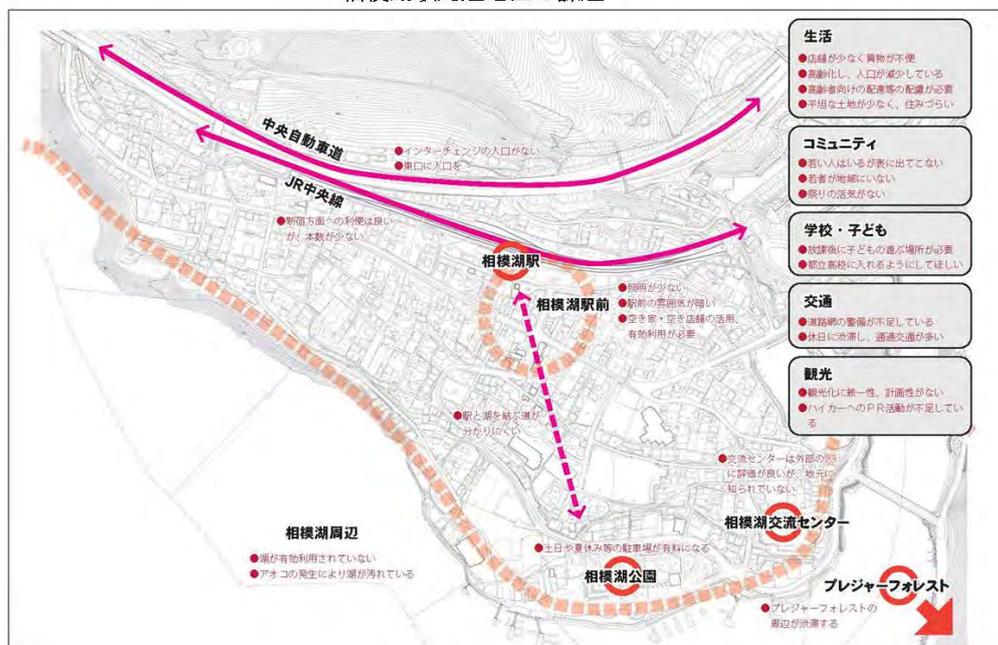
2. 相模湖駅周辺と小原地区にある資源と課題

まちづくりのアイデアを考えるにあたって、地域にある資源と課題を改めて見直すため、最初の第1回ワークショップで意見を出し合いました。

－相模湖駅周辺地区の資源－

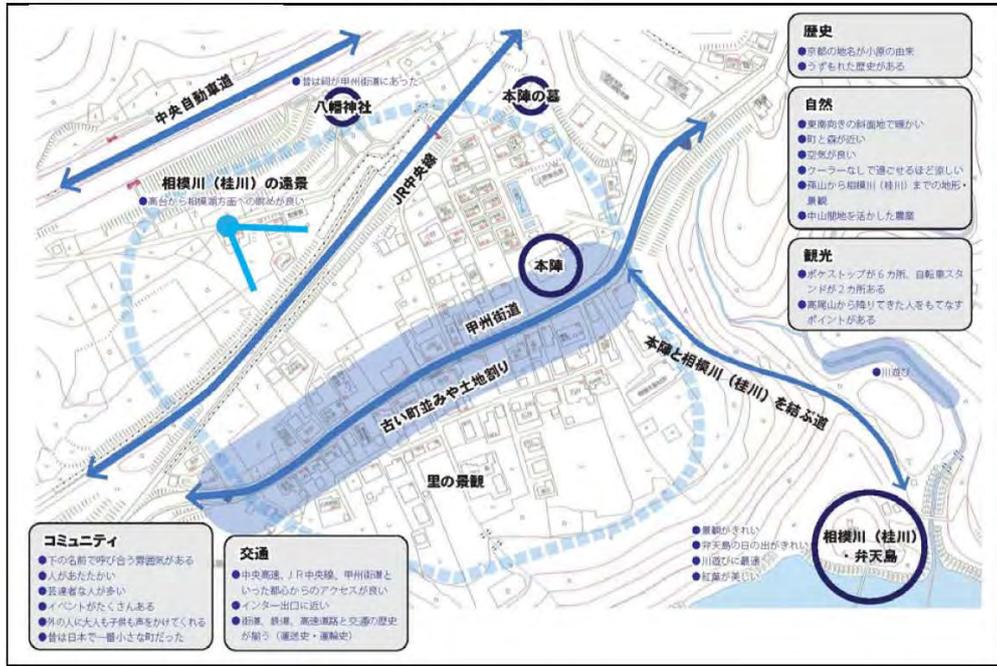


－相模湖駅周辺地区の課題－

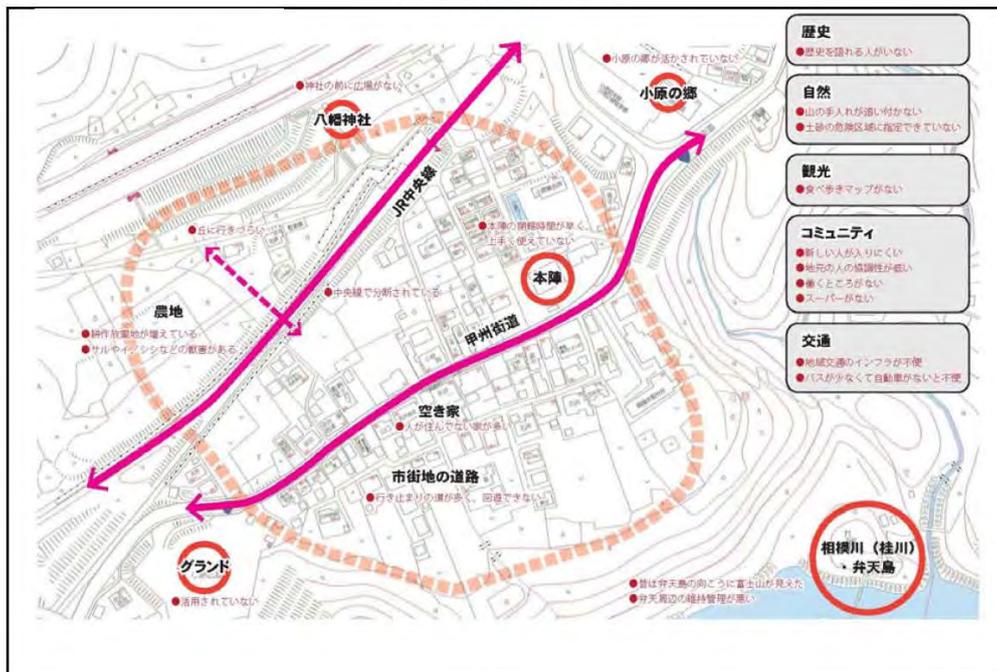


相模湖駅周辺や小原宿には課題も多くありますが、住んでいるからこそ分かる資源はもっとたくさんあります。これらの資源を活かして地域の魅力を高めたいいきましょう！

—小原宿地区の資源—



—小原宿地区の課題—

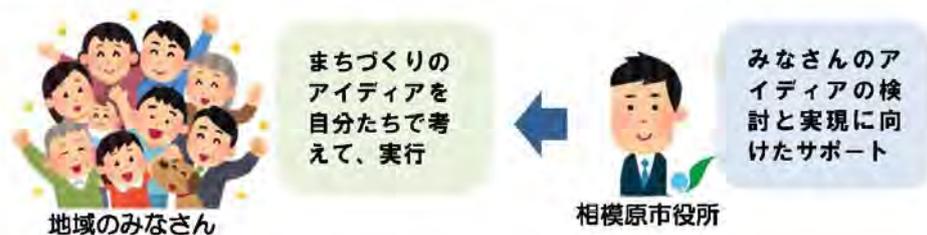


3. まちづくりのアイデアとは？

「まちづくりのアイデア」とは、市役所が行ういわゆる公共工事のような大掛かりな取り組みではありません。ここでは地域のみなさんが、中心となって考えながら進める、地域が元気になる取り組みとしています。

もちろん一つだけではなくたくさんあった方が良いですし、時間をかけて取り組み時間とともに成長するとより素晴らしいものになると考えます。

そして、まちづくりのアイデアを考え実行するのは、地域のみなさんです。そのアイデアの実現に向けて相模原市は全力でサポートします！



4. まちづくりプロジェクト

まちづくりワークショップの意見交換を通じて、11個のまちづくりのアイデアが形になりました。そこで、これらのアイデアを“まちづくりプロジェクト”としました！

それぞれのプロジェクトについて、次ページ以降で詳しくご紹介します。

当日発表いただいたものは、最終回のワークショップで東京大学 小泉秀樹先生からいただいたアドバイスもあわせてご紹介しています。



プロジェクトNO.	アイデアの名前	対象地区
1	相模湖たんけん隊	相模湖駅周辺
2	湖畔の店舗活用と“ウェルネス”宣言	相模湖駅周辺
3	(仮)音楽や祭りでまちを活性化しよう	相模湖駅周辺
4	小原宿活性化推進会議の活動を広げる！	小原宿
5	相模湖観光クラブ	小原宿
6	集会所で子供と遊ぶ	小原宿
7	子どもたちに小原の昔を伝えよう！	小原宿
8	おいしい！を手作りしよう	小原宿
9	ブチ古民家カフェ	小原宿
10	里の景観ルートの眺望ポイントの整備	小原宿

①相模湖駅周辺地区

プロジェクトNO.1 相模湖たんけん隊

知っているはずなのに実は知らない自分たちのまちを自分たちで知り、相模湖周辺をPRします。将来的にはさまざまな人をつなぐ役割を担い、地域の人口増加を目指します！

どんなアイデア？

- ・駅前や相模湖の未知の部分、知ってはいるけれど行ったことのない私のおすすめなど、年齢、性別、地区内外に関わらず興味を持った人が自由参加でテーマも含めて考える。
- ・既存の祭りやウォーキングイベントに参加することも含め、新しいお店に行ってみたり、ドックラン、ドックカフェの場所、相模湖駅前の人はどこに買物に行っているのか、幻の牛乳はあるのか、ギフチョウは飛んでいるのか、美女谷温泉はやっているのかなどを体験して、地区内外にブログやフェイスブックを使ってPRする。
- ・自分たちで歩く中で何が不便なのか調べたり、良い点、悪い点などを聞き取りする。
- ・未来の希望として、各地区、公的機関、企業などをつなぐ役割を持つとともに相模湖をアピールし、住人を増やす。
- ・藤野観光協会や里山クラブ等に聞きに行き、城山探検隊や緑区探検隊とも交流する。



取組場所

- ・相模湖駅前やその周辺

スケジュール

- ・平成 29 年 4 月～ お店巡り
- ・平成 29 年秋頃 先進事例の視察

活動するメンバー

〈相模湖駅周辺の中心メンバー〉

- ・吉良奈美乃さん
- ・ワークショップのメンバー+α



〈一緒に活動したい人〉

- ・相模湖商工会
- ・相模湖観光協会

市役所に期待すること

- ・資料のコピーなどをしてください！

相模湖駅前のポイントがバラバラでつかみにくくて、知らないところもたくさんあるけれど、知っていて良いところもたくさんあるので、そういうことをみんなで共有したい！（吉良さん）

とても良いアイデアですね。地大豆の畑など小原宿のプロジェクトも行ってみて情報発信すると、地域で何が起きているのが見えてくるのでは。難しく考えずに、チームをつくって情報発信していけば良いものができるかもしれませんね。（小泉先生）

プロジェクトNO. 2 湖畔の店舗活用と“ウェルネス”宣言

高齢者の健康増進のため、駅からの動線をウォーキングルートとして設定しつつ、相模湖周辺の空き店舗の活用を行い、湖のまちとしてのブランド力をつけます！

どんなアイデア？

- ・相模湖畔にある店舗（約 10 店舗）の現況調査を行う。
- ・店舗に賃貸するために商工会との仲介などの条件対策を行う。
- ・チャレンジショップなどの空き店舗活用のノウハウづくりを行う。
- ・対岸には遊歩道をつくり、周遊できるようにする。
- ・有機野菜や相模湖限定のグッズや食べ物などを売る“野菜市”を開催し、屋外コンサートもあわせて開催する。



取組む場所

- ・相模湖
- ・相模湖畔周辺

スケジュール

- ・平成 29 年 3 月～ 現況調査
- ・平成 29 年 9 月～ 月 1～2 回の野菜市、野外コンサート

活動するメンバー

〈相模湖駅周辺を中心メンバー〉
・淵上美紀子さん



〈一緒に活動したい人〉
・湖畔の店舗 賃貸可の方
・店舗を活用してものづくり工房やワークショップをしたい方
・相模湖商工会 活性化グループ

市役所に期待すること

- ・空店舗対策の補助金申請などをしてほしい！
- ・遊歩道を造るために対岸の山主との交渉や条件の調査、コースの整備をしてほしい！
- ・チャレンジショップの補助金をお願いします！

相模湖は素敵な良いところだといつも思っています。この場所を活用していきたいです！（淵上さん）

空家は貸し出す意志のない大家さんも多く、まずは現状の調査をするということなので、とても良いと思いました。野菜やパンを作っている人を集めると新規就農者の人と繋がりが出て、いろいろと発展できるのではないのでしょうか？上手いきそうですね。（小泉先生）

プロジェクトNO. 3 (仮) 音楽や祭りであちを活性化しよう

「音楽と湖」、「新ふるさとまつり」、「みんなで相模湖音頭を踊ろう」をキーワードに住民活動を活発化してわがまち意識を高め、まちを活性化します！

どんなアイデア？

- ・交流センターのイベント時やふるさと祭りと同じ日に音楽、祭り・盆踊りなどのイベントを行う。

【音楽の場合】

- ・湖畔で体験型の音楽イベントを開催する。

【祭り・盆踊りの場合】

- ・相模湖公園で各地区の山車を結集し、野外舞台でお囃子や舞踊の大会などを行う。
- ・夏の盆踊り大会に向けて練習会を行いながら地域間、世代間の交流を行う。
- ・盆踊り以外でも小中学校の運動会などにも飛び入り参加したり、チーム組みイベント時などにゲリラ的に飛び入り参加して踊る。見物人もみなで踊る。



取組む場所

- ・相模湖駅前、相模湖公園、公民館、交流センター 等
- ・練習は公民館

スケジュール

- ・短期 プロジェクトチーム（自治会+公募、ワークショップ参加者）をつくる。交流センター等の検討組織との話し合いの機会をつくる。
- ・中・長期 【音楽の場合】交流センターで住民ニーズのアンケートを行い、企画提案を募集する。【祭り・盆踊りの場合】月1～2回練習会を開催し、夏の盆踊りの本番へのぞむ。

活動するメンバー

〈相模湖駅周辺の中心メンバー〉

- ・エレニャ浩美さん
- ・ワークショップ参加者



〈一緒に活動したい人〉

- ・自治会、相模湖観光協会、商店会
- ・音楽家
- ・相模湖音頭保存会、老人会（講師の依頼）
- ・学校、公民館

市役所に期待すること

- ・「音楽と湖のまち」を広報してほしい！
- ・イベントを後援してほしい！
- ・事務局として窓口的な役割を担って欲しい！

音楽と湖のまちをコンセプトに、小さな住民活動が始まるとよいです！中長期的には大額のまちとして知名度が上がっていくといいです！（エレニャさん）

参加型で行うというのがとても良いと思いました。ちょっとした活動から仲間づくりを始めることが大切ですね。どこでどんなことができそうかを調べて、まずは自分たちがやってみることが大切ですね！他の活動とも連携してはどうでしょうか？ここにしかないイベントに育つといいですね。（小泉先生）

②小原宿地区

プロジェクトNO. 4 小原宿活性化推進会議の活動を広げる！

登山客や観光客など地域の外の人にもっと気軽に小原の郷に立ち寄ってもらえるように、定期的に開催するイベントを増やし、盛り立てていきます！

どんなアイデア？

- ・これまで半年に1回だったフリーマーケットを朝市、青空市と一緒に毎月開催し、楽しく買物できるように美味しい飲食も一緒に用意する。
- ・美味しいにおいが会場に漂うように、焼鳥、お好み焼き、チジミなど、その場で調理してできたての食べ物を販売する。
- ・地域の人が、自慢したい！買ってほしい！小原らしい農産物や特産物を販売する。
- ・小原の郷が閉館した後も観光客が利用できる無人スタンドを設置する。
- ・地域の歴史や古民芸品などを活用した展示だけでなく、みなさんに興味を持ってもらえるように展示会を企画する。
- ・子どもたちが遊べるようなおもちゃを用意する。



取組む場所

- ・小原の郷の芝生広場を中心に活動
- ・相模湖の湖畔とも連携

スケジュール

- ・朝市、青空市と一緒に、月1回フリーマーケットを開催

活動するメンバー

〈小原宿の中心メンバー〉

- ・芦澤恵さん
- ・永井充さん



〈一緒に活動したい人〉

- ・小原宿活性化推進会議
- ・育成会

市役所に期待すること

- ・保健所の届出方法や何が問題になっているかを確認してほしい！

小原宿活性化推進会議の小原の郷活用部会に所属しているので、これまでの活動をもっともっと大きく広げていきたいです！（芦澤さん）

フリーマーケットが定期的で開催されると参加しやすくなりますね。食べ物の販売は衛生的な食べ物は何かなどを整理して、必要な手続きは市役所にも一緒に交渉してもらいましょう！（小泉先生）

プロジェクトNO. 5 相模湖観光クラブ

登山などで訪れた観光客が小原宿や相模湖周辺を楽しめるように、昔あった相模湖観光クラブを復活し、観光や商業の活性化を進めます！

どんなアイデア？

- ・相模湖畔に浮かぶボートハウスと夢屋を拠点にスポーツなどの多様性を持った活動ができるようにする。
- ・3カ所の直売所を設け、飲食もできるようにする。
- ・石老山の登山客を対象に有料駐車場を設置し、直売所で地元の野菜を売る
- ・小原の郷のスタッフが本陣をPRできるようにする
- ・相模湖周辺の地区の若い人に広報や地域情報誌で周知する
- ・ハイキングの拠点として整備し、案内看板などを設置する
- ・甲州街道の情報を知ることができる場所にする



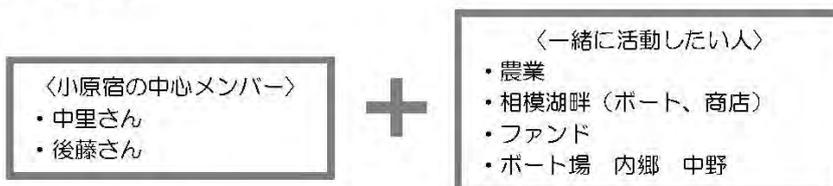
取組む場所

- ・小原地区の夢屋
- ・相模湖畔
- ・石老山入口

スケジュール

- ・第1期 ～平成 29 年 8 月 発足準備
- ・第2期 ～平成 30 年 8 月 進行

活動するメンバー



市役所に期待すること

- ・第2期が終わるまで見守っていてほしい！
- ・規制などのハードルが出てきたときにサポートしてほしい！

相模湖全体で1日遊べる場所にしたい、もっと人やまちが
つながら活動をして、旅の目的地として「相模湖」を選んで
もらいたい！（中里さん）

プロジェクトNO. 6 集会所で子供と遊ぶ

テレビゲームばかりやっている最近の子どもたちに、昔、大人が子どもの頃に遊んでいた遊びを教え、大人も子供も楽しめる場所をつくります！

どんなアイデア？

- ・自分が昔、得意だったり、好きだった遊び、もしくは趣味（手芸、将棋、料理など）を子どもに教え一緒に楽しむ。
- ・安心して子供が遊べる学童のような場をつくる。
- ・あわせて、大人も楽しめる場所（囲碁、将棋、カラオケ、談話、喫茶）をつくる。



取組む場所

- ・小原集会所

スケジュール

- ・平成 29 年 4 月頃～
平日の週 1～2 回 15:00～17:00 くらい

活動するメンバー

〈小原宿の中心メンバー〉

- ・チャドリー綾子さん
- ・熊岡喜代典さん



〈一緒に活動したい人〉

- ・大人なら、誰でも
- ・子どもたちと遊んでみたい、教えたいことがある方

市役所に期待すること

- ・見守っていてほしい！

今の子ども達に電子ゲームではない、昔の子ども達が夢中になった遊びを教えたい！大人も一緒に重心に帰って遊んでほしい！（チャドリーさん）

アイデアがとても素晴らしいです！ひとりでやるのは大変なので、一緒にやってくれるお母さんネットワークもあるといいですね。仲間を募って、企画づくりから始め、とにかく1回やってみましょう！その後に少しずつ軌道修正していけば良いのではないのでしょうか。（小泉先生）

プロジェクトNO. 7 子どもたちに小原の昔を伝えよう！

子どもたちがお年寄りから昔の話を聞いて小原の昔の様子を知ること、自分たちの住むまちに関心を持ち、地域の将来を考えてもらうためのきっかけづくりを行います！

どんなアイデア？

- 子どもたちの質問に答える形式で、歴史を知っているお年寄りの昔の小原での暮らしを話してもらい、それを子どもたちが作文や絵にして、展示を行う。
- さらに、子どもたちに今と未来（理想）の小原を書いてもらう。
- 子どもたちから質問を集めて、質問に答える形式で昔の小原での暮らしを話してもらう。
- 聞いた昔話を紙芝居にしてもいいかも。
- 昔話を聞く会で昔の航空写真（昭和 54 年頃）を活用する
- 地域の家から見つかった昔の木やブリキのおもちゃも用意する。



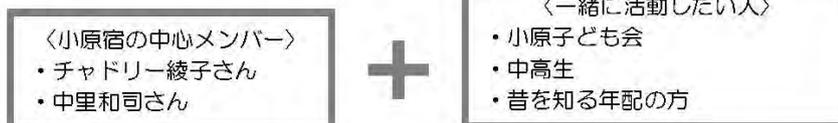
取組む場所

- お話会：小原集会所
- 展示：小原の郷・本陣

スケジュール

- 平成 29 年 4 月以降：子どもたちから質問を集める
- 平成 29 年 4～6 月：質問を回答板など質問に答える人を探す
- 平成 29 年 8 月：お話会（夏休み）
- 平成 29 年 10・11 月：展示

活動するメンバー



市役所に期待すること

- スピーカーやプロジェクターなどのお話会の時に必要な機器を貸し出してほしい！

子ども達が小原の良き時代を知ること、自分たちの住む街に興味を持ち、未来（理想）の小原について考えてもらいたい！（チャドリーさん）

昔の歴史を学ぶというのはとても良いので、ぜひ実現していただきたいです！（小泉先生）

プロジェクトNO.8 おいしい！を手作りしよう

相模湖にある地大豆（津久井大豆）をもっと地域の人に知ってもらい、大豆を活かして、美味しく楽しい体験ができる機会づくりを行います！

どんなアイデア？

- ・農地を利用して昔から地域で作ってきた季節毎のおいしいもの（手仕事）をみんなで作る。
- ・しょうゆや味噌づくりをメインにする。
- ・畑や休耕地を開放して貸し出す。
- ・野菜の植え付けや収穫の体験を行う。



スケジュール

- ・平成 29 年 3 月～

取組む場所

- ・相模湖周辺（千木良、小原）の昔の雰囲気のある場所

活動するメンバー

〈小原宿の中心メンバー〉
・石山草子さん



〈一緒に活動したい人〉
・地域の人
・地域外の人
・市の広報で見て興味を持った人

市役所に期待すること

- ・広報などで活動をPRして人を集めてほしい！

地域に伝わる在来大豆の存在を知り、これを後世に伝えたいと思いました。この地域で育った作物で昔からの手作りの調味料を継承する為、種まきから収穫までの農体験ができるような地域づくりを目指したい！（石山さん）

素晴らしい可能性があります！ 援農をしてくれる人を集めたり、活動を見てもらえる機会づくりやPRがポイントになりますね。上手く伝えられるとすぐに仲間が集まりそうですね！（小泉先生）

プロジェクトNO. 9 プチ古民家カフェ

宿場町である小原宿に残された古民家を活用して、ハイカーや観光客が休憩できる古民家カフェを開店します！

どんなアイデア？

- ・ライトアップの日に、古民家の縁側でお茶と壽堂の酒まんじゅうを提供する。
- ・それ以外の日も、縁側部分を開放してハイカーにお茶を提供する。
- ・古民家の所有者に声を掛ける。



スケジュール

- ・平成 29 年 3 月 小原宿ライトアップでテスト
- ・その後 随時継続

取組む場所

- ・小原の古民家

活動するメンバー

〈小原宿の中心メンバー〉
・永井広紀さん



〈一緒に活動したい人〉
・小原宿活性化推進会議
・緑のダム北相模
・麻布大学フォレストノバ など

市役所に期待すること

- ・インターネットなどで周知してほしい！
- ・運営社を募集してほしい！

小原を訪れる人たちや地元の人たちが気軽に小原らしさを感じられ、憩えるような空間になればと思います。そして、そのような空間がまち全体に広がっていくことを期待します。(永井さん)

プロジェクトNO.10 里の景観ルートの眺望ポイントの整備

小原宿の景観を楽しんでもらうために、里の景観ルートの眺望を改善し、休憩できるように眺望ポイントを整備します！

どんなアイデア？

- ・観音堂周辺の眺望ポイントに間伐材のベンチ、テーブルなどを置いて休憩スペースとして整備する。
- ・立木を一部伐採して、眺望を改善し、花を植えるなどして整備する。
- ・観音堂を清掃・補修する。



スケジュール

- ・平成 29 年度

取組む場所

- ・里の景観ルート
- ・観音堂周辺

活動するメンバー

〈小原宿の中心メンバー〉
・永井広紀さん



〈一緒に活動したい人〉
・麻布大学フォレストノバOB
・緑のダム北相模

市役所に期待すること

- ・協力者を募集してほしい！
- ・費用を助成してほしい！

アイデアの種 他にもこんなアイデアがありました！

ワークショップではたくさんのアイデアが出されました。第5回ワークショップまでに“まちづくりプロジェクト”としてまとめることはできませんでしたが、将来いつかきっと実現することを目指して、アイデアの種を大切にしておきたいと思います。



相模湖駅周辺地区

地域コミュニティを活性化する

音楽

- ・集まって方向性等を検討する
- ・音楽イベントの広報を充実・強化する
- ・交流センターを活用する

その他

- ・広場など、広い年齢層で語り合える場所や機会を提供する

アトリエ絹屋 美術展

- ・年に1回、石井先生の「桜」をテーマとした作品を展示し人を呼び
- ・日頃は駅前にある絹屋をアトリエとして、石井先生の絵を発信する場とする
- ・作品展示とあわせて石井先生の講演会も開催し、美術ファンを呼び込む
- ・与瀬商栄会の事業として行う

健康づくり・体力づくりを推進する

ウォーキング・ランニング

- ・外からの参加者を増やすため、ウォーキングイベントのPR方法を検討する
- ・広報誌を地元企業、在勤者にも配布する
- ・休日にウォーキングやマラソンをする方々に優先的に使えるようなコースをつくる

登山・ハイキング

- ・登山好き著名人と一緒に高尾登山をするイベントを企画する
- ・相模湖駅から高尾山をめざしてもらおうようにする
- ・湖畔からボートを利用して石老山までのハイキングコースを新設する〔湖畔→(旧) ふるさとの森船着場→石老山〕

相模湖

- ・市で開催しているレガッタ大会に市民がチームを作って参加する
- ・「子どもの足漕ぎボート大会」「トレイルラン大会(湖畔→石老山)」を開催する
- ・相模湖のPR方法を検討する
- ・駅前の市有地〔相模湖ふれあい広場屋上、(旧) 観光案内所跡地、相模湖公民館前広場〕や民間の空き家を利用して、情報発信地・休憩所として利用する

人口を増やす

移住者への支援

- ・駅前観光案内所に掲示板を設置し、相模湖に住んでみたい人に戸建の賃貸物件などを紹介する
- ・不動産のホームページより細かい生活情報を載せる
- ・情報の安心感を高めるため、相模原市まち・みどり公社のホームページに情報を載せる

駅前の活性化

- ・空地、空き家、空き店舗を活用する
- ・観光地らしく駅前ロータリー、駅下三角地(オブジェの有る所)に大きく枝葉を広げる樹木を植えて休憩場にする

教育

- ・まちづくり会議では東京都、山梨県に高校入学の要望を出している。

小原宿地区

小原の郷の活用

イベントの開催

- ・来年のGWや夏にBBQを行う
- ・芝生広場でキャンプ大会をする

PR活動

- ・ハイキングの拠点として整備し、案内看板などを設置する
- ・甲州街道の情報を知ることができる場所にする
- ・相模湖周辺の地区の若い人に広報や地域情報誌で周知する
- ・駐車場の利用者を活用する
- ・小原の郷のスタッフが本陣をPRする

本陣の活用

制度

- ・現在の条例、制度を確認する
- ・募金が可能か確認する
- ・現在の「展示物」から、指定管理者制度を目指す
- ・本陣を民有化する

運営

- ・入場料を徴収する

イベントの開催

- ・結婚式を行う

情報の充実

- ・本陣を周知するための案内を充実する

ふれあい広場の活用

イベントの開催

- ・ドンド焼きの時にBBQを行う

環境の整備

- ・花やベンチなど置く
- ・お年寄りのためにトイレを整備する

コミュニティの拠点づくり

場所の確保

- ・みんなでお金を出して場所を借りる
- ・「旅籠」を活用する
- ・町内の空家や空店舗を有効利用する

地域の人

- ・土地の畑で作った食材で作ったおかずを持ち寄る

歴史的資源の発掘・活用

PR活動

- ・地域の歴史を調査して、プラタモリを誘致する

景観のレベルアップ

ルールづくり

- ・小原のおすすめの街並みデザイン集をつくる

空間の整備

- ・電柱、フェンスの塗装、石畳、外観、生垣、屋根のデザインを統一する

農地の活用

PR活動

- ・相模湖駅とタイアップしたり、市役所でPRしてもらう

山林

- ・みんなで山を手入れし、猪を食べる

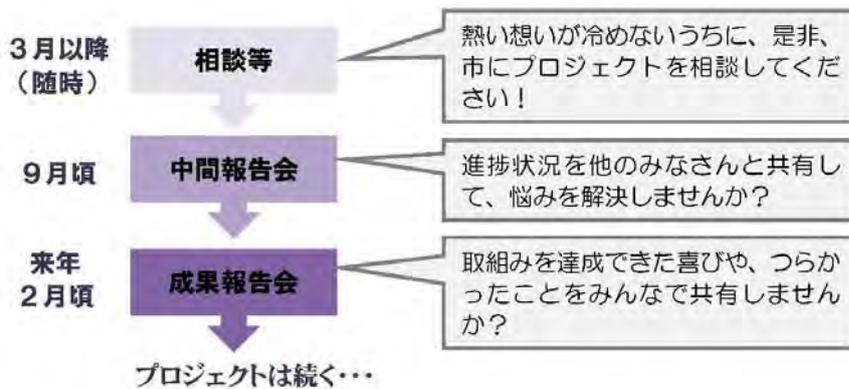
4. まちづくりのアイデア&プロジェクトの実現に向けて

ワークショップに参加いただいたみなさま、本当にありがとうございました。意見交換を通じて、みなさんから数多くのまちづくりのアイデアをつくりあげることができました。

これからは相模湖駅周辺と小原宿を魅力ある“まち”にするために、本気でアイデアをプロジェクトとして実現していかなければなりません。実現に向けて、引き続き相模原市では全力でサポートしていきたいと考えています。



次のステップで、サポートしていくことを予定しています。



相模原市としても、公共施設のルールなどについてアイデアを実現できるように関係部局と懸命に調整致します。是非、引き続きまちづくりのアイデアの実現化に向けて一緒に頑張っていきましょう！

まちづくりの主役は地域のみなさんです！



とても良いプロジェクトばかりでした。さらに、地区を超えて他のグループと一緒に進めるともっと良いプロジェクトになると思います。ぜひ、みなさん頑張ってください！（小泉先生）



お問い合わせ

相模原市 都市建設局 まちづくり計画部 都市計画課

住所:相模原市中央区中央 2-11-15

Tel: 042-769-8247 (直通) Fax:042-754-8490

E-mail : toshikeikaku@city.sagamihara.kanagawa.jp

相模原市 緑区役所 相模湖まちづくりセンター 総務・地域振興班

Tel:042-684-3240 (直通) E-mail : sagamiko-cen@city.sagamihara.kanagawa.jp

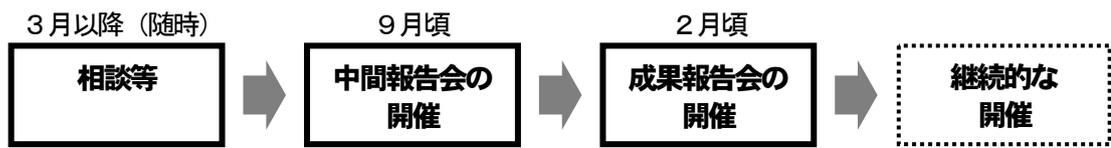
2. アイディアの実現方法と課題の整理

- ・これまで意見交換を重ねてつくりあげてきたまちづくりのアイディアの実現化に向けて、今後も行政の継続的な支援が必要となる。
- ・ただし、本年度のようにワークショップによりアイディアを抽出する作業ではなく、次のような個別のアイディアにあわせたきめ細かなサポートを行うことが重要となる。

●定期的な報告会の開催

- ・アイディアの実現に向けた活動メンバーの意識の維持・向上、アイディアの実現化へのアドバイス、複数のアイディアの発展・拡大を推進するため、定期的に情報共有及び意見交換の場を設ける必要がある。
- ・場のイメージとしては、例えば、最初のスタートを促すための相談を市で受けたうえで、活動の中間段階の9月頃に活動の経過報告を行う「中間報告会」を開催し、取組みの成果を報告する場として「成果報告会」の開催が考えられる。
- ・さらに、まちづくりのアイディアは単年度で終わるものではなく、継続的に活動を進め、取組み内容を発展・拡大していくため、これらの報告会についても中長期的な継続が重要となる。

図 今後の流れ



●街づくり団体への登録

- ・市内におけるプロジェクトの認識を高め、各種調整を円滑に行うため、まちづくりワークショップの参加者を中心に相模原市街づくり活動推進条例に基づく「まちづくり団体」として登録する。
- ・街づくり団体を中心として、プロジェクトごとにグループで実現化を図り、あわせて新規プロジェクトの検討や育成を行う。

●アドバイザーの派遣

- ・街づくり団体に登録し、必要に応じて相模原市街づくり活動推進条例に基づくアドバイザーの派遣制度を活用する。
- ・アドバイザー候補として、本年度まちづくりワークショップでアドバイスをいただいた東京大学小泉教授を想定する。

●各種助成金の活用

- ・活動資金については、相模原市緑区の「地域活性化事業交付金」の活用が考えられる。ただし、これ以外にも目的に応じて相模原市、神奈川県、国の助成金を活用することも検討する。

●他都市事例の情報収集

- ・活動をより円滑に進めるため、相模原市内だけでなく、情報収集したり現地視察を行うなどして、他都市で取組んでいる類似する活動を参考にすることが有効である。

平成28年度 相模湖駅周辺地区及び小原宿地区
まちづくりワークショップ企画運営業務 報告書
平成29年3月

発行：相模原市都市建設局まちづくり計画部街づくり支援課
相模原市中央区中央二丁目11番15号
調査・編集：株式会社 都市環境研究所
東京都文京区本郷二丁目35番10号
